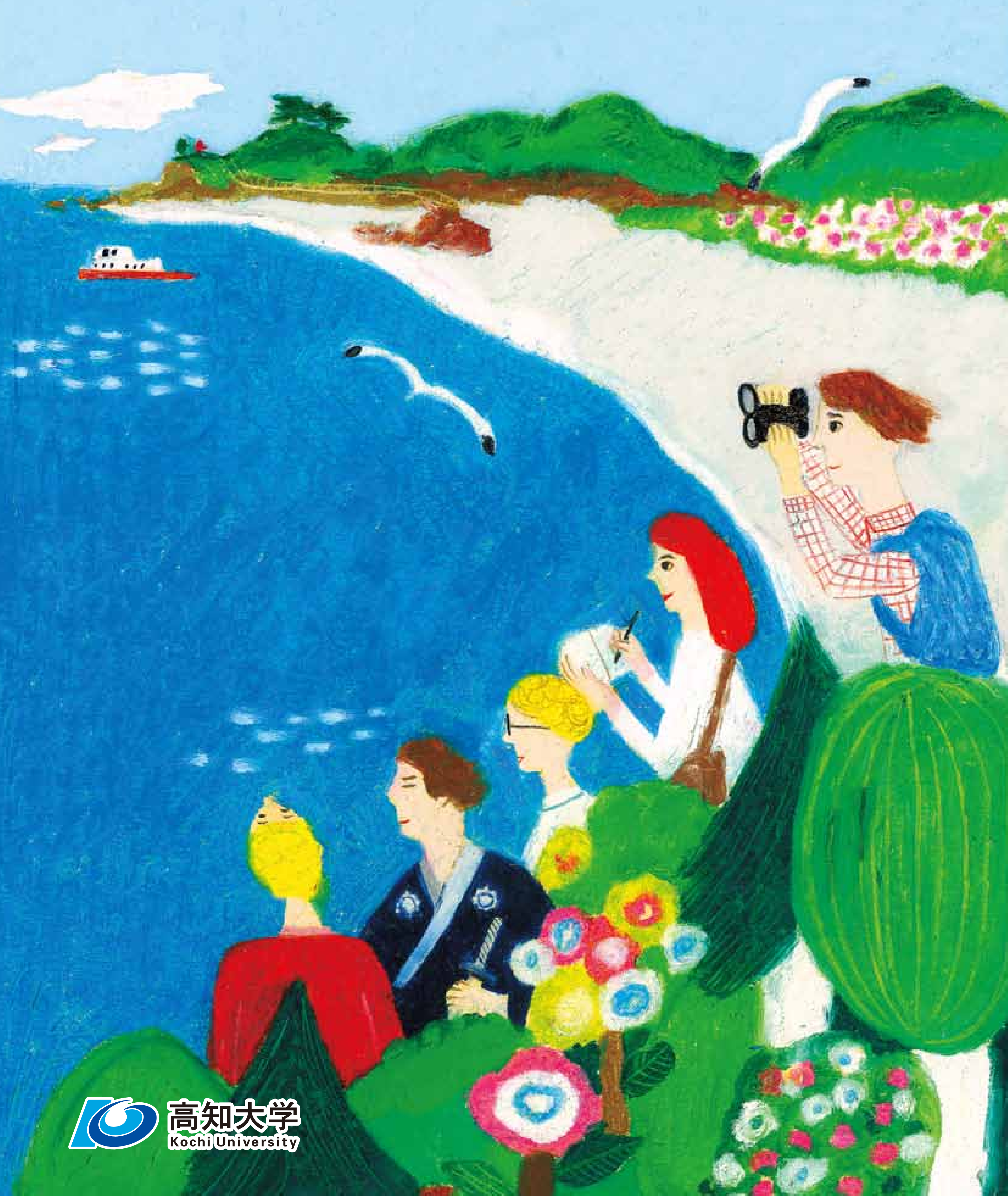
国立大学法人

高知大学2016 大学案内

人文社会科学部（仮称） | 教育学部 | 理学部 | 医学部 | 農林海洋科学部（仮称） | 地域協働学部 | 土佐さきがけプログラム



高知大学
Kochi University

まだ見ぬ自分と出会う旅。

高知大学 学長
脇口 宏

高知大学を目指している受験生の皆さん、私たち教職員一同、皆さんの入学を心から待っております。

土佐は南に太平洋を臨み、北に四国山地を背負う風光明媚で人情味豊かな国です。人生で最も重要かつ実り多い青春時代に、維新の志士を多数輩出した高知で自律的に学ぶことで、皆さんは新たな自分に出会い、自分の可能性を知り、新たな未来と生涯の目的を学生時代というキャンバスに描くことが出来るようになるはずです。

国立大学で学ぶことは、リーダー候補生を目指すことに繋がります。今、この国が求めているリーダー候補生は鳥瞰的視野をもって時代の行く先を見つめ、危機こそが好機chanceと捉え、失敗を恐れず自己改革changeを継続しながら挑戦challengeし、その成果createを社会に問う実行力と協働力、そして批判力を備えた若者です。

土佐の風土は、そのような人材を育む要素を備えており、高知大学は次代のリーダー育成を見据えて全学的教育組織改革を推し進めており、地域ひいてはわが国の持続可能社会の実現を目指して学生も教職員も共に進化し続けております。

この高知大学で皆さん自身と社会の未来を描き、それを具現化するために私たちと共に学び成長しましょう。

高 知 大 学 革 新 中

「海」に関する教育・研究が深化

農学部は農林海洋科学部（仮称）となって、新たに海洋資源について深く学べる学科ができる予定です。

▶ 農林海洋科学部（仮称）
37ページへ

文系を広く、有機的に学ぶ

人文学部は、ひとつのテーマを深く掘り下げたい人も、新しい分野を学んでみたい人も、個人の興味に合わせて学べる新しいシステムに。

▶ 人文社会科学部（仮称）
13ページへ

「地域協働学部」がスタート

平成27年4月に、全国にさきがけて地域の課題を解決する人材を育成する新学部が誕生しました。

▶ 地域協働学部
43ページへ

すべての"先生になりたい人"のために

小学校の先生、中学校の技術科の先生、幼稚園・保育園の先生。
教育学部は先生になりたい人のためにパワーアップしました。

▶ 教育学部
19ページへ

INDEX

学びの構造 …… 05
共通教育 …… 07

▶ 各学部の情報や特徴は？
学部紹介
- 人文社会科学部 …… 13
- 教育学部 …… 19
- 理学部 …… 25
- 医学部 …… 31
- 農林海洋科学部 …… 37
- 地域協働学部 …… 43
- 土佐さきがけプログラム …… 47
- 卒業論文テーマ例 …… 51
- 教員紹介 …… 53

▶ もっと学びたい時は？
大学院 …… 59
国際交流 …… 61

▶ 学びの設備や環境は？
教育研究施設 …… 65

▶ 大学生活について詳しく知りたい！
キャンパスライフ
- 学生生活 …… 69
- サークル活動 …… 71
- 朝倉キャンパス …… 73
- 岡豊キャンパス …… 75
- 物部キャンパス …… 77
- 入学料・授業料・奨学金制度 …… 79

▶ 就職に関する情報
就職活動支援 …… 81

▶ 入試に関する情報
入試データ …… 85
入試Q&A …… 89
オープンキャンパス …… 90

※学生の学年表記は、平成27年度時点です

自然と共に生きる“文化”から学ぶ。

高知県の北部は標高約2000メートル、亜寒帯の気候を持つ山岳地帯から、南は室戸・足摺の亜熱帯植物が生い茂る海岸まで、多様で美しく、また厳しい自然に囲まれています。この自然を形づくってきている原動力が南海トラフに沈み込むフィリピン海プレートの動きです。そのスピードは一年にわずか6センチメートル。この動きが、百年に一度大地震を引き起こしてきました。こうした自然の営みは、地球上に人間が文明を築くはるか昔より当たり前に繰り返されてきたものです。しかし、便利で快適な現代生活を送っている私たちは、ついそのことを忘れてしまいがちです。地震から身を守るためには、揺れに強い建物に住む、不用意に重たい家具を居室に置かないなど、日頃の生活を見直してみることが大事です。

自然の恵みを享受しながら、自然と寄り添って生きていく。

今も自然が豊かに残る地域に暮らす人々は、そうやって生命をつないできました。高知県内の多くの地域は、自然に寄り添う“文化”を継承してきた歴史があります。そこから学び、将来に役立てていくことができます。

岡村　眞　特任教授

総合研究センター（理学部担当）

内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討有識者会議」委員

文部科学省「南海トラフ巨大地震連動性評価研究推進委員会」委員

高知県「南海地震対応アドバイザー」

高知大学では、防災に関して、このような取り組みを行っています。

▶ 大学全体の取り組み

高知大学の建物の耐震化率は平成26年度に100%を達成。朝倉・岡豊・物部の各キャンパスに備蓄庫を設けて、食料品・水など避難に必要なものを備蓄しています。ソフト面では、全学生・教職員を対象とする安否確認システムを採用し、避難訓練時に試行することで「その時」に備えています。また、入学式では新入生・保護者を対象とした講演「南海地震に備えて」を行うなど、防災意識の啓発活動にも取り組んでいます。

▶ 朝倉キャンパスでの取り組み

高知市西部に位置する朝倉キャンパスは、津波による浸水被害は想定されておらず、陸上競技場が避難場所となっています。北体育館は高知市の指定避難所となっており、学生・教職員はもとより近隣住民が避難してくることも想定されています。有事に何よりも大きな力を発揮するのが人と人とのつながりであると考え、日頃から周辺住民との連携を深めています。

▶ 岡豊キャンパスでの取り組み

災害拠点病院に指定されている医学部附属病院がある岡豊キャンパスは、災害医療の拠点であると同時に、災害救助関係者の参集拠点・活動拠点となるため、外部機関と連携した各種訓練を繰り返し実施しています。学生を対象とした訓練としては、「生存率100%」を合言葉に、東日本大震災の教訓から、発生しうるあらゆる事項を想定したシナリオのもと、避難訓練や救助訓練、情報伝達訓練などを毎年実施しています。

▶ 物部キャンパスでの取り組み

高知龍馬空港の近くに位置する物部キャンパスは、千年に一度と言われる巨大地震により引き起こされる津波では周辺地域が浸水するとの想定から、建物の3階以上が一次避難場所となっています。避難訓練の際には、最新の防災知識などを学ぶ勉強会を学生及び地域の方々に対して実施しており、災害発生直後からの時間経過の中で自分たちが何をすべきか、何ができるかという視点を持って対策に取り組んでいます。

ここにしかない学びの世界にようこそ。

先端研究への挑戦が、夢への第一歩

医学部医学科 5年

浅井 聡子

医学科では、2〜4年生の間、PBLによるグループ学習か最先端の研究に触れられる先端医療学コースのいずれかを選択できます。私は、低学年から医療現場を体験できる環境に成長のチャンスを感じ、先端医療学コースを選びました。
私が参加したのは、痛み治療の研究です。やるべきことは多く自分の未熟さを痛感する毎日でしたが、日中外来で患者さんの診察にあたってへとへとになっているはずの先生が日付の変わる時間まで私の論文や発表練習に付き合ってくださり、その情熱に刺激を受けて全力で取り組むことができました。日本麻酔科学会の学会発表で最優秀演題賞をいただいた時には心からの達成感を感じ、うれしかったですね。
私が研究に取り組む中で見えてきたもの――それは、目指すべき医師像でした。どんなに多忙でも研究意欲を忘れてはいけない。そのことを先生方の情熱や人間性に触れ、教えられました。研究との出会い、すばらしい先生方との出会いに感謝しています。

多言語を駆使して世界の舞台へ

土佐さきがけプログラム国際人材育成コース 4年

橋田 若奈 (写真中央)

“せっかく大学に行くのだから何か新しいことにチャレンジしたい!”そんな思いを抱いていた私にとって、「他にない学部」「留学が必修」「10人という少人数コース」という土佐さきがけプログラムはとても魅力的でした。同期生はみんな意欲や好奇心が強く、個性的な人ばかり。何でも話せる人間関係の中、互いに刺激し合いながら切磋琢磨する毎日です。
このコースの特徴は、やはりグローバルな視野やコミュニケーション力、行動力を養えること。語学においては1年生の時から英語と中国語に力を入れており、集中講義では海外の協定校の先生の講義を受けることもできます。また、3年生で行く海外留学や海外インターンシップは成績によって大学からの助成も受けられ、自分のやる気次第でチャンスを広げられます。私は中国の安徽大学に半年間留学しましたが、そこでの経験で価値観は一転。卒業や就職がゴールではないこと、常に向上心を持って成長し続けることを強く意識するようになりました。これからも、“自分だけの価値”を創り、高めていきたいと思っています。

学びの構造

1年 → 2年 → 3年 → 4年 ※医学部医学科は6年

共通教育

■初年次教育
- 大学基礎論
- 学問基礎論
- 大学英語入門
- 英会話
- 情報処理
- 課題探求実践セミナー

■教養科目
- 人文分野
- 社会分野
- 生命・医療分野
- 自然分野
- 外国語分野
- キャリア形成支援分野

学びのポイント

人間と世界についてしっかりとした考え方をつくり上げ、自律的な能力の基盤を形成します。講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、実践の中で自分の幅を広げながら、専門教育へのプロセスを踏んでいきます。

どんな力を身につけるのか

論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる力や、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる力を育みます。

専門教育

学部	ページ	分野のキーワード	学科/課程/コース
人文社会科学部（仮称）	13p	●人文科学 ●社会科学 ●異文化間理解 ●グローバル社会 ●現代社会 ●社会制度	人文社会科学科：人文科学コース／国際社会コース／社会科学コース
教育学部	19p	●幼児教育と乳幼児保育 ●教育学と心理学、理論と実践 ●各教科の高度な内容理解と指導法 ●芸術・スポーツの高度な実技と指導法 ●科学技術の面白さ・魅力 ●障害のある子どもへの教育支援	学校教育教員養成課程：幼児教育コース／教育科学コース／教科教育コース（国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・技術教育・家庭科教育、音楽教育、美術教育、保健体育教育の各コース）／科学技術教育コース／特別支援教育コース
理学部	25p	●数学的思考力・英語力・情報処理能力 ●科学の基礎法則 ●資源、エネルギー、レアメタル、化石 ●生物の多様性、環境、生命現象 ●防災、南海地震 ●コンピュータ、情報理論	理学科：数学コース／物理科学コース／化学コース／生物科学コース／地球科学コース 応用理学科：情報科学コース／応用化学コース／海洋生命・分子工学コース／災害科学コース
医学部	31p	●生命と健康を守る ●身体、精神の苦しみを和らげる ●病気、負傷などに対する治療を行う ●身体機能の改善を助ける ●健康への悪影響、病気を減らす ●病気、身体、生命の仕組を解明する	医学科 看護学科
農林海洋科学部（仮称）	37p	●人と自然が共生する社会へ ●生命の源、水と森を守る ●海に資源の可能性を探る ●食から始まる健全な暮らしと環境 ●化学で生命活動を解き明かす ●循環型・持続型の地球社会を目指す	農林資源環境科学科：暖地農学領域／自然環境学領域／森林科学領域／生産環境管理学領域 農芸化学科 海洋資源科学科：海洋生物生産学コース／海底資源環境学コース／海洋生命科学コース
地域協働学部	43p	●地域協働による地域産業振興 ●高知のうみ・やま・むら・まちがフィールド ●大学での学びと地域での実践の往復 ●6次産業化による農山漁村の発展 ●コミュニティビジネスによる地域生活の維持 ●官民協働による地域政策	地域協働学科
土佐さきがけプログラム	47p	●化学、環境、資源 ●語学力と異文化理解で国際貢献 ●生命と環境を守る社会のリーダー ●スポーツ科学で地域に貢献する	グリーンサイエンス人材育成コース 国際人材育成コース 生命・環境人材育成コース スポーツ人材育成コース

卒業

進路

進学 59p

就職 81p

どんな力を身につけるのか

●幅広い教養
●人文・社会科学に関する専門的知識
●国際化への対応に求められる知識や語学力
●現代社会並びに地域社会に対する深い洞察力
●教養や知識に裏付けされた主体的判断力
●「知」を総動員した問題解決へ向けての姿勢

●幼児教育および乳幼児保育における高度な専門性と研究・実践力
●多様で複雑な教育課題を読み解き、よりよい未来を切り開く力
●各教科についての豊かな知識と教育実践力
●音楽・美術・体育の高度な実技能力と指導力
●知的好奇心と探究心を高め、科学的思考・技術に結実させる力
●子どもの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力

●基礎的専門的数学教育による論理的思考能力
●主体的な学びによる課題探求能力・問題解決能力
●創造力、行動力、柔軟思考と考え抜く力
●自然現象を数理的に記述し、分析する能力
●多様な生物の諸現象を正しく理解する力
●野外調査能力、自然観察力、多くの情報を総合して判断する力

●医師・看護師などの基礎知識、基本技能
●患者さんや家族に共感し、意思を通じ合う能力
●医療スタッフとともに医療を行う協働能力
●自ら問題を見出し、解決に向かう意思と能力
●生命、個人を尊重する倫理観、使命感
●使命を達成するための自己管理能力

●現場体験に基づいた“ものづくり”の力
●生態系をミクロから地球規模まで総合的に理解する力
●環境との調和のもと資源の生産・利用を考えていく力
●生命のメカニズムを知り、実用技術に結びつける力
●自然環境と人とをつなぐ技術やシステムを創造する力
●食料・人口・資源問題の調和的解決方法を探る力

●複雑で多様な地域の特性を理解する力
●地域資源を開発・活用するための企画を立案する力
●人や組織の協働を作り出し、その活動を促進する力

●環境・資源問題を解決できる世界レベルの知識や技術力
●高い国際コミュニケーション力と相互理解を目指す力
●生命科学と環境保全に役立つ研究力と教育力
●スポーツの科学的諸知識と高い競技力、指導力

大学院(総合人間自然科学研究科)

修士課程

■人文社会科学
■教育学
■理学
■医科学
■看護学
■農学

博士課程

■応用自然科学
■医学
■黒潮圏総合科学

学びのポイント

専門分野はもちろん、近接分野や異分野も修得できる領域横断型の学びで、専門性を深めると同時に、幅広い素養や視点を養います。

愛媛大学大学院連合農学研究科

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、高知大学、香川大学の農学研究科が連合し、協力して開設した後期3年のみの博士課程です。

主な職業イメージ

新聞社、テレビ局、中学校教員(国語、英語、社会)、高等学校教員(国語、英語、公民、地歴、商業)、日本語教員、公務員、銀行、保険業、旅行代理店、航空、流通、教育関連、情報通信業、サービス業など

小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、公務員、教育関連の企業、文化施設・スポーツ施設・福祉厚生施設の指導員、デザイン・印刷・衣食住・情報関連の企業など

教育・学習支援業、情報通信業、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、金融業、保険業、卸売業、小売業、公務員、教員、運輸業、郵便業など

医学科:病院・診療所などの医師、医学・生命科学の研究者・教育者
看護学科:看護師、保健師、助産師、看護学の研究者・教育者
共通:国、地方自治体、団体、企業、国際機関等の専門職など

試験研究機関、公務員、教員、民間企業(食品、バイオ、医薬品、種苗、農薬、農業機械、魚介類養殖、木材、測量、設計、土木、水処理、情報、環境アセスメント)、各種コンサルタント(環境科学・土木建設系など)、各種団体(農・林・水産系)、JICA、青年海外協力隊など

グリーンツーリズム起業家、地産外商農家、県・市町村職員、県地域支援企画員、地場産業社員、商工会職員、地場産品デザイナー、金融機関社員、NPO職員、社会福祉協議会職員、地域づくり協力隊、コミュニティデザイナー、マスコミなど

民間企業開発部門、公的研究機関

国際企業、国連、NGO

行政や企業の研究・技術・教育者

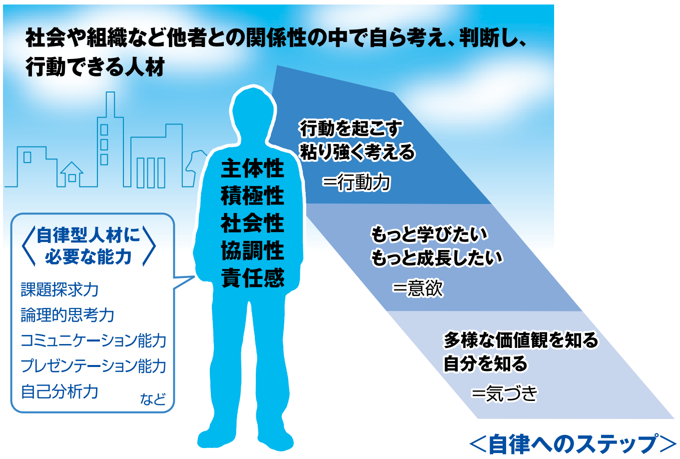
スポーツ振興に関わる指導者や審判員

共通教育 General Education

目指すのは自律型人材

今、社会は「自律型人材」を求めています。
「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。
自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらし、意欲は「行動力」へとつながっていきます。
高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう独自の共通教育を導入し、学生の育ちをサポートしています。

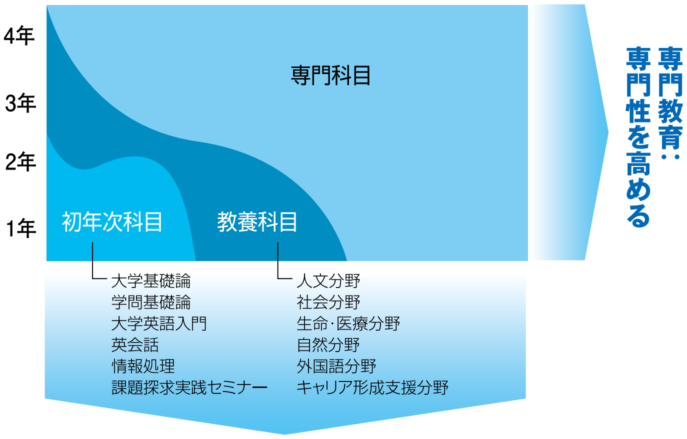
■ 高知大学の考える自律型人材



教育課程の全体像

共通教育は「初年次科目」「教養科目」の2つの科目群で構成されています。共通教育で自律的な力を育みながら、それを基盤に各学部における「専門科目」を学修していきます。

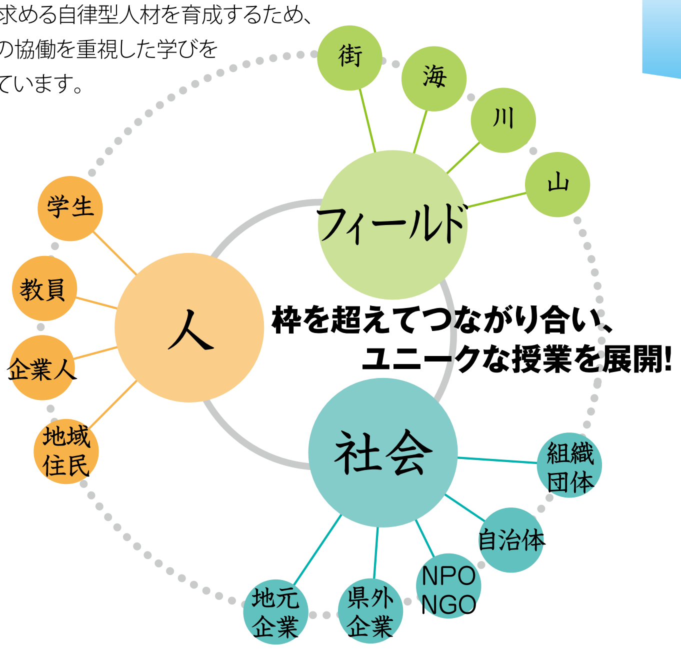
■ 4年間の履修の流れ



自律性を育む、独自のプログラム

キーワードは、“枠を超える”

社会が求める自律型人材を育成するため、社会との協働を重視した学びを実践しています。



人 学生や教員は学部という枠を超えて、企業人や地域で生きる人々はその立場を超えて、互いに協働しながら授業や活動に参加します。

フィールド 形式にとらわれず、学びの“現場”には積極的に出ていきます。山、川、海、街・・・それぞれのフィールドの懐に入り込んで学びます。

社会 社会は様々な組織やネットワークのつながり合い。そこで、企業やNPO、自治体などと協働し、社会に貢献しながら学んでいきます。

共通教育とは

共通教育は、各学部における高度な専門的学習の基礎を身につけるとともに、人生や生活を豊かにするための幅広い教養を身につけたり、自らのキャリア形成を行うための支援を受ける場であり、高知大学で学ぶ全ての学生にとって重要なカリキュラムとして位置づけられています。
大学では、必ず履修しなければならないと指定されている授業（必修科目）以外は、それぞれの設定する学びの目標に沿って自由に選択できます。

■ 履修構成

共通教育は、「人間と世界についてしっかりとした考え方をつくり上げ人格の完成をはかること」を目的とし、初年次科目、教養科目の2科目群から構成されています。

共通教育	初年次科目	大学基礎論	学問基礎論	大学英語入門
		英会話	情報処理	課題探求実践セミナー
専門教育	教養科目	人文分野	社会分野	生命･医療分野
		自然分野	外国語分野	キャリア形成支援分野

※履修規則は、各学部ごとに定められています。

初年次科目

初年次科目は、「大学基礎論」、「学問基礎論」、「大学英語入門」、「英会話」、「情報処理」、「課題探求実践セミナー」の6科目で構成されています。これらの科目は、学習の目的や意義を明確にし、学習を進めるための基本的知識や技法を身につけ、自ら考え、自ら表現し、問題を発見し探求できる基礎的能力を獲得するために設けられたもので、高知大学の学生全員が必修です。

▶ 大学基礎論（9ページ参照）

大学基礎論では、①大学で学ぶことの意義と目的、②卒業時に自分がどうなっていたいか、どのような能力をつけるべきか、③社会における大学や学問の位置づけと高知における高知大学の存在意義についてグループワークを通して考えます。

▶ 学問基礎論（10ページ参照）

それぞれが専攻する学問の魅力やその学問が何を課題にしているかといった、これから学ぶ学問に対する理解を深めるための授業です。各学問の課題や輪郭についての講義を聴き、自分がその学問を学ぶ意義を明らかにします。

▶ 大学英語入門

専門教育での学究、国際交流や社会で使える英語の4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）をバランスよく養います。実践的英語力、自律的英語学習能力、国際共生力を身につけることを目指します。

▶ 英会話

授業は全て英語を母語とするネイティブ・スピーカーの教員が担当します。自分の持つ英語力を最大限に利用してコミュニケーションを行い、日常英会話の基礎的能力を身につけることを目的としています。

▶ 情報処理

全学生パソコン必携のもと、「情報活用の実践力」「情報の科学的理解」「情報化社会に直面する態度」などについて学習し、コンピュータの基礎知識からネットワークの知識・利用技術、情報化社会の倫理などの情報リテラシーを身につけます。

▶ 課題探求実践セミナー（9ページ参照）

各学部、学科、課程等の学問内容に沿って課題探求能力や問題解決能力を養う授業や、地域や国際協力などのテーマに沿ってこれらの能力を養う、多様な授業題目があります。

教養科目

教養科目は、幅広い学問分野に触れるとともに、現代的なトピックスにも目を向け、人間として、社会人として豊かな教養が育つように人文分野、社会分野、生命・医療分野、自然分野、外国語分野、キャリア形成支援分野の6分野で編成されています。履修については、特定の分野に偏ることのないよう選択履修としています。

Step.1 学びの転換をはかる。

大学基礎論

―― 与えられる学びから、掴みとる学びへ

大学基礎論は、入学後すぐの1年生1学期に開講される授業です。その最大の目的は、“学ぶ姿勢を学ぶ”こと。「大学で学ぶ意義は？」「学ぶ目的は？」といった学びの動機を学生自身が再確認し、“教わる”から“掴みとる”へと学びの姿勢を転換します。

▶ 授業例 理学部

この授業では、理学部の教員や社会人講師の話を聞いて、感じたこと、知り得たことを少人数グループで討論します。自分の意見を伝え、相手の考えを理解することを通して、学生自身を成長させます。
学生はまず、『理学部で学ぶことの意義』『社会はどんな力を求めているか』『企業から高知大学生に望むもの』『4年間を有意義に過ごすために』といったテーマの講演を聞きます。講演の翌週は振り返り授業として、講演の内容についてグループで話し合い、考えをまとめます。最終的には、グループに分かれてテーマを決め、プレゼンテーションを行います。

▶ 授業例 教育学部

自らの学びをデザインする力を養うこと。これが本授業の目的です。この力が大学における学びの基礎となります。と同時に、自身の学びづくりを体験すること、そして他の仲間たちとの協同作業によって成り立つという原理を経験することが、将来、児童・生徒の学びづくりを支援する学校教員としての第一歩になると考えています。
授業は、教育学部学校教育教員養成課程における実習系授業を履修するための基礎を身につけるための6つの基礎講座「敬語を使おう」「子どもと遊ぶ」「環境問題を学ぶ」「救急処置法」「発達障害のある子どもへの対応」「教育実習に向けて求められること」等からなります。

Step.2 社会と関わり、自律性に目覚める。

課題探求実践セミナー

人は、自分以外の他者と関わることで変わります。そこで、できるだけ多くの他者と交わる機会を設け、学生に“気づき”のチャンスを提供しようというのがこの授業。様々なかたちで社会と関わり合う「実践」と、振り返りのための「事後学習」を繰り返し、自律的な自分へと近づいていきます。

▶ 授業例 国際協力入門

授業のテーマは「諸外国で起きていることが、自分が住んでいる地域とどのようにつながっているのかを理解する」です。高知をはじめ四国内において、国際協力およびNGO活動の現場で活躍されている方々を講師に迎え、解決が必要とされる課題を理解し、いったい何をすべきなのか、それはなぜかを考えていきます。各授業は基本的に、講義・少人数ワークショップ（1グループ当たり6名程度）・プレゼンテーションで完結する形をとっています。

▶ 授業例 地域協働入門

「高知の自然・人・まちの魅力、人の工夫を理解する」ことをテーマとした授業です。実践事例を基に、地域で解決が必要とされている課題を理解し、いったい何が問題なのか、それはなぜかを考えていきます。海、山、川、食など豊かな自然や人々の暮らしが息づく高知県内の市町村をフィールドとして、過疎化が進む中山間地域や農林漁業、地球環境との関わり、観光振興などを、地域での実践や交流を通して学びます。授業を通じて、積極的に考える力、自分の考えを表現する力、人の話をきちんと聞く力、分からないことにもチームで取り組む力、地域に飛び出してチャレンジしてみる力の養成を目指します。

Step.3 自律的な学びの土台を築く。

学問基礎論

1年生2学期に開講される学問基礎論は、各学部で展開される専門教育の基礎をイントロデュースし、自律的な学びへの土台を築く役割を担います。学問基礎論のプログラムは各学科や各コースによって異なりますが、共通しているのは学生たちの「自発的な思考プロセス」を尊重するという点。教員側から教えたり誘導したりという介入は行わず、学問の本質やその楽しさを体感することに重点を置いています。

▶ 授業例　学問基礎論　平成27年度農学部生対象

農学各分野の概要を理解するとともに、農学各分野と高知県の係り合いについて理解・関心を深め、これらに関する研究・調査を行える素養を身につけることを目的としています。

●プログラムの流れ

学生は、まず農学のそれぞれの分野に関する講義を受け、受講したい希望テーマを2つ選択します。1チーム5〜6名に分かれて自分たちで課題を設定。その課題解決のための方法を情報収集やディスカッションなどグループワークを通じて導き出し、プレゼンテーションします。

Extra インターンシップで自律性と現実感覚を体得する。

キャリア形成支援分野

社会協働インターンシップ（CBI：Collaboration Based Internship）の実習期間は半年、実習先は首都圏の企業等。CBIは、「本気」と「覚悟」のある学生だけがチャレンジできる、単なる職業体験とは一線を画す高知大学オリジナルのプログラムです。将来どのような社会人になりたいのか。そのためには大学生活で何をすればいいのか。学生はCBIの経験を通して、大学での学びの質を高め、社会で活躍するために必須の自律性と現実感覚を体得します。

CBI企画立案（事前学習）
CBI実習にトライする前に、企業研究や働くとはどういうことか学生同士で考えることにより、本気と覚悟を醸成します。

→

CBI実習（インターンシップ）
本気・覚悟が醸成できた学生のみが、大学を離れて半年間企業でインターンシップをします。

→

CBI自己分析（事後学習）
インターンシップ全体を振り返り、今後の学生生活をどのように過ごすか考えます。

Voice 卒業生の声

山地 由圭里　株式会社技研製作所　平成23年度人文学部卒業（高知県立高知南高校出身）

大学2年の1学期（4月〜8月）に、株式会社ワーク・ライフバランス（東京都）でインターンシップをしました。私と同じ学生インターンはほかに6人いましたが、ほとんどが都内の有名大学に通う3〜4年生で、はじめは気後れしてしまいました。でも、インターン同士すぐに打ち解けて今でも交流は続いています。最初は仕事に慣れるだけで精一杯だったのですが、ほかのインターン生と比べて私に足りないものは何だろう、社員さんのように仕事を定時で切り上げるにはどうすればよいだろうと考えるようになり、自分なりに工夫して時間を有効に使えるようになりました。
大学に戻ってからも、限られた時間の中で積極的に人に会うことを心がけるなど、時間の使い方は意識するようになりました。また、生まれ育った高知を離れることで、高知に対する愛着の深さを再認識し、県内で就職しようと決めました。就職面接で、東京でのインターンシップ経験をアピールしたせいか、就職して最初の勤務地は東京に。高知で働けると思っていたので予想外でしたが、東京での生活には慣れていたので割とすんなり溶け込めました。今は、入社前から希望していた高知本社の人事課で給与計算や社会保険の業務をしています。採用の仕事にも興味があるので、将来携わることができたらいいなと思っています。
インターンシップ先で学んだことのひとつが、"日々新しいことを身に付ける"ことの大事さ。プライベートを充実させるためには、家族や友人と過ごす時間はもちろん大切だけど、自分自身の成長のために毎日少しずつでもいいから時間を割くといいよと教わりました。仕事から疲れて帰ってきても、その日のことを振り返り、10分でも勉強して新しい知識を増やす、ということを実践しています。

学びを支える様々な制度や取り組み

高知大学では、個々の学生の学びをしっかりとサポートし、高い意欲と能力を備えた人材として社会に送り出すため、様々な支援や取り組みを行っています。

アドバイザー教員制度

入学から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつきます。アドバイザー教員は本学の専任教員が担当し、在学中の学習計画や履修指導はもちろん、進学、就職、生活、健康といった大学生活全般における相談役として助言や指導を行います。

リメディアル教育

リメディアル教育とは、大学教育を受けるために必要な基礎学力を補うことを目的に行われる「補習教育」のことです。

リメディアル教育（入学前教育）

▶入学前教育

人文社会科学部（仮称）人文社会科学科社会科学コースでは、推薦・AO入試による入学生を対象に、大学の授業にスムーズに移行できるよう、考える力や問題発見する力を養うための入学前教育を実施します。

▶大学生として必要な基礎学力を補うための教育

初年次科目の「大学英語入門」と「英会話」では最初の授業にプレースメントテストを実施し、習熟度に応じたクラス編成・授業を実施しています。さらに高校までの学習時間が十分でなかった学生のために、通年開講の補習クラスにより、大学生として必要な英語基礎力の修得を図っています。

オフィスアワー

学生からの質問や相談に教員が応じるための時間がオフィスアワーです。アドバイザー教員や授業担当教員のオフィスアワーをシラバスなどで確認し、予約を入れて質問や相談に行きます。

授業での質問や疑問に思うことがあれば、アドバイザー教員以外の教員のもとにも気軽に行けるシステムです。

ティーチング･アシスタント

共通教育・専門教育の実験や演習の科目では、きめ細かい指導により学生の理解をサポートするため、優秀な大学院生が授業の補助業務を行っています。

ティーチング・アシスタント講習会

他大学との単位互換

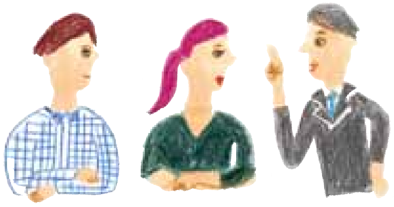
協定が結ばれている他の大学であらかじめ定められている科目を履修し単位を修得した場合は、本学の単位として認定を受けることができます。

早期卒業

本学に3年間在学し、卒業の要件として所属する学部の定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる場合は、本人の申請により早期卒業が認められます。（医学部を除きます）

特別修学支援室

「高知大学で学びたい全ての学生のために」をキャッチフレーズに、誰もが学びの楽しさ、喜びを感じるキャンパスづくりを目指しています。特別修学支援室は、身体や感覚機能にハンディキャップを持つ学生をはじめ、授業や実習などで困っていれば、必要に応じて、学生へのサポートをしています。



キャンパスライフ支援ルーム「からふるパレット」

学生スタッフも活躍中！

身体の病気や障がいがあってもキャンパスで安心して過ごせるように、環境整備などのサポートをしています。聴覚障がいのある方のために、講義や講演などの内容を文字情報に要約するノートテイクボランティア養成講座や、学部、学年に関係なく学生が集い、語り合う場“からふるパレットカフェ”を定期的に開催しています。

車イスや杖を利用する学生が、キャンパス内の移動で困ることがないようにバリアフリーチェックをしてマップを作成しました。▶

もうひとつの学びの場

学生の課外活動

自律的な力が育まれるのは授業だけではありません。学生が自主的に行っている活動も、成長につながる貴重な機会。そこで高知大学では、学生の課外活動についてもサポート体制を充実させ、活動を推奨しています。

学生と社会をつなぐリエゾンオフィス
コラボレーション・サポート・パーク

高知大学には、学生に自発的な活動実践の場を提供し、その活動を教員とスタッフが支援していく仕組みがあります。地域や企業、地域の人々との様々な出会いを通し成長していく学生を応援しています。

COLLA PAR Kochi Univ.

アプリをダウンロードして スマホで読み込もう

▶詳しくは90ページ

学生の「何かしたい」をかたちに
コラボ考房プロジェクト

「自分の持ってるアイディアで、高知をもっと元気にしたい!」、「やってみたいことがあるけれど、何から始めていいかわからない」など、様々な思いを持っている学生団体の活動をサポートする仕組みがコラボ考房プロジェクトです。1年間、支援教員とコラパ～スタッフが、企画のブラッシュアップやチーム作りのサポートなどを行います。

企画を整理し形にしていくためには、幾度もハードルを越えなければなりませんが、充実した経験ができるよう、教員、スタッフが学生たちを応援しています。

※コラボ考房プロジェクトは、四国経済産業局補助事業「平成26年度地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業」の補助を受け、実施しています。

人との関わりを意識したインターンシップ
SBI（人間関係形成インターンシップ）

SBIとは、Society Based Internshipの略称。「社会に出るときに、どんな能力が必要なのかな」「自分にその能力があるのかな」「それを身につけるために、学生時代に何をしたらいいのかな」そんな疑問や不安を感じている学生におすすめなのがこのプログラム。学生3人一組のチームで3週間、企業でインターンシップを行います。

「学生チーム」「受入企業組織」「社会（取引企業やお客様）」という3層の人間関係の中で、様々な人と接することで、社会で求められている能力や自分の将来について考えます。

いろんな地域をのぞいてみよう
えんむすび隊

高知県内各地を訪ねるワンデイツアーを行っています。地域のすばらしさや、地域の抱える問題に触れることで、社会との関わりを考え行動を起こすきっかけとなることを目指しています。

▶ 実施例
- ●本山町吉延地区　田んぼアート田植え体験
- ●安田町中山地区　自然薯植え付け体験
- ●いの町伊野地区　まち歩きツアーのブラッシュアップ など

Voice 参加者の声

えんむすび隊の活動は1日から参加OKで、自分の希望次第でいろいろな体験ができます。何度も参加して感じたことは、地域によって長所や短所が違っていて魅力的。だからこそ地方はおもしろい!地域活性化のために自分に何ができるのか、机の上では学べなかった大切なことを教わった気がします。

小学校区でパトロール、地域のコミュニティ活動に参加
高知子ども守り隊「守るんジャー」

2005年、下校中の児童が狙われる事件が多発したことを受け、子どもの命を事件・事故から守ろうと発足。大学近くの小学校の通学路をパトロールし、下校中の児童の安全を見守っている。

主な活動

▶ パトロールと見守り活動

大学近くの朝倉小学校と朝倉第二小学校の通学路を月替わりでパトロールしています。学生は自分が行ける曜日を事前に選んでシフトを組み、平日に活動を行っています。子どもたちの笑顔が見られるだけでなく、注意の仕方など関わり方の勉強にもなっています。

▶ 地域のコミュニティに参加

見守り活動をしながら見えてきたのは、地域とつながる大切さ。子どもは家庭、学校、そして地域の中で育まれます。私たち大学生も地域の一員として清掃活動や地域の行事やお祭りに参加し、コミュニティを元気にする一端を担えたらと思っています。

◀ 2011年にSYDボランティア奨励賞 文部科学大臣賞受賞

Voice 代表の声

棟田 一章　教育学部4年

教育学部を中心に、将来教員を目指す学生が多く活動しています。子どもたちの普段の姿が見られるし、地域の方とも仲良くなれて楽しいですよ。

人文科学と社会科学を織り混ぜた新たな学びのしくみ

人文社会科学部（仮称）

Faculty of Humanities and Social Sciences

学科・コース

人文社会科学科

- 人文科学コース
- 国際社会コース
- 社会科学コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

▶詳しくは90ページ

人文学部は人文社会科学部（仮称）へ　平成28年4月設置申請中

グローバル化の進展をはじめとする社会の変化により、近年の社会は、総合的、専門的知識を持った人材だけでなく従来の分野の枠組みを超えた柔軟な発想力を兼ね備えた人材を強く求めています。

そのため人文学部は、学科の“垣根”を取り払い、新たな理念「人文社会科学（領域）の教養の涵養」を基軸に教育課程を一体化する組織改編を行い、１学科体制の下、「人文社会科学（領域）」の教養を軸としてグローバルかつローカルな課題に取り組み、社会の変化に柔軟に対応できる新たな人材の養成を行います。

～平成27年度

人文学部

- 人間文化学科
- 国際社会コミュニケーション学科
- 社会経済学科

↓

平成28年度～

人文社会科学部（仮称）

人文社会科学科

コース	プログラム
人文科学コース	哲学・思想プログラム、心理学プログラム、歴史・地理学プログラム 日本語・日本文学プログラム、英米文学プログラム
国際社会コース	言語・コミュニケーションプログラム、総合文化プログラム、グローバル社会プログラム ヨーロッパ地域プログラム、南北アメリカ地域プログラム、アジア・オセアニア地域プログラム
社会科学コース	経済理論プログラム、経済政策プログラム、経営・会計プログラム 法律・政治プログラム

学科間の垣根を取り払い、興味・関心に沿った科目選択が可能に！

※人文社会科学部（仮称）は平成28年4月設置に向けて、文部科学省に認可申請中です。（平成27年5月現在）したがって、13ページ～18ページの内容は、予定であり変更する場合があります。

▶ 人文社会科学部（仮称）ホームページ　http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/　（平成27年度中は人文学部ホームページとして公開中）

先輩にきく

やりたい気持ちに応えてくれる学部

髙須 博康　人文学部社会経済学科4年※（愛知県立西尾東高校出身）

※学生の所属・学年表記は平成27年度のものです。

僕の出身は抹茶ブランドで有名な愛知県西尾市。実家も抹茶の製造販売業を営んでおり、家業を継ぐために経営学を学ぼうと高知大学に来ました。高知は初めての土地でしたが、晴れの日の多さと人の温かさに魅せられ、すぐに大好きになりました。

大学では、1年生からゼミに入り少人数での演習を受けます。2年生になって簿記の資格を取るための勉強方法が分からず困っていた時、当時入っていた会計学のゼミの先生が「私が教えてあげるよ」と言ってくださり、週1で授業終了後から夜9時くらいまで勉強を見ていただきました。おかげで3級、2級と連続して一発合格!大きな自信になりました。その後、3年生以降も同じ先生のゼミに所属し、現在は卒論指導を受けています。高知に来て尊敬できる先生に出会えたことにとても感謝しています。

高知大学は、自分からやりたいと思えば何でもやることができる大学です。僕の場合は資格取得でしたが、周囲には地域に出て様々な活動に取り組む人も多く、いい刺激をもらいました。またキャリアサポートも充実しており、特に自己分析などはとてもためになりました。残りの1年は卒論を計画的に進めつつ、自分に足りないことを学びたいと考えています。そしていつか、家業だけでなく地元・西尾市の抹茶ブランド振興に貢献できるようになれたらうれしいですね。

教員にきく

人文科学と社会科学を総合的に学び、自分の世界を大きく広げてほしい

中川 香代　教授

学生には、自分の学びたいことに向かって、のびのびと活動してほしいと思っています。

本学部の教育は、人文科学と社会科学の多彩な講義メニューはもちろんのこと、5〜10人で学生と教員が、あるいは学生同士が話し合いをしながら勉強していく少人数クラスも充実しています。また、ヨーロッパ・アメリカ・カナダ・アジアなどへの海外スタディツアーや、国内外の企業や公的機関への訪問など、フィールドワークや実社会との連携授業など、多様な活動機会も多くそろえています。そのなかで学生は、人間・文化・社会について、国際的に視野を広げ、歴史的に考えを深めることができます。ぜひ、人文社会科学部（仮称）で専門性を身につけ、「本質を見る」「深く考える」「コミュニケーションする」「行動する」経験を積み、自分の世界を大きく広げてほしいと思います。

人文社会科学科のカリキュラム例

人文科学コース **講義科目80科目、演習・実習・実験科目70科目と豊富に取り揃えています。**	国際社会コース **講義科目80科目、演習・実習科目60科目を超えており、広い教養と実践的スキルを養えます。**	社会科学コース **講義科目50科目、演習科目70科目と充実しています。**
■ **哲学・思想プログラム**：西洋近代思想・倫理学・宗教論 ■ **心理学プログラム**：認知発達心理学・認知心理学・社会心理学・感情心理学 ■ **歴史・地理学プログラム**：日本中世史・日本近世史・日本近代史・東洋古代中世史・東洋近世近代史・西洋社会史・人文地理学・自然地理学・考古学 ■ **日本語・日本文学プログラム**：現代日本語論・日本語史・日本古代文学・日本中世文学・日本近代文学 ■ **英米文学プログラム**：イギリス文学・アメリカ文学・映像メディア論・言語意味論・言語文法論	■ **言語・コミュニケーションプログラム**：第二言語習得論、日米異文化間コミュニケーション論、英語オーラルコミュニケーション、英語パブリックコミュニケーション ■ **総合文化プログラム**：英米文化史、比較文化論（日欧・日本社会・日米英・日独・日仏・日中）、言語文化論（アメリカ・イギリス・フランス・中国） ■ **グローバル社会プログラム**：越境社会論、アジア経済社会論、世界経済論、経済発展論、中国経済社会論、グローバル社会と地域 ■ **ヨーロッパ地域プログラム**：ヨーロッパ社会文化論、英語読解研究、フランス語オーラルコミュニケーション、日欧異文化間コミュニケーション論、比較日独文化論、社会思想史 ■ **南北アメリカ地域プログラム**：南北アメリカ関係論、グローバル社会特殊講義、ラテンアメリカ経済社会論、アメリカ言語文化論演習、英語読解研究、スペイン語中級 ■ **アジア・オセアニア地域プログラム**：アジア経済社会論、日本語教授法、東南アジア社会文化論、メディア論演習、日本文化表現論演習、中国語オーラルコミュニケーション	■ **経済理論プログラム**：ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、金融論、労働経済論、自然資源の経済学、経済史、組織の経済学 ■ **経済政策プログラム**：地方財政論、日本経済論、国際経済論、社会保障論、福祉経済論、農業経済論、産業立地論、国際水産開発論 ■ **経営・会計プログラム**：経営管理論、人事管理論、競争戦略論、簿記原理、会計学原理、流通論、経営史、マーケティング論 ■ **法律・政治プログラム**：憲法、民法、商法、行政法、政治過程論、経済法、刑法、経済刑法

人 文 社 会 科 学 科　Department of Humanities and Social Sciences

3つの特徴 ➡ プラットフォーム科目、コース・プログラム制、ダブルコア・マルチコア

プラットフォーム科目では、グローバル社会と地域社会がどのような課題に直面しているのか、その課題がどのようなものなのかを理解していきます。人文科学と社会科学の双方の視点を関連付けて課題解決の糸口を学びます。
コース・プログラム制は、人文科学コース、国際社会コース、社会科学コースの各コースに、専門分野・学問的視点に基づいて合計15プログラムを設けています。2年生から関心に沿ったプログラムを選択し、学びの“コア”を体系的に形成します。
ダブルコアとマルチコアとは、複数のプログラムを体系的に学べるしくみです。入学したコースに置かれたプログラムのなかから2つのプログラムを履修することをダブルコア、入学したコースとは異なるコースからもプログラムを選択し履修することをマルチコアと呼びます。複数の学びの“コア”を形成しようとする意欲的な学生の期待に応えます。

▶ 4年間の流れ

	1年生	2年生	3年生	4年生	
		プログラム選択			
人文科学コース 国際社会コース 社会科学コース	共通教育科目	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			卒業論文
少人数ゼミナール	大学基礎論 課題探求セミナー 学問基礎論	ゼミナールⅠ、Ⅱ （基礎演習）	ゼミナールⅢ、Ⅳ （専門演習）	ゼミナールⅤ、Ⅵ （卒論演習）	
プラットフォーム科目	基礎科目 （1・2年次履修）	外国語科目 （2年次～履修）	発展科目 （2～4年次履修）		

人 文 科 学 コ ー ス　Humanities Course

文章作成力に根差した分析力と問題解決能力を養う

学びの特色

人文科学コースでは、哲学・思想、心理学、歴史・地理学、日本語・日本文学、英米文学の5つのプログラムで、人文科学の各領域の専門知識を体系的に学んでいきます。人間や人間がつくり出す文化・社会に対する深い関心を持ち、様々な「知」のあり方に深く、幅広く触れて、柔軟に物事を見る目を養成しながら、文献資料やデータを分析する力、文書を作成する力を習得し、問題解決能力を養っていきます。

5つのプログラム

哲学・思想プログラム

歴史に現われた主要な哲学者の思想を吟味・解釈することを通して、わたしたち人間に固有な問題とは何かを探求します。したがって、定評ある古典を読み解いていくことが研究の第一歩です。さらに、そのようにして培った思索の技術を、現代の複雑な問題に応用して人間の可能性を拡げていきます。

心理学プログラム

心理学とは「心」を科学的な方法を用いて明らかにし、実際の場面に適用する学問です。本プログラムでも「心」を研究するための様々な実験方法や調査方法を学びます。また、いろいろな観点から研究する心理学には多くの領域があり、基礎から各領域の知識を積み上げることで認定心理士の資格が取得できます。

歴史・地理学プログラム

歴史・地理学プログラムは、歴史学および地理学を専攻するためのプログラムです。歴史学では、様々な史資料に基づき、日本そして世界に視野を広げて歴史研究に取り組みます。地理学では、文献調査と現地調査をともに重視することで、真の意味での「地域と関わる学問」に取り組みます。

日本語・日本文学プログラム

日本語・日本文学プログラムでは、古代から現代に至る、日本の様々な時代の文学作品を学ぶことができます。作者の思想や時代背景なども踏まえて、作品や作家について研究していきます。また、文法・語集・発音など、日本語（方言も含む）そのものを対象とする日本語学の勉強・研究もできます。

英米文学プログラム

英米を中心とする英語圏の文学作品を原文で読みながら、言語、文化、歴史、人種、民族など様々な観点から検討を加え、その過程で批評精神を養成し、最終的に自己や世界を複眼的・相対的に捉えることを目指します。英語圏の文学作品を素材に文学研究を行う意義と魅力を味わってもらいます。

国際社会コース International Studies Course

分野×地域を軸に、グローバル社会で国境を越えて連携できる力を養う

学びの特色

本コースでは、多元化・複雑化するグローバル社会を見据え、国内外の様々な「壁」を乗り越えて羽ばたくことのできる「グローバル市民」を育てます。学びの核は、少人数ゼミナールとセットの《分野×言語の6つのプログラム》と、国内外での《フィールド・スタディ》。様々な外国語の運用能力アップはもちろん、専門知識に裏打ちされた深い洞察力と複眼的な思考力を身につけることで、言語コミュニケーションや異文化／自文化、グローバル社会の問題を主体的に考察・判断できるようになります。

6つのプログラム

言語・コミュニケーションプログラム

このプログラムでは、言語学およびコミュニケーション論の基本的な理論を学びます。同時に、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの具体的な言語や地域にフォーカスした形で発展的な科目を学びます。また学部開設の日本語教員養成課程の関連科目も組み込まれています。

総合文化プログラム

ここでは、環境・大衆・交流・越境など多様な視点で文化を論じる科目を基盤とし、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域を対象として社会と文化のあり方を考える発展的な科目を学んでいきます。また文化と不可分なメディアに関する科目も、このプログラムの重要な一環です。

グローバル社会プログラム

現代のグローバル社会のあり方に社会科学の様々な領域からアプローチするプログラムです。国際関係論や世界経済論、文化人類学に加えて、隣接コースの経済学や政治学の科目もあわせて社会科学の基盤を学び、さらにヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域の政治・経済・社会について学びます。

ヨーロッパ地域プログラム

これは、上の3つの分野から、ヨーロッパ地域に関わる科目を横断的に学ぶプログラムです。英語・ドイツ語・フランス語等の言語系科目を基盤とし、ヨーロッパ地域の言語やコミュニケーション、多様な文化、政治・経済・社会について学ぶことで、この地域のあり方を多面的に捉え、探求します。

南北アメリカ地域プログラム

このプログラムは、南北アメリカ地域を分野横断的に捉えようとするものです。現在は英語系科目が基盤ですが、新学部ではスペイン語系科目も導入される予定です。さらに、英語圏に関わる言語理論やコミュニケーション論、文化、社会、経済、そして南北アメリカ関係について学びます。

アジア・オセアニア地域プログラム

実質的な共通語としての英語に加え、中国語の科目を基盤として学びます。そして中国・日本・東南アジア諸国を中心に、その言語・文化・社会・経済についての様々な科目を通じて、変動する地域の姿に多角的に迫ります。またこのプログラムには、日本語教員養成課程の科目も、多く組み込まれています。

社会科学コース Social Sciences Course

経済学、経営学、会計学、法律・政治学を通して調査力・分析力を養う

学びの特色

グローバル化する社会においては、貧困や失業、犯罪の増加や景気の後退、労働環境の悪化、民族問題など様々な問題が存在しています。これらの問題を発見・解決するためには複眼的な思考方法が必要となります。本コースでは経済学・経営学・会計学・法学・政治学の専門知識を4つのプログラムを通じて体系的に学習します。様々な学問領域の考え方を学ぶことは、複眼的思考法のトレーニングとして有効です。社会における諸問題に対処するための制度をデザインできる人材の育成を目指しています。

4つのプログラム

経済理論プログラム

経済理論プログラムでは、ミクロ経済学、マクロ経済学、組織の経済学、金融論、ゲーム理論といった専門科目を学習し、そこで獲得した知識を様々な現実問題へと応用していきます。これにより物事を論理的に考えるための思考力と、複雑な社会問題に対して適切な対処策を考察・提言する能力を養います。

経営・会計プログラム

経営・会計プログラムでは、継続的な企業活動を可能とする企業内の仕組みを考えるとともに、企業外からの規制や関連する集団との関係性の維持のために必要な要因について理論的・実践的に学びます。経営学や会計学の理論について学び、専門性を高めるとともに、問題を解決できる能力を養います。

経済政策プログラム

経済政策プログラムでは、財政や福祉、地域の問題を通じて、現代の社会制度に関わる具体的な諸課題に取り組みます。少子高齢化問題、地域の産業、福祉、行財政のあり方などの具体的な政策課題を学ぶことで、経済的観点から諸課題の分析を行うことのできる能力を身につけます。

法律・政治プログラム

法律・政治プログラムでは、人文社会科学の諸分野を広く学んだ後に憲法、民法、商法、政治学といった専門科目を多く履修していくことになります。知識の修得のみならず、現地調査や施設見学等を通して、鋭い人権感覚とともに、現実の社会問題への解決策を提言できるような能力を身につけます。

Voice! 内定者の声

**アメリカ旅行に行ったのもいい思い出！
高校生の頃に滞在した
ホームステイ先を再訪問し、
国を越えた人の絆を実感しました**

武田 香澄（愛媛県立丹原高校出身）

森ビルホスピタリティコーポレーション　平成25年度卒業

私は英会話がとにかく好きで、もっと英語のコミュニケーション力を磨きたいと高知大学に来ました。大学では、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングなど、英語力をまんべんなく強化する「国際英語コミュニケーションプログラム」というプログラムを受講しました。私にとっては難しく大変な授業でしたが、おかげで随分と力がつきました。また、どちらかというと消極的だった私が積極的に自分の意見を発言することができるようになったのも、このプログラムのおかげだと感謝しています。

就職活動では、3年生の夏休みに行った土佐御苑という旅館でのインターンシップをきっかけに、接客業に興味を持ちました。海外からのお客様の多いホテルに的を絞り、東京を中心に就活。なかなか最終面接まで進めず落ち込んだ時期もありましたが、一番つらかった時に就職室の方に親身に話を聞いてもらい、ポジティブな思考に切り替えることができました。就職先のホテルは外資系で、勤務予定地は東京です。ちょうど新たな事業展開もあり、海外でホスピタリティを勉強する機会もあると聞いているので、そういったチャンスを活かし、いろいろと挑戦したいと思っています。

土佐御苑では、目からウロコの「おもてなしの心」を教わりました！

■取得できる資格等

人文社会科学科 人文科学コース

中学校教諭一種免許状（国語・社会）／高等学校教諭一種免許状（国語・地理歴史）／学芸員／日本語教員養成課程単位修得証明書／認定心理士

人文社会科学科 国際社会コース

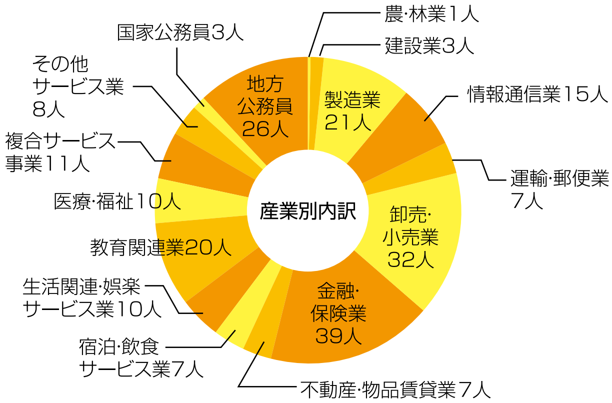
中学校教諭一種免許状（英語）／高等学校教諭一種免許状（英語）／学芸員／日本語教員養成課程単位修得証明書

人文社会科学科 社会科学コース

中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民・商業）／学芸員／日本語教員養成課程単位修得証明書

※なお、コースを超えた免許の取得をさまたげるものではありません。

■就職データ 2014年3月卒業生



平成28年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。
「○」は選択必須科目（その教科は必須で教科内に選択科目がある）を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。
「◇」は他教科との選択科目を表し、科目数欄に「※」を付して教科内で選択可能となる最大科目数を表示。

一般入試、AO（アドミッションズ・オフィス）入試

学科名等		学力検査等の区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																					個別学力検査等	
			教科・科目数	国語		地理歴史・公民											数学							理科									外国語						教科等	科目名等〔　〕は受験の選択・必須や必要科目数など
				国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数Ⅰ	数Ⅰ・A	数Ⅱ	数Ⅱ・B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数		
人文社会科学科	人文科学コース	前期（59）	3教科3科目又は3教科4科目	●	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇2				又は ◇1				1〜2※	○	○	○	○	○	1	国語 外国語	<国語>国語総合・現代文B・古典B <外国語>英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ）〔2科目受験必須〕
人文社会科学科	人文科学コース	後期（5）	3教科3科目又は3教科4科目	●	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇2				又は ◇1				1〜2※	○	○	○	○	○	1	その他	面接　〔必須〕
人文社会科学科	国際社会コース	前期（38）	3教科3科目又は3教科4科目	●	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇2				又は ◇1				1〜2※	○	○	○	○	○	1	その他	小論文　〔必須〕
人文社会科学科	国際社会コース	後期（10）	3教科3科目又は3教科4科目	●	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇2				又は ◇1				1〜2※	○	○	○	○	○	1	その他	面接　〔必須〕
人文社会科学科	社会科学コース	前期（60） A選抜（55）	5教科6科目又は5教科7科目又は6教科6科目又は6教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	○	1	○2				又は ○1				1〜2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文　〔必須〕
人文社会科学科	社会科学コース	前期（60） B選抜（5）	5教科6科目又は5教科7科目又は6教科6科目又は6教科7科目	●	1		○		○		○	○	○	○	○	1〜2		○		○			1	○2				○1〜2				1〜3	○	○	○	○	○	1	その他	小論文　〔必須〕
人文社会科学科	社会科学コース	後期（5）	3教科3科目又は3教科4科目	●	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇2				又は ◇1				1〜2※	○	○	○	○	○	1	その他	面接　〔必須〕
人文社会科学科		AO入試Ⅰ（8）	大学入試センター試験は課さない																																				その他	（1次）講義及び講義理解力試験〔必須〕（2次）ゼミナール活動適性試験、作文、面接〔必須〕

■卒業後の進路

学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。（企業名は五十音順です）
※人文科学コースは人間文化学科、国際社会コースは国際社会コミュニケーション学科、社会科学コースは社会経済学科を参考にしてください。

人文学部 人間文化学科

アドキャスト、穴吹コミュニティ、あわしま堂、淡路信用金庫、アンデルセン、池川木材工業（高知）、石井事務機、宇治電化学工業、エーツー（高知）、NTTフィールドテクノ、エフピコ（広島）、オン・ザ・プラネット、川之江信用金庫、技研製作所、ケアリッツ＆パートナーズ（東京）、高知銀行、高知工科大学、高知システムズ、高知電子計算センター、コベルコ建機、コムパス（岡山）、サンエイコンサルティング、三翠園、四国化成工業、四国銀行、四国情報管理センター、JA岡山、JA土佐あき、JAまにわ、スタジオアリス、積水ハウス、高松信用金庫、高松帝酸、但陽信用金庫、近森産業、津山中央病院（岡山）、トキハ（大分）、トミックス、トランコム、日本生命保険、日本赤十字社広島県支部、日本フォームサービス、日本郵便、日本年金機構、NOSAI高知、パイオン、阪急メディアックス、阪神小型モータース、姫路ホンダ、富士ゼロックス三重、二葉屋、ベイクルーズ、マナベインテリアハーツ、マルナカ、宮崎太陽銀行、メガネトップ、山内宝物資料館、ヤマダヤ（愛知）、米子聖園天使園（鳥取）、リーガロイヤルホテル、ルミエ・パリ、関東信越国税局、岐阜県（学校事務）、和歌山県庁、愛媛県庁、高知県庁、沖縄県立埋蔵文化財センター、木津川市役所（京都）、尼崎市役所、南部町役場（鳥取）、佐用町役場（兵庫）、安芸市立歴史民俗資料館、南国市役所、高知市役所、玖珠町役場（大分）、北谷町役場（沖縄）、愛媛県警、高知県警、千葉県公立学校教員、香川県私立学校教員、高知県公立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、神戸大学大学院、鳴門教育大学大学院、愛媛大学大学院

人文学部 国際社会コミュニケーション学科

アイドゥー、アーキテクト工房ピュア、地域計画建築研究所 アルパック、ANA福岡空港、イオンモール倉敷、一畑トラベルサービス（島根）、伊藤ハム、いろは出版（京都）、梅乃宿酒造（奈良）、オーウェル、甲斐駒カントリークラブ（山梨）、カトーレック、関西エアポートエージェンシー、かんぽ生命、キャセイパシフィック航空、京都銀行、コイズミ照明、高知食糧、鴻池運輸、神戸中華同文学校、サイボウズ、沢の鶴、山陰合同銀行、三協テック、三幸グループ、四国銀行、四国スバル販売、住宅情報センター、シュマルツ（神奈川）、ジェイエイシーリクルートメント、ジェイコム、シャルレ、JALスカイ、JTB中国四国、JTB中部、スズキ、スズキ自販鳥取、西濃運輸、ゼリア新薬工業、積水ハウス、全労済、タイガー魔法瓶、ダイヤモンドダイニング、近森産業、中部国際空港、ディーアンドエムホールディングス、DHLサプライチェーン、東京計装、東進四国、トマト銀行、トヨタ工機、ドリーマー、長崎大学病院、西日本鉄道　国際物流事業本部、日本生命、野村証券、パナソニックホームエンジニアリング、ハローズ、Pacific Diner Service（大阪）、PHP研究所、ビッグ・エス（ケーズデンキグループ）、平林物産社（千葉）、フジ・トラベル・サービス、PLUS、別大興産（大分）、松代福祉寮（長野）、マーキュリー（兵庫）、宮崎ジャムコ、みらい住宅開発紀行、森松水産（愛媛）、山岸竹材店　竹虎、ユタカ（愛媛）、Regalo、ロック・フィールド、マイナビ、メイクス、高知県庁、熊本県庁、長門市消防本部（山口）、高知市役所、延岡市役所、南城市観光協会（沖縄）、倶知安町役場（北海道）、いの町役場、鳥取県警、高知県警、岡山市公立学校教員、香川県公立学校教員、高知県公立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、千葉大学大学院、大阪大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院

人文学部 社会経済学科

アートコーポレーション、明石被服興業、旭食品、朝日放送高知支局、穴吹ハウジングサービス、尼崎信用金庫、阿波銀行、イオンリテール、イズミ、伊予銀行、ウィングアーク 1sc、MBC開発（鹿児島）、NTTマーケティングアクト、SPK、大阪湾水先区水先人会、兼松エンジニアリング、かんぽ生命保険、北村商事（宮崎）、吉備信用金庫、銀泉、クボタ建機ジャパン、くらコーポレーション、九州通信ネットワーク、ゲオホールディングス、高知銀行、高知システムズ、高知信用金庫、高知電子計算センター、小松印刷（香川）、三縁証券、サニクリーン四国、佐野信用金庫（栃木）、山陰合同銀行、三五（愛知）、サンテレビジョン、四国がんセンター、四国銀行、四国情報管理センター、四万十みはら菜園、ジーコー、十八銀行、ジュングループ、JA板野郡、JA大分、JA香川県、JAバンク高知、JA島根中央会、損害保険ジャパン、大和ハウス工業、谷口金属熱処理工業所、中京銀行、中国銀行、中国労働金庫、津山商工会議所、帝国データバンク、ティーエム・エス、デサント、天満屋、東海東京証券、トマト銀行、ニトリ、日軽形材、日本IBMサービス、日本銀行、日本生命保険、日本年金機構、日本放送協会（NHK）、日本郵便、ネッツトヨタ山口、野村証券、幡多信用金庫、パナホーム、浜幸（高知）、播州電装、HAKKI　JAPAN、日立造船ハンドリングシステム、広島銀行、富士ソフト、ブンセン（兵庫）、丸今青果（愛媛）、三重銀行、水島信用金庫、港産業（徳島）、宮崎生協病院、メディカ出版、もみじ銀行、ヤマエ久野（福岡）、山岸竹材店（高知）、ヤマト運輸、勇心酒造、ゆうちょ銀行、ユニクロ、四電工、ラックコーポレーション、レカム、ロココ、和歌山県信用保証協会、警視庁、鳥取県警、岡山県警、高知県警、公正取引委員会、高松法務局、高知大学（事務職）、高知県庁、和歌山市役所、三原市役所、三豊市役所、高知市役所、宿毛市役所、島原市役所、太子町役場（兵庫県）、藍住町役場（徳島）、高知市公立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、東京工業大学大学院、岡山大学大学院、兵庫教育大学大学院

人文学部は、平成28年4月に改組予定です。ここに掲載した入学者選抜の実施教科・科目等は予定であり、変更もあり得ます。

［一般入試 備考］

(1) ［大学入試センター試験の利用教科・科目名］欄について（利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。）
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科（基礎を付していない科目）」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。（個別学力検査等を受験することもできない。）「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目（ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』）を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、『工業数理基礎』については、旧課程履修者についてのみ、選択解答することができる。
(2) ［個別学力検査等］欄について：出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

学科名等		学力検査等の区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名	個別学力検査等	
			科目名等	教科等	科目名等
人文社会科学科	人文科学コース	推薦入試Ⅰ(30)	大学入試センター試験は課さない	その他	面接　〔必須〕
	国際社会コース	推薦入試Ⅰ（A選抜）（B選抜）（20）（15）	大学入試センター試験は課さない	その他	面接　〔必須〕
	社会科学コース	推薦入試Ⅰ(25)	大学入試センター試験は課さない	その他	面接　〔必須〕

「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

教育学部

Faculty of Education

学科・コース

学校教育教員養成課程

- 幼児教育コース
- 教育科学コース
- 教科教育コース
  - 国語教育コース
  - 社会科教育コース
  - 数学教育コース
  - 理科教育コース
  - 英語教育コース
  - 技術教育コース
  - 家庭科教育コース
  - 音楽教育コース
  - 美術教育コース
  - 保健体育教育コース
- 科学技術教育コース
- 特別支援教育コース

アプリをダウンロードして

スマホで読み込もう

▶詳しくは90ページ

AR 教育学部

アドミッションポリシー

教育学部は、以下のような人物を求めます。

知識・理解：入学後に教育について専門的に学ぶために、高等学校までの各教科の基礎が身についている。

思考・判断：物事を多面的に捉え、人の意見を正確に理解し、自らの意見を持つことができる。

関心・意欲・態度：教師という仕事に強い関心があり、学校教育をめぐる様々な課題を他者と協力して解決しようとする意欲と態度がある。

技能・表現：自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。

教科外活動：クラブ活動やボランティア活動等で、リーダーとしての資質を持ち、集団の中で協調的にコミュニケーションがとれる。

▶ 教育学部ホームページ　http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/

先輩にきく

子どもたちと関わりながら成長できる!

高知大学は入学後、
いろんな分野を見た上で
教員としての専門を決められます。
それがとても
よかったですね

池田 啓彰　学校教育教員養成課程3年(宮崎県立延岡星雲高校出身)

高校時代は野球一筋で、部活中心の3年間でした。だから大学に入ったら好きな野球を続けつつも、もっといろいろな経験をしてみようと心に決めていました。それは将来、教師として教壇に立った時、子どもたちにたくさんの話を聞かせてあげたいと思ったからです。自分の経験値を高め、人間として魅力的になりたいと考えました。
その点で、高知大学は非常に恵まれた環境だと思います。4年間を通して授業の中で多様なプログラムが組まれていて、いろいろなかたちで地域の学校や先生、子どもたちと関わる機会があります。1年生で最も大きな経験になったのは、11月に行われた「地域・学校ボランティア活動」。これは、青少年育成協議会などと一緒に近隣9校から小学生約300名を招き、キャンパス内で様々な遊びの企画やレクリエーションを行うイベントです。僕はその学生代表として運営管理や調整に関わりました。当日は予期せぬハプニングもありましたが、子どもたちのいい笑顔を見ることができて本当に達成感と喜びを感じることができました。
また、課外活動でも「室戸ボランティアサークル」で、月1～2回のペースで国立室戸青少年自然の家に小中学生の野外活動のお手伝いに行かせていただくなど、学内外とわず幅広く学ぶことができています。目標としている人間性豊かな教員になれるよう、今後もいろいろなチャレンジをしていきたいと思っています。

ボランティアサークルのメンバーと

教員にきく

1年生から充実した実習系授業で、力を養う

藤田 詠司　教育学部長

「省察」——高校生の皆さんにはなじみがない言葉かもしれませんが、これは実践を理論的に振り返り、できなかったことをできるようにしていくことです。本学部では「4年間一貫した実習系授業」とそれ以外の様々な授業を連動させながら、この「省察」を繰り返していきます。まず1年生では地域活動を通して子どもと仲良くなり子どもを理解する「フレンドシップ事業」、2年生では学校現場で子どもを観察する「観察実習」や中山間地域の小規模校に入って学校行事を支援する「支援実習」で、"教える側"に立つ準備をします。そして3年生の「教育実習」、4年生の「応用実習」などを通じて、教員としての実力を養い、高めていきます。近年、教員採用試験では多くの都道府県が一次試験から面接を行う傾向にありますが、その時、4年間の実体験をもとに話ができるのは、大きな強みとなります。高知大学で様々な経験と学びを得て、ぜひ皆さんの夢を実現してください!

カリキュラム例

教育の原理や子どもの発達、教育の社会的・経営的側面に関する学習	教育の実践的側面に関する学習	教科指導・教科内容に関する学習	幼児教育に関する高度な学習	特別支援に関する高度な学習	教育に関する専門的な学習
教育制度論 教職入門 教育学概論 教育心理学概論 特別活動指導法 教育の方法・技術 教育相談 同和教育論 道徳教育 生徒指導	課題探究実践セミナー(フレンドシップ事業) 教育実習[初等] 教育実習[中等] 観察実習 支援実習 応用実習	教材開発演習 ■初等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の初等教科指導法 ■初等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の各初等教科 ■中等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の中等教科指導法 ■中等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、技術、家庭、英語の各中等教科	幼児教育指導計画論 保育指導論 幼児理解 ペアレンティング 保・幼・小接続カリキュラム 高知の保育 各教科に関する科目(幼稚園) 保育士に関する科目	特別支援教育概論 知的障害心理学 知的障害生理・病理学 病弱心理・生理・病理学 知的障害教育課程論 知的障害教育の理論と実際 肢体不自由教育指導法 病弱教育指導法 重複障害の理解と教育 発達障害等の理解と教育 特別支援教育実習	専門演習I～Ⅳ 卒業論文 教職キャリア開発論演習 教育哲学 日本教育史 西洋教育史 教育行政学 教育社会学 学校カウンセリング 認知心理学 教育情報演習 児童英語 高知県の教育

学 校 教 育 教 員 養 成 課 程　Teacher Training Division

こどもたちに豊かな人間教育を

教育理念

本学部は、質の高い教員の育成を目的としています。特に、高知県の教育課題である道徳教育や特別支援教育など心の教育や、グローバル化に対応した英語教育、理数技術系の向上に質する科学技術教育など学力向上に寄与する教員プログラムに力を入れています。併せて、運動、音楽、絵画等を基盤とした就学前教育にかかわる教育者・保育者の育成も重視しています。

学びの特色

小学校および中学校（あるいは特別支援学校）の教員養成を一体的に行うことを特色としています。4年間一貫した実習系授業を履修する中で子どもたちや教職員・地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力を身につけることができます。そして、幅広い教養科目と教育学や心理学などの教職の基本に関する科目、各教科に関連する科目を学習することで、それらの力を高めることができます。本課程では、教員免許の取得が必要です。

コース紹介

▶幼児教育コース

幼児教育および乳幼児保育における高度な専門性と研究・実践力

就学前は人間としての基礎を形成する大事な時期であり、この時期の子どもたちに接する教育者・保育者には、より深い人間理解と高度な専門性が必要です。近年は、認定子ども園法の改正により、幼保連携型認定子ども園では幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を持つ保育教諭が配置され、教育と保育の両面に視野を持つことが求められています。

本コースでは、保育士資格と幼稚園教諭一種免許の取得を必修としながら小学校・特別支援科目群の学習を行うことで就学後の教育を見通して、その土台となる乳幼児保育・教育を充実させる力を養います。さらに、高知の保育や親子関係の支援（ペアレンティング）等の授業を通して、地域の子どもをとりまく現状について学びます。充実したカリキュラムのもと、理論と実践を往還させながら高い保育・教育研究能力を身につけることを学生に期待しています。

▶教育科学コース

多様で複雑な教育課題を読み解きよりよい未来を切り開く力

本コースでは、小学校や中学校教員となるために必要な教員免許取得の他に、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。コースの学習は、教育を教室や学校に限定せず広い視野で考えていくことが特徴です。グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、現代の教育課題は多様で複雑になってきています。社会全体として見たとき、学校・学級を集団やシステムとして捉えたとき、子どもや教師といった個人に焦点を当てたとき、あるいは「教育」そのものをじっくり考えたときに何が見えてくるでしょうか。

様々な専門性を有する教育学・心理学の教員の指導のもとで、教育を科学することを通して、教育課題を深く読み解き粘り強く思考・試行する力を身につけることを学生に期待しています。

▶教科教育コース

教科内容の専門性と教科指導の実践力を培い、「確かな学力」を育む

学習指導要領の中で「生きる力」として上げられたのは知・徳・体の３つの要素です。その中でも知に当たる「確かな学力」とは「基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力」と定義されています。確かに学校で長時間過ごす児童生徒にとって、わからない授業ほど苦痛なものはないでしょう。また、様々な問題を抱える社会の中で、力強く成長していくことのできる力を子どもたちにはぐくむことも重要となっています。学校で辛い時間を過ごす子どもが一人もいないように、子どもたちが豊かに成長して次世代の社会を創っていくための力を獲得できるように、教科内容の専門性と教科指導の実践力の両方を備えたすぐれた教員が求められています。

教科の各コースでは、教科の内容・方法を深く掘り下げ、各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築および学習指導法などについての

▶ 教育学部で身につける教員としての力量形成のステップ

基礎 → 応用実践

1年生	2年生	3年生	4年生
教職に対する興味や関心を向上させるとともに、子ども理解と学校理解の基礎を形成する時期	子どもへの理解を進化させるとともに、教員としての基礎的な知識・力を身につける時期	引き続き教員になるための力量を向上させるとともに、実習を通し実践的な力を身につける時期	これまで学んできた理論的な力と実践的な力を統合し、教師になるための最終的な力を身につける時期
教科基礎演習	初等教科指導法	中等教科指導法	専門演習・卒業論文
共通専門科目（教職）		教材開発演習	教職実践演習
フレンドシップ事業	介護等体験 支援実習 観察実習	教育実習 附属小学校 附属中学校	教育実習 附属幼稚園 附属特別支援学校 応用実習

4年間一貫した実習系授業

国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／技術教育／家庭科教育／音楽教育／美術教育／保健体育教育の各コース

専門的な理論と実践を学び、高度な能力と豊かな知識を身につけ、教科指導にすぐれた実践力を持った学校教員の育成を目指します。さらに、発達段階に応じた教科の指導法や教育内容、あるいは、カリキュラムについて明確な課題意識を持って探求し、現代の子どもたちの課題に応じた新しい教科学習の指導を創造していくことのできる、学び続ける教員の養成を目指しています。

▶科学技術教育コース

知的好奇心と探求心を高め
科学的思考・技術に結実させる力を育む

生活の中で気づく「なぜ？」に対して答えを見つけること、また、自分の手で何かを作り上げることとは人間の知的好奇心を満足させる楽しい活動です。幼い頃、遊びの中で小さな発見や発明などを楽しんだ経験はありませんか。未来を担う子どもたちの科学技術力を育成するためには、科学技術の面白さや魅力を引き出し探求心を高め、それらを科学的な思考や技術へ発展させていくことができる専門性を有した教員が必要です。
本コースでは、理科と技術科の両教科を融合した教科内容を充実・強化することにより、理科および技術科を担当できる高い専門性と知識を有する教員を育てます。また、学校教育にとどまらず、知識と専門性を活かして地域の中で理科および技術科教育を積極的に推進できるリーダー的な役割を担える人材を育てます。

▶特別支援教育コース

子どもの教育的ニーズに応じた適切な
指導および必要な支援ができる力を育む

近年、盲・聾・養護学校が特別支援学校に移行し、また通常学級においても個別の支援を行うしくみが整えられています。幅広い教育の現場で、心身の障害や学習困難から生じる特別な教育的ニーズのある児童生徒に対して、その障害特性に応じた適切な教育を行える教員が求められています。
本コースでは、これまでの特殊教育といわれる分野、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する方法や視覚障害や聴覚障害、情緒障害、言語障害、発達障害について学びます。また、児童生徒の学習上又は生活上の困難を分析するための理論や児童生徒に応じた適切な指導法も学びます。こうした知識や専門性は、通常学級を受け持つ教員にも必要とされています。コースでの学習・研究を通して、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力を身につけることを学生に期待します。

Voice! 内定者の声

「学年の仲がよい年ほど教員採用率が高い」とは、ある教授の言葉。私たちも声を掛け合って勉強しました!

小林 渚（高知県 私立高知学芸高校出身）

高知県公立学校教員（小学校）採用　平成26年度卒業

私は、地元・高知で先生になるという夢を叶えるため高知大学に進学しました。当初は幼稚園の先生に憧れていましたが、3年生の教育実習でその思いは一転。小学校の教員を目指すようになりました。そこで子どもたちに「先生」と呼んでもらえる喜びと責任感、そして理想の教師像を見つけることができたからです。

転機となった教育実習では、失敗も経験しました。低学年の国語の研究授業で漢字を教えていた時のこと。一人の児童が急に身体をクネクネさせたので、私は即座に姿勢を注意しました。けれど、後ろで見ていた実習仲間から授業後、『あの子はね、目という漢字を手や身体で表現したんだと思うよ』と教えられました。授業を行うことに精一杯で、そういう子どもならではの表現に気づく余裕がなかった自分をとても反省し、翌日その子に「気づけんかってごめんね」と謝りました。子どもの気持ち、豊かな感性に寄り添うことの大切さを学ばせてもらった貴重な経験でした。

教員採用試験には、学内の様々なサポートをフル活用して準備し臨みました。特に就職室の教職向けの講座は全て参加。面接練習や模擬授業練習などが無料で受講でき、とてもありがたかったですね。

4月からは、念願の小学校教員としての生活がスタートします。子どもの立場に立ち、同じ目線で考えたり、悩んだり、喜んだりできる教員になれるよう、がんばりたいと思っています。

附属小学校では、自分が授業するだけでなく仲間の授業も見て互いに学び合いました。

取得できる資格等

小学校教諭一種免許状／中学校教諭一種免許状（国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語）／高等学校教諭一種免許状（国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・書道・保健体育・家庭・英語）／特別支援学校教諭一種免許状／幼稚園教諭一種免許状／保育士／学芸員

「◎」は必修　「○」は選択必修　「●」は取得可能（卒業要件を超えて単位を修得することにより、複数の免許状が取得可能です）

	幼稚園	保育士	小学校	中学校										高等学校											特別支援
学校教育教員養成課程				国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	英語	国語	地理歴史	公民	数学	理科	音楽	美術	書道	保健体育	家庭	英語	
幼児教育コース	◎	◎	●																						●
教育科学コース	●		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体育※1・技術・家庭科教育コース	●		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
科学技術教育コース				●	●	●	◎	●	●	●	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
特別支援教育コース※2	●		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎

- 学校教育教員養成課程のコース分けは2年次1学期です。
- 学校教育教員養成課程では各コースごとに取得すべき免許状について次のとおり決められています。
  - 幼児教育コース ……… 幼稚園教諭一種免許状および保育士資格
  - 教育科学コース ……… 小学校教諭一種免許状および中学校教諭二種免許状
  - 国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体育・技術・家庭科教育コース … 小学校教諭一種免許状および中学校教諭二種免許状
  - 科学技術教育コース … 中学校教諭一種免許状（理科または技術）および中学校教諭二種免許状（技術または理科）
  - 特別支援教育コース … 小学校教諭一種免許状または中学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状

※1 保健体育教育コースの推薦Ⅰ入学者は、中学校教諭一種免許状および小学校教諭二種免許状が必修です。

※2 特別支援教育コースで、中学校教諭一種免許状および特別支援学校教諭一種免許状取得者は高等学校教諭一種免許状が取得可能です。

+α 正課外の活動も、貴重な省察の場 ～「科学の祭典」～

教育学部

新しい物事との出会いや成長のきっかけは、大学の授業に限らずいろいろなところに転がっています。特に教育学部では、教員と学生が一緒になって様々な活動やボランティアに積極的に取り組み、地域や子どもたちと育ち合っています。

子どもと一緒に楽しみながら接し方のヒントが見つかる

中釜 理恵　教育学部4年（徳島県立城東高校出身）

手に持っているのがストロートロンボーン

「青少年のための科学の祭典」高知大会は、地域の子どもたちに科学の楽しさを体感してもらうイベントです。私は、ストロー2本を組み合わせて作る"ストロートロンボーン"を子どもたちと一緒に作りました。参加者は主に小学生ですが、1年生と6年生とではできることに大きな差があります。下級生には、うまく音が出るようにフォローして、できたらほめてあげる、上級生には、音程をつけるにはどうすればよいかというさらに上の目標を与えてやる気を引き出す、というようにどうやったらみんなが楽しめるかということを考えました。先輩の中には、子どもたちの注意を引くワザを持っている人もいて勉強になりました。これから教育実習が始まりますが、生徒への接し方のヒントをもらえたので、この経験を活かして取り組みたいです。

「科学の祭典」の様子

■卒業後の進路　学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。（企業名は五十音順です）

茨城県公立学校教員（中学校）、東京都公立学校教員（小学校）、京都府公立学校教員（支援学校）、京都市公立学校教員（中学校）、大阪府公立学校教員（中学校）、兵庫県公立学校教員（小学校、中学校）、兵庫県私立学校教員（高校）、神戸市公立学校教員（中学校、高校）、和歌山県公立学校教員（高校）、鳥取県公立学校教員（中学校）、島根県公立学校教員（中学校）、岡山県公立学校教員（小学校、中学校、高校、支援学校）、広島県公立学校教員（小学校、中学校）、徳島県公立学校教員（保育園、幼稚園、小学校、中学校）、香川県公立学校教員（小学校、中学校）、愛媛県公立学校教員（小学校）、高知県公立学校（事務）、高知県公立学校教員（小学校、高校、特別支援学校）、高知県私立学校教員（幼稚園、中学校、高校）、高知大学附属学校教員（特別支援）、福岡県公立学校教員（小学校、中学校）、福岡市公立学校教員（小学校）、明石被服興業、阿波銀行、RKCプロダクション、イオンディライト、イズミ、伊予銀行、インターネットウェア、愛媛大学（事務）、ne（neu.cafe）、NTT西日本、鷗州コーポレーション、岡三証券、香川銀行、神姫バス、グッドラックカンパニー（高知）、高知信用金庫、高知電子計算センター、山陰合同銀行、四国スバル、四国銀行、瀬戸内スイミングスクール、JA岡山西、JTB中国四国、スタジオアリス、セントラルスポーツ、中国銀行、東予スズキ販売、ニッコウトラベル、日本生命保険、日本郵便、阪南福祉事業会、広島信用金庫、モバイルフィット、ヤマハ音楽教室、龍馬学園、高知県庁、倉敷市役所、香美市役所、八幡浜市役所、神戸市消防局、松江市消防局、岡山市消防局、高知県警（事務）

▶大学院進学先

高知大学大学院、京都教育大学大学院、大阪大学大学院、大阪教育大学大学院、広島大学大学院、鳴門教育大学大学院、熊本大学大学院、尾道市立大学大学院

平成28年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。
「○」は選択必須科目（その教科は必須で教科内に選択科目がある）を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。
「◇」は他教科との選択科目を表し、科目数欄に「※」を付して教科内で選択可能となる最大科目数を表示。

一般入試、AO（アドミッションズ・オフィス）入試

課程	学科名等	区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																			個別学力検査等	
				国語		地理歴史・公民											数学							理科									外国語							
			教科・科目数	国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数I	数I・A	数II	数II・B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数	教科等	科目名等〔　〕は受験の選択・必須や必要科目数など
学校教育教員養成課程	幼児教育コース 教育科学コース 教科教育コース 特別支援教育コース	前期（58）	5教科7科目又は5教科8科目又は6教科7科目又は6教科8科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1〜2	○	○	○	○	○	○	1〜2	○2				○1〜2				1〜3	○	○	○	○	○	1	数 理 外 その他	<数学>数Ⅱ・数B <理科>物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学から1科目 <外国語>英（英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ） <その他>小論文　〔1科目を選択必須〕
学校教育教員養成課程	音楽教育コース 美術教育コース 保健体育教育コース	前期（10）	5教科7科目又は5教科8科目又は6教科7科目又は6教科8科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1〜2	○	○	○	○	○	○	1〜2	○2				○1〜2				1〜3	○	○	○	○	○	1	その他	実技　〔必須〕
学校教育教員養成課程	教育科学コース 教科教育コース 特別支援教育コース	後期（5）	5教科7科目又は5教科8科目又は6教科7科目又は6教科8科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1〜2	○	○	○	○	○	○	1〜2	○2				○1〜2				1〜3	○	○	○	○	○	1	その他	面接　〔必須〕
学校教育教員養成課程	科学技術教育コース	AO入試Ⅱ（8）	3教科5科目又は3教科6科目														○1		○1				2	○2				○1〜2				2〜3	●					1	その他	口頭試問を含む面接〔必須〕

［一般入試 備考］

(1) ［大学入試センター試験の利用教科・科目名］欄について（利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。）
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科（基礎を付していない科目）」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。（個別学力検査等を受験することもできない。）「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目（ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』）を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、『工業数理基礎』については、旧課程履修者についてのみ、選択解答することができる。
(2) ［個別学力検査等］欄について：出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試　〔大学入試センター試験の利用教科・科目名〕欄については、一般入試「備考」を参照のこと。

課程	学科名等	区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																			個別学力検査等	
				国語		地理歴史・公民											数学							理科									外国語							
			教科・科目数	国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数I	数I・A	数II	数II・B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数	教科等	科目名等〔　〕は受験の選択・必須や必要科目数など
学校教育教員養成課程	幼児教育コース 教育科学コース 教科教育コース	推薦入試Ⅱ（25）	5教科7科目又は5教科8科目又は6教科7科目又は6教科8科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1〜2	○	○	○	○	○	○	1〜2	○2				○1〜2				1〜3	○	○	○	○	○	1	その他	小論文、面接　〔必須〕
学校教育教員養成課程	教育科学コース 教科教育コース 特別支援教育コース	推薦入試Ⅰ（12）	大学入試センター試験は課さない																																			その他	総合問題、面接　〔必須〕
学校教育教員養成課程	音楽教育コース 美術教育コース 保健体育教育コース	推薦入試Ⅰ（12）	大学入試センター試験は課さない																																			その他	総合問題、面接、実技〔必須〕

壮大なスケールの世界を解き明かす

理 学 部

Faculty of Science

学科・コース

理学科
- 数学コース
- 物理科学コース
- 化学コース
- 生物科学コース
- 地球科学コース

応用理学科
- 情報科学コース
- 応用化学コース
- 海洋生命・分子工学コース
- 災害科学コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
▶詳しくは90ページ

理 学 部

アドミッションポリシー

理学部（理学科および応用理学科）は数学的思考力・英語力・情報処理能力を土台にして、情報・材料・生命・環境・海洋・資源等の広範な分野で専門教育を実施し、地域や国際社会に通用する専門職業人を養成します。理学科では、自然現象や生命活動の探求を通して知的文化の創造に寄与し、バランスの取れた自然観に基づいて、適切な課題設定と課題解決ができる理学士を養成します。応用理学科では、応用的な知的活動を通して社会に寄与し、国際的視野・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた、応用力に秀でた理学士の養成を目指しています。理学部は一括入試で学生選抜を行いますが、以下に理学部の教育コースを紹介し、各学科の求める学生像を記します。

理学科には数学、物理科学、化学、生物科学、地球科学の5コースがあり、それぞれ関係する教科への興味を持って理学に取り組み、教員などの基礎的知識を活かせる職種、あるいはそれぞれの応用分野への就職を展望するような意欲のある学生を求めます。

応用理学科には情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の4コースがあり、それぞれの基礎となる教科に興味を持つとともに、社会や資源、自然現象に広く関心を持ち、実際に手や体を動かして応用的課題に取り組むことができる意欲ある学生を求めます。

▶ 理学部ホームページ　http://science.cc.kochi-u.ac.jp/

先輩にきく

高知でしかできない学びがある!

吉村 洸太朗 大学院総合人間自然科学研究科(理学専攻)1年(福井県立羽水高校出身)

僕が高知大学に来たのは、気象の研究がしたかったから。小学生の頃、福井豪雨で地元の町が大きな被害を受けて以来、ずっと気象現象やそれが引き起こす災害に興味を持っていました。
高知大学は、災害やその発生過程を学ぶ上でとても恵まれた環境です。気象をはじめ地震や地質など各分野で活躍している先生から教えてもらえるし、ここにしかない自然のフィールドや研究設備もあります。室戸ジオパーク、横浪メランジュといった有名な地質学の現場で行う1、2年生の集中講義や、「防災インストラクター」という高知大学独自の資格を取得できるプログラムはその環境を最大限に活かしたもの。僕も認定のために必須な講義や学外講義を受講し、その内容に刺激を受けました。
僕は現在、大学所有の気象レーダーを使った研究を行っています。学部の卒論では、過去25年間のアメダスの記録から高知県に1時間に50ミリ以上の雨をもたらした低気圧についてその経路などを検証し、大学院に進学した今は、新たに「雷」の研究をスタートさせています。また、課外活動では「防災すけっと隊」という学生団体に所属し、地域の小・中学校に防災の出前授業なども行いました。学問的なことは授業や研究から、実践的なことは防災すけっと隊からと、様々な角度から防災を学ぶことができたのも高知大学だからこそ。将来はここで学んだ専門性を活かせる職業に就き、かつ地域の一員として防災を担っていきたいと思っています。

人工的な竜巻実験は、「科学の祭典」で子どもにも人気。
この実験はオープンキャンパスでも行う予定です。

教員にきく

論理的に考え、伝える力を養う

米村 俊昭 応用理学科教授

理学が農学や医学など他の理系の学部と違っているのは、純粋に学問の追究を目的としている点です。自分の興味を主体に行動し、新しいものを創り出す、新しい考え方を提案することができるのは、理学ならではのおもしろさ。そしてその学問の追究を通じて「論理的思考力」——物事を論理的に考え、その考えを相手にわかりやすく伝え、相手を納得させ、協調していく力を養うのが、我々理学部の人材育成の目的であり、社会からの要請であると言えます。
高知大学には、数学・物理・化学をベースにそれを実現する多彩な学びの環境があります。山・川・海をはじめ、室戸ジオパークや南海トラフなど生物系、地学系にとって恵まれた自然のフィールド。さらに、水熱化学実験所や地震観測所など附属施設での先端研究、企業との共同研究も盛んです。また数学、英語、情報を必修とする独自カリキュラムも、皆さんの能力を大いに高めてくれることでしょう。高知大学で、皆さんをお待ちしています!

カリキュラム例

1年生では様々な分野を幅広く学び、2年生で主専攻を、3年生で副専攻を選択します。希望のコースに進むことができるのが理学部の特徴。4年生で研究室に配属されます。

理学科	応用理学科
■数学コース 微分積分学概論、線形代数学概論、解析学、幾何学、代数学、統計数学 ■物理科学コース 力学、電磁気学、熱力学、物理化学、統計力学、量子力学 ■化学コース 有機化学、無機化学、分析化学、物理化学 ■生物科学コース 動物生理学、細胞生物学、植物分類学、動物分類学、生態学 ■地球科学コース 地球史環境科学、造岩鉱物学、資源地学、海洋地質学、古生物学	■情報科学コース 計算機システム学、プログラム言語論、オペレーティングシステム論、情報ネットワーク論、人工知能工学 ■応用化学コース 有機化学、無機化学、分析化学、機能材料化学、有機材料化学 ■海洋生命・分子工学コース 生化学、発生生物学、有機化学、分子生物学、進化生物工学 ■災害科学コース 地球惑星科学、災害科学、大気科学、地球観測学、連続体力学、地震地質学

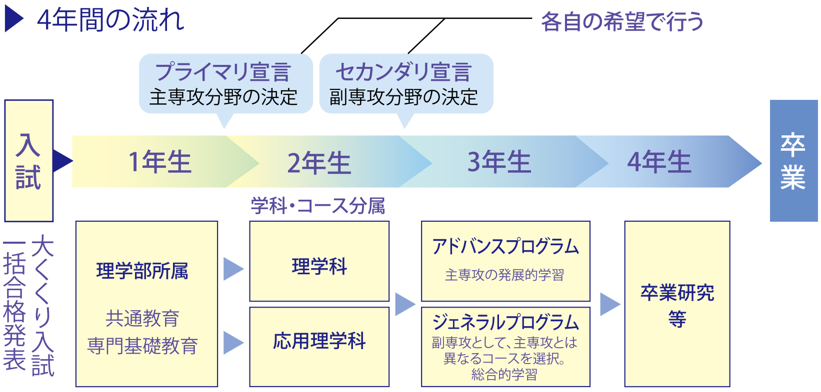
理 学 部

学びの特色

1年生の終わりに9コースの中から所属コースを決めるプライマリ宣言を行います。コースに定員はないため、希望する分野へ確実に進めます。

新入生はまず理学部共通授業を履修します。1年生の終わりには9コースの中から所属コース（主専攻）を決めるプライマリ宣言を行い、さらに2年生の終わりに副専攻を決めるセカンダリ宣言を行います。副専攻には主専攻の専門性をさらに高めるアドバンスプログラムと、主専攻以外の授業も履修し幅広い知識を育むジェネラルプログラムが準備されています。

▶ 4年間の流れ



理 学 科　Department of Natural Science

知的文化の創造と人類進歩を目指して

教育理念

理学科は、自然現象や生命活動の探求という純粋理学的な営みについて、数学的思考を基礎にとらえ、物理・化学・生物科学・地球科学の諸分野の英知を結集してその教育と研究に挑みます。
知的文化の創造と人類の調和ある進歩に供することを理念として掲げ、そのことを通して正しい自然観と生命観を備え、そして、課題設定および課題解決ができる職業人の養成を目指します。

コース紹介

▶ 数学コース

豊かな自然に恵まれた高知で深く親しむ数学の世界

数学的・論理的であることはすべての科学に携わる人々に必然的に求められます。しかし、数学を的確に活用するためには、正確な数学的知識の習得とそれに基づく訓練が必要です。数学コースでは、それらを可能にする環境を提供します。高校で学んだ基礎の上に、解析学、幾何学、代数学、統計数学を学びます。

▶ 物理科学コース

素粒子から宇宙まで、物質の謎を探究する

素粒子から原子核、原子、分子およびその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを実験・理論の両面から学びます。古典物理学、量子力学、熱・統計力学、物理化学などの基礎知識を習得し、固体の磁性・超伝導・イオン伝導、電磁現象、核物質、クォーク物質などの研究に応用する力を養います。

▶ 化学コース

元素の不思議に迫り、化学の本質を究める!

無機・有機化合物の物理化学的性質、反応メカニズム、合成法、分析手法等について、原子・分子の基本要素から複雑な先端化学物質に至るまでを系統的に学習し、化学物質の本質的理解と応用価値について専門性を高め、我が国の科学技術発展に貢献できる研究者・技術者の育成を目指します。

▶ 生物科学コース

山・川・海の生き物

原生動物や藻類の細胞生物学と分子生理学、コケ植物、地衣類および魚類を対象とした分類学と形態学、河川、草原、里山などの植物生態学、堆積花粉の分析による古生態学、生命現象を数学的に捉える理論生物学、有用藻類を対象とした海洋植物学、甲殻類やウミガメの動物生態学など幅広い生物学の分野をカバーする教育と研究を行います。

▶ 地球科学コース

高知から南極、深海底まで地球科学の行手に限界はない

地球科学コースでは、地球史の視点から地球を理解することを目指して、山や海岸や海底に見られる様々な岩石・鉱物・化石を観察・分析することによって、過去の地質時代におこった大地の変動や気候変動、さらに生物の絶滅や進化を明らかにします。また鉱物資源に関わる教育・研究も行っています。

＋α プログラミングの基礎から応用までを学ぶ！ ── 計算機基礎実験

理学部 応用理学科

山岸 由依 理学部応用理学科3年　森 亜優美 理学部応用理学科3年

imac60台がずらっと並ぶのは理学部情報科学棟にある計算機室。この部屋で行われているのが計算機基礎実験というプログラミングを学ぶ授業です。

山岸：プログラミングというと一人でパソコン画面に向かって黙々と作業をするイメージかもしれませんが、授業では先生の解説があった後、友達と相談し合ったり、TA（ティーチング・アシスタント）の大学院生にアドバイスをもらったりしながら理解を深めていきます。計算機室は、授業時間以外にも使用できるので、課題を仕上げるためによく訪れます。プログラム言語や情報、数学に関する本も置いてあるので、それ目当てで行く場合もあります。

森：高校ではプログラムを組んだことがなかったので、最初はプログラム言語や内容を理解するのに苦労しました。でも、課題に取り組むうちに新しいプログラムを組む楽しさや、すでにあるプログラムを、より簡潔に分かりやすく組めたときの達成感を感じるようになりました。プログラミングを深く学べるのは情報科学コースらしいなと思います。

写真手前が山岸さん、奥が森さん

応用理学科 Department of Applied Science

グローバルな視点と豊かな発想での挑戦

教育理念

本学科は、情報、材料化学、生命、防災にそれぞれ対応した、他に類を見ないユニークな4コースで構成されています。各教育コースは、従来の学問分野にとらわれない応用面を強調した新しい融合型の教育と研究を行うばかりではなく、コース間で相互に連携を保ちつつ有機的な教育・研究を実践することも目標としています。これらにより、21世紀に活躍しうるグローバルな視点・豊かな創造力・積極的な行動力を身につけた人材の育成を目指します。

コース紹介

▶ 情報科学コース

確かな理論と自由な感性が未来の情報技術を創造する

コンピュータで何ができ、どう動き、どう作るかについてコンピュータサイエンスの基礎と応用を学びます。情報科学の成果は多くの分野で活用され、新しい学問の創出に貢献しています。コンピュータの理論から新たな分野への応用まで高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。

▶ 応用化学コース

分子の可能性を知り、化学の力で未来を開く!

分子レベルで物質の構造・性質および反応性等を明らかにし、食料、衣料、医薬品から家電製品に至る広い範囲にわたって、人々の生活に深く関わる化学物質を系統的に理解するとともに、生命・資源・地球環境問題に配慮した新しい物質の創造や機能性材料の開発について学習し、次代を担う幅広い専門知識や高度な技術力に加え、課題解決能力や応用展開能力を有する研究者・技術者の育成を目指します。

▶ 海洋生命・分子工学コース

分子のはたらきを解明し生命の謎を解く

海洋生命・分子工学コースは、理学部の生命・海洋・物質の分野で中心的な役割を果たし、個性豊かな専門職業人の養成を目指します。本コースは分子生物学、生化学、天然物化学などの分野が含まれ、21世紀に活躍する人材の育成を目指します。

▶ 災害科学コース

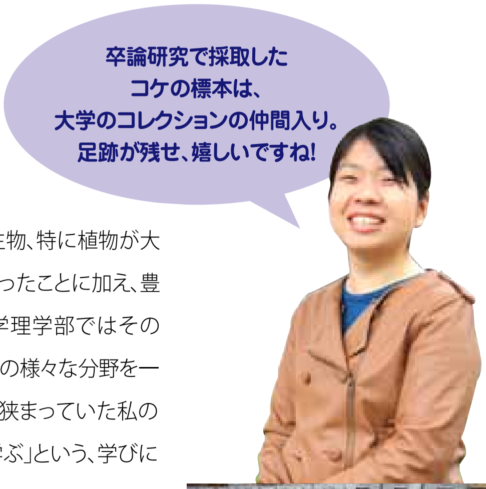
災害をみる目を持とう

災害科学コースでは、地盤災害・気象災害・地震災害などの自然災害の発生メカニズムを理解するための教育を行うとともに、野外調査や実験を通じて災害をもたらす自然現象を解明するための調査手法を紹介します。これにより、防災・減災に関連する研究者や技術者、災害に対処できる教育者や防災啓発の主体となる人材の育成を目指します。

Voice! 内定者の声

長田 早矢（東京都立八王子東高校出身）

高知県私立学校教員（中学・高校）採用　平成26年度卒業



中学校の理科教員をしていた母の影響で、小さいころから生物、特に植物が大好きだった私。高知大学に進学したのは、両親の出身県であったことに加え、豊かな自然に魅せられたことが大きな理由でした。高知大学理学部ではそのフィールドの良さを最大限に活用して、1～2年生の時に理学の様々な分野を一通り体験するカリキュラムが組まれています。それは受験で狭まっていた私の視野を広げてくれただけでなく、「自分の目で見て体感して学ぶ」という、学びに対する姿勢の土台ともなりました。

私が専門として選んだのは、植物分類学です。そこでコケに関する研究を行う一方で、4年生の春には教育実習で母校に戻りました。授業でタマネギの染色体を顕微鏡で見る実験をしたところ、生徒たちがとても生き生きと反応してくれて、あらためて理科教員になりたいと強く思いました。私の理想は「実物を見て興味を引き出す授業ができる先生」。子どもたちの理科への興味の最初の入口となれるよう、春からは着任校でがんばりたいと思います。

最後に、これから理学を学ぶ皆さんへ。大学での学びは、削ろうと思えばどこまでも削れるし、やろうと思えばとことんやることが可能です。時間の使い方は自分次第。4年間、自分を見失わないようしっかりと目標を持って、夢に向かっていってください。

約10万点の標本は日本有数のコレクション。学生は閲覧自由です。

■取得できる資格等

■数学・情報系：中学校教諭一種免許状（数学）／高等学校教諭一種免許状（数学）／高等学校教諭一種免許状（情報）／情報処理技術者［要試験］

■物理系：中学校教諭一種免許状（理科）／高等学校教諭一種免許状（理科）

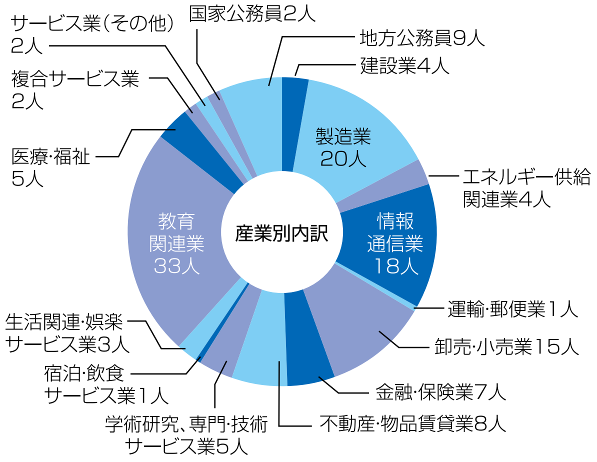
■化学系：毒物劇物取扱責任者［資格審査有］／危険物取扱者（甲種または乙種）［要試験］／環境計量士［要試験］／有機溶剤作業主任者［要試験］／特定化学物質取扱責任者［要試験］／中学校教諭一種免許状（理科）／高等学校教諭一種免許状（理科）

■生物系：学芸員／生物分類技能検定［要試験］／中学校教諭一種免許状（理科）／高等学校教諭一種免許状（理科）

■海洋生命・分子工学系：毒物劇物取扱責任者［資格審査有］／危険物取扱者（甲種または乙種）［要試験］／中級バイオ技術者［要試験］／上級バイオ技術者［要試験］／中学校教諭一種免許状（理科）／高等学校教諭一種免許状（理科）

■地学・防災科学系：学芸員／測量士補［要試験］／技術士補［要試験］／防災士［要試験］／中学校教諭一種免許状（理科）／高等学校教諭一種免許状（理科）

■就職データ 2014年3月卒業生



平成28年度
入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。
「○」は選択必須科目（その教科は必須で教科内に選択科目がある）を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

一般入試

学科名等		学力検査等の区分・日程（募集人員）	教科・科目数	国語：国語	国語：科目数	地理歴史・公民：世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数学：数I	数I・A	数II	数II・B	簿・会	情報	科目数	理科：物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	外国語：英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数	個別学力検査等：教科等	科目名等（〔　〕は受験の選択・必須や必要科目数など）
理学科・応用理学科	数学受験	前期(36)	5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1		●		●			2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	数	<数学>数I・数II・数III・数A・数B〔必須〕
理学科・応用理学科	理科受験	前期(100)	5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○1		○1				2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	理	<理科>物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学から1科目〔1科目を選択必須〕
理学科・応用理学科	情報受験	前期(9)	5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○1		○1				2					○	○	○	○	2	○	○	○	○	○	1	情報	<情報>情報の科学　[必須]
理学科・応用理学科	後期(26)		4教科5科目	●	1												○1		○1				2					○	○	○	○	1	○	○	○	○	○	1	—	個別学力検査等は課さない

■卒業後の進路　学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

数学コース

鹿児島くみあい食品、伊予銀行、愛媛信用金庫、NTT西日本、関西エックス線、クース・コーポレーション、高知銀行、コンピューターシステム(愛媛)、後藤会計事務所(徳島)、Konfidence(北海道)、コア(関西カンパニー)、サニーマート、秀英予備校、SPK、TEP(愛知)、トヨタホーム岡山、日本サンガリアベバレッジカンパニー、日新シール工業、ハヤシ商事(高知)、ビーシーイングス(広島)、ビッグ・エス(ケーズデンキグループ)、檜垣造船(愛媛)、フォトストーリー・ハヤシ、富士通マーケティング、高知県庁、新居浜市役所、愛媛県警、岡山市消防局、愛知県公立学校教員、大阪府公立学校教員、兵庫県私立学校教員、神戸市公立学校教員、奈良県公立学校教員、高知県公立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、岡山大学大学院、琉球大学大学院

物理科学コース

アイセイ(大阪)、インテリジェンスオフィス(京都)、エルテック、関西バッテリー、グリフィン、コベルコ建機、ソフテック、東海テクノアーム、日本電磁測器、富士通エフサス、マリンテック、ユー・エス・イー、ワールドコーポレーション、高知市役所、徳島県警、大阪府公立学校教員、高知県公立学校教員、高知県私立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、神戸大学大学院

化学、応用化学コース

アルビオン、アルファ工業、伊藤ハム、NSC(大阪)、大倉工業、オムロン、沖縄コカ・コーラボトリング、技研製作所、京都銀行、寿製菓(鳥取)、サンヨー食品、四国銀行、篠原化学薬品、昭和樹脂工業(長野)、新光化成(愛知)、JA香川県、全労済、但馬信用金庫、WDB、中央コンピューター、徳島銀行、東洋技研、東洋合成工業、ハイテック、ヒワサキ(高知)、VSN、伏見製薬所、北興化学工業、母恵夢本舗、御国色素(兵庫)、ユシロ化学工業、ルミカ(福岡)、高知県庁、阿久根市役所、北海道公立学校教員、京都府公立学校教員、兵庫県公立学校教員、高知県公立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、北陸先端科学技術大学院、名古屋大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、大阪大学大学院、奈良先端科学技術大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、九州大学大学院

生物科学コース

あいおいニッセイ同和損害、味のちぬや、アイピーシステム(岡山)、安心計画(福岡)、イオンリテール、ACN中国、NTTマーケティングアクト、帯広スバル自動車、北四国グラビア印刷、共立製薬、クラブン(岡山)、高知前川種苗、三光電業(広島)、山陽薬品、シー・アイー・シー、　静岡県立病院機構、新日本科学、新タック化成、大王製紙、大宣、チャーム、東洋産業、富田製薬、日東メディック(富山)、日本銀行、日本コンピューターダイナミクス、日本データスキル、日本プロセス、日本郵便、柏葉食健(福岡)、VSN、諸長(新潟)、ヤマダ(香川)、ヤマト運輸、高知県庁、京丹後市役所、さぬき市役所、呉市消防局、川崎市公立学校教員、和歌山県公立学校教員、岡山県公立学校教員、高知県私立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、北海道大学大学院、横浜国立大学大学院、神戸大学大学院、岡山大学大学院、広島大学大学院、琉球大学大学院、大阪市立大学大学院

地球科学コース

アルファイン、環境科学研究所(愛知)、合田工務店、高知鏡川病院、三社電機製作所、住鉱資源開発、生和アメニティ、地圏総合コンサルタント、東建ジオテック、東宝芸能、ニチビ、日本観光旅行センター、ひまわり乳業、ヤマウチ(大阪)、マリンワーク・ジャパン、ワールドインテックR&D事業部、兵庫県庁、津島市役所(愛知)

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、茨城大学大学院

情報科学コース

エアー(大阪)、エルテック、AVCテクノロジ、NTT西日本、NTTビジネスソリューションズ、SGシステム、高知情報ビジネス専門学校、サイボウズ、佐賀電算センター、篠原化学薬品、スクラップカスタムPCスクラップ(香川)、ソフテック(高知)、デンソーテクノ、トッパン・テクニカル・デザインセンター、日本観光旅行センター、日本プログラムシステム、母島海洋環境開発(東京)、日立システムズ、フォーラムエンジニアリングス、富士通九州ネットワークテクノロジーズ、富士通システムズウエスト、三菱自動車工業、三菱電機インフォメーションシステムズ、三菱電機コントロールソフトウェア、三菱電機マイコン機器ソフトウェア、海上自衛隊、愛知県公立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院

海洋生命・分子工学コース

アウトソーシングテクノロジー、AOKI、あすか製薬、アドバンテック、イートアンド、井上誠耕園(香川)、伊予銀行、エーピーアイ・コーポレーション、日本放送協会(NHK)、岡会計事務所(香川)、岡山木村屋、熊本計算センター、倉敷化工、ケー・エー・シー、構営技術コンサルタント、高知県市町村総合事務組合、高知電子計算センター、再春館製薬所、サンプラザ、センサスヤマモト、翔薬(福岡)、創生、SOLIZE Engineering、中国木材、東海メディカルプロダクツ、日亜化学工業、日本新薬、日本ベーリンガーインゲルハイム、日本メナード化粧品、バロー、久光製薬、北進ゼミナール、ホンダカーズ三重東、丸住製紙、山口茶業、レッドバロン、よんやく(愛媛)、阿南市役所、美波町役場(徳島)、神奈川県公立学校教員、長野県私立学校教員、大阪府公立学校教員、香川県公立学校教員、高知県公立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、東京芸術大学大学院、大阪大学大学院、神戸大学大学院、奈良先端技術大学大学院、広島大学大学院、愛媛大学大学院

災害科学コース

アイ・ケイ・ケイ、アウトソーシングテクノロジー、赤澤屋(岡山)、愛媛銀行、大塚製薬工場、ビッグ・エス(ケーズデンキグループ)、三雄化工、四国銀行、那覇看護専門学校、日能研関西、パスコ、広島信用金庫、ハヤシ商事、眞鍋造機株式会社、マリンワーク・ジャパン、沼津市役所、福山市役所、徳島県警、高知県警、東京消防庁、熊本市消防局、大阪市公立学校教員

▶**大学院進学先**　高知大学大学院、鳴門教育大学大学院、九州大学大学院

[一般入試 備考]

(1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について(利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。)
　利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科(基礎を付していない科目)」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。(個別学力検査等を受験することもできない。)「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目(ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』)を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限る。なお、『工業数理基礎』については、旧課程履修者についてのみ、選択解答することができる。
(2) [個別学力検査等]欄について:出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

学科名等		学力検査等の区分・日程(募集人員)	大学入試センター試験の利用教科・科目名	個別学力検査等	
			科目名等	教科等	科目名等
理学科・応用理学科	数学受験	推薦入試Ⅰ(13)	大学入試センター試験は課さない	その他	小論文、面接 [必須]
	理科受験	推薦入試Ⅰ(45)	大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試問を含む面接 [必須]
	情報受験	推薦入試Ⅰ(9)	大学入試センター試験は課さない	その他	口頭試問を含む面接 [必須]

[推薦入試 備考] (1) 「数学受験」、「理科受験」、「情報受験」は、入試における選抜方法等の区分であり、入学後の教育コース選択を縛るものではありません。

人間とその病態の中に真理を見出す

医学部

Medical School

学科・コース

医学科

看護学科

アプリをダウンロードして スマホで読み込もう

▶詳しくは90ページ

AR 医学部

高知県の地域医療に貢献する

近年におけるサイエンスとしての医学・医療の飛躍的な進歩は、社会全体にさまざまな衝撃を与え続けており、これに対応するためには、医学・医療に携わる個人が自ら自分自身の倫理体系を構築しなければなりません。その基盤となるのは、長時間を要して培われた、強靭な倫理的能力とバランス感覚に支えられた多面的な考察力及び問題解決能力です。

医学部では、このような能力、医学・医療に対する強い志望動機、ならびに適正を具備した人材を広い領域から発掘し、今世紀における多様な社会的ニーズに応えうる高い倫理観、使命感、ならびに思考の柔軟性を有するとともに、高知県の地域医療に貢献する強い意欲をもつ医療人の育成を目指しています。

アドミッションポリシー

近年におけるサイエンスとしての医療の飛躍的な進展は、国際社会に様々な衝撃を与え続けており、こうした社会情勢における多様な価値観の変動に的確に対処するためには、各医療人が自分自身の「倫理体系」を構築することが求められます。

高知大学医学部では、倫理体系構築の基盤となる資質としての、「強靭な論理的思考能力」「バランス感覚に支えられた多面的な考察力」「共感的能力」および「問題解決能力」を有する人材を求めます。

▶ 医学部ホームページ　http://www.kochi-ms.ac.jp/

先輩にきく

人生に寄り添える医師になりたい

多々良 友香　医学科5年（静岡県 私立静岡雙葉高校出身）

高校生の時、一日医師体験で診療所の往診に同行し、私は地域の暮らしに密着した医療に興味を持ちました。高知大学を選んだのは、数ある大学の中でここが一番、地域医療に力を入れていると感じたからです。

１年生から「家庭医道場」のプログラムに参加。これは学生が過疎地に入って地域医療を体験する高知大学独自の取組で、毎年、様々な学年の医学科・看護学科の学生が集まります。３年生では初めて実行委員として参加し、梼原町という山あいの町で「看取り」をテーマに、住民の方の体験談を聞かせていただいたり、学生グループで討論を行ったりしました。また、終末期の患者と家族と医師を想定したロールプレイを行い、よい医師とはどういうものかをみんなで考え合ったりもしました。家庭医道場を通じて地域を知り、住民の方々の思いに触れ、また地域医療に関わる地元の医師や大学の先生たちの情熱にガツンとやられ（笑）、本当にすばらしい学びを体験させていただきました。

ロールプレイでは、患者役に

家庭医道場で地域の方と交流

将来は、患者さんの人生に寄り添えるような医師になることが夢。そのために、地域医療研究会ARMS（アームズ）というサークル活動や地域医療の学会にも参加して、自分の視野を広げています。これまで私を受入れ学ばせてくださった地域の皆さんに恩返しできるよう、もっともっと自分を高めていきたいと思っています。

教員にきく

人間性豊かな真の医療人を育てる

杉浦 哲朗　医学部長

医療人の使命は、患者さんの病状だけでなくその方の背景をも理解して病める者を治し、ご自宅に帰っていただく、社会復帰していただくことです。いい医療人になるためには、知識や技術だけでなく思いやりやコミュニケーション力といった人間としての総合力が必要不可欠です。

医療の先進化・高度化が進み、医師、看護師、薬剤師、技師など様々な専門職を横断的につなぐチーム医療が重要になる一方で、高齢化社会の到来により在宅医療や予防医療のニーズも高まっています。本学部でも、課題解決を目指すグループ学習法PBL（課題基盤型）・TBL（チーム基盤型）や、先端研究に携わるコースの導入、早期の現場研修や実習時間の拡大などのカリキュラムの改革を行い、社会が求める真の医療人の育成を目指しています。人を助けたい、人の役に立ちたいという強い意志と情熱を持つ学生の皆さん、ぜひ本学部の扉を叩いてください。

カリキュラム例

医学科

6年間を通じて地域医療を学ぶカリキュラムや、PBL／先端医療学の選択コース制を導入しています。

6年一貫の医学教育を目指して高知大学医学部独自のKMSコアカリキュラムを実施している。
カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目（1年）、専門科目Ⅰ[コア準備]（1～4年）、専門科目Ⅱ[コア科目基礎系]（2～4年）、専門科目Ⅲ[コア科目臨床系]（3～4年）、専門科目Ⅳ[臨床実習・統合医学]（5・6年）。
さらに専門科目Ⅱ～Ⅳの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学・医療と社会、C 医学一般、D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療、F 診療の基本、G 臨床実習に分類される。

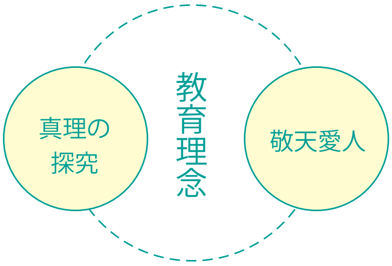
看護学科

4年間を通しての看護専門職としての基礎能力の育成、学生のニーズにあわせた専門科目（保健師、養護教諭、高校看護教諭、実践能力の高い看護師）の選択制を導入しています。

カリキュラムは共通教育科目と専門科目で構成される。共通教育科目は、大学生として身につけるべき基礎知識・技術を学ぶ初年次科目、各学生がある程度自由に選択できる教養科目と専門の基礎知識を学ぶ基礎科目からなる。専門科目は専門共通科目として基礎看護学、臨床看護学および地域看護学から構成され、1年生から履修を開始する。さらに保健師を目指す人は保健師養成科目を3年生から履修し、看護師の実践力育成を目指す人は看護師実践力育成科目を4年生から履修する。なお、養護教諭や高校看護教諭を目指す人はそれに必要な科目を1年生から履修する。

医 学 科　Medical Course

高度な知識・技能を身につけた「心を診る医師」を養成する



教育理念

医学科は、前身である高知医科大学建学の精神「敬天愛人」と「真理の探究」に則り、人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけ、地域と時代の要請に柔軟に応じうる医師を養成します。

求める学生像

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション能力、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

▶ 1年生から6年生までの概要

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
教養科目					advanced OSCE（態度・技能）	医師国家試験
	基礎医学・実習 解剖／病理／生理／薬理／微生物／公衆衛生／生化学／免疫／他					
早期医療体験実習 EME		臨床医学 内科学総論／外科学総論／老年病学／呼吸器病学／消化器病学 内分泌・代謝学／脳神経外科／循環器病学／血液病学／他		診療参加型臨床実習 （クリニカル・クラークシップ）		
				共用試験※ CBT（知識）／OSCE（態度・技能）		

※学生の能力と適性についての一定水準を確保するために実施する全国共通の標準評価試験。この試験に合格後、臨床実習へ進む。

学びの特色

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています（EME初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、診療施設体験学習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など）。また、2～4年生の間はPBLによるグループ学習か先端医療学推進センターでの研究のいずれかを選択します。

地域医療学の充実	先端医療学研究	PBL学習の導入
6年間を通じて実際の地域医療に触れる様々なカリキュラムが用意されています。ヒューマニズム溢れる豊かな医療人を育てます。	先端医療学推進センターを設立。研究・教育・診療を有機的に連動させたリサーチマインドを持った研究者の育成に力を入れています。	自ら学び、問題を解決する能力を身につけるためにPBL（Problem Based Learning）を導入。少人数グループで議論し能力を研きます。

＋α　家庭医道場

医学部
医学科　看護学科

地域の中で、患者さんのことを家族や生活も含めてよく知った上でその人の健康問題に幅広く対応し、長期的に支える医師が家庭医です。その心構えと必要な能力を学ぶため、毎年春と秋の二回、家庭医道場が開かれています。

地域医療を現場で学ぶ、熱い合宿！

道場では中山間地域や離島に出向き、地域の人々や地域医療を実践している医師と交流します。家庭医に必要な技術、コミュニケーション力を養うほか、「人を診る」という医療の本質にも触れられます。医学科・看護学科とも1年生から参加できるので、ぜひ挑戦してください！

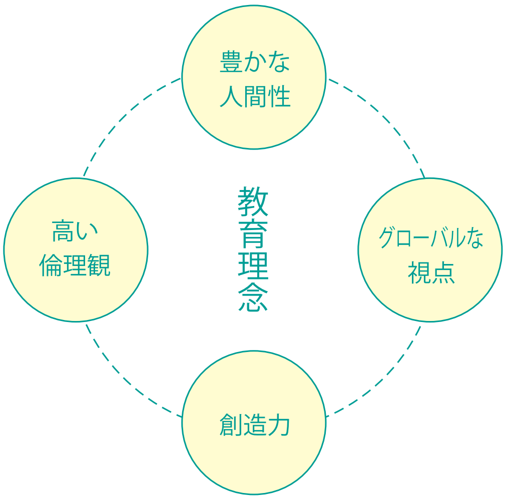
医療者のあり方を考える機会に

中平 眞緒　医学科5年（高知県 私立土佐高校出身）

家庭医道場では、実際に地域に足を運び、地域の方との交流やフィールドワーク等を行います。それぞれの生活に触れ、地域の生の声を聞くという経験は、学生の今だからこそできることであり、これから医療に携わる自分にとって大きな糧になっていると感じています。また、学科・学年関係なく学生同士で語り合えるのも道場の魅力のひとつです。地域医療に興味がある学生にとってはもちろん、そうでない学生にとっても、大学での講義とは違った視点から自分の将来や医療を考えるキッカケになると思います。地域での活動を続け、私たちを育ててくださった地域の方々に恩返しができるよう、成長したいと思います。

看 護 学 科　Nursing Course

次代のニーズに応え、地域保健医療に貢献する看護専門職



教育理念

看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏付けられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活向上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

求める学生像

看護学科では、人間に興味があり、命と生活を支援する「ライフサポーター」を目指す、「人間力」溢れる人材を求めます。看護学科が考える「人間力」は、次のような能力です。

1. 豊かな倫理的感性を持つ
2. 生命の尊厳を理解し、人権を尊重する
3. 問題解決に向かって積極的に取り組む
4. チームワーク達成に尽力できる
5. 基本的生活習慣を身につけ、自己管理できる

1年生
- 看護学の基礎学習：基礎看護学概論／生活援助技術論/他
- 人間力の育成：大学基礎論／生命倫理学／コミュニケーション論/他

▶ **2年生**
- 専門知識の修得：成人・小児・母性・高齢者・精神／在宅看護概論/他
- 専門技術の修得：基礎看護学実習／成人・高齢者看護援助論/他

▶ **コース選択** ▶ **3年生**
- 臨床での実践能力開発：附属病院／地域医療施設での実習
- 専門技術の学習：小児・母性・精神／在宅看護援助論

▶ **4年生**
- 発展学習：統合看護実習／卒業研究
- 看護師実践力育成コース
- 保健師育成コース
- 教職：養護教諭育成コース／高校看護教諭育成コース

▶ **資格・免許**
- 看護師国家試験※1
- 保健師国家試験
- 養教1種※2
- 高看1種※3

※1：看護師国家試験受験資格は、全員が取得できます。

※2・3：4年生では、保健師養成科目、看護師実践能力育成科目、教職科目のどれかを選択。ただし、保健師養成科目・教職科目を履修するためには、3年生までに関連科目の修得が必要。

学びの特色

1年生から、附属病院の外来や病棟で患者さんに接する授業や看護の基礎技術を学ぶなど専門性のある授業を取り入れています。グループで協力して課題に取り組む授業、社会で必要な教養を身につける授業など、人間力を高める授業も充実しています。実習では、附属病院や地域の施設などで、生きた実技を学べます。卒業研究では、探究心や自分で学ぶ姿勢を養います。知識、技術は日々進歩します。自ら未知の課題に取り組むことにより、卒業後も継続して学び続ける力がつきます。4年生では自分の将来に向けて、より専門性を高めるコースが準備されています。

施設との連携体制	専門育成コース
高知大学は県内広域の多数の施設と連携体制にあります。地域看護学実習では、その地域に宿泊することで、人間的な成長も望めます。	保健師育成コース、教諭（高校看護または養護）育成コース、看護師実践力育成コースの中から、目的に応じたコースを選択できます。

＋α　台湾留学

医学部　看護学科

看護学科では、国立台湾大学看護学科と国際交流協定を結び、相互に交換留学生を派遣しています。本学からの留学生は、台湾の学生と共に講義や実習を受けたり、施設見学や学生間交流を持つことにより台湾の看護学教育や文化に触れることができます。

海外留学で国際看護を考える

看護基礎教育カリキュラムの中でも「国際看護」がクローズアップされ、これからの看護職にとって国際的視点は欠かせないものとなりました。「国際看護」はそれぞれの文化や考え方、生活習慣の違いを理解することから始まります。この短期留学での体験は、国際的視点から看護を考える第一歩に役立つはずです。

学びの多い台湾留学

羽鳥 あや乃　看護学科4年（北海道シュタイナー高等学園出身）

英語が好きで、同じ看護を学ぶ海外の学生と話してみたいと思い、参加しました。台湾の学生はじめ、先生方、看護師のみなさんがあたたかく迎えてくれました。台湾では授業や実習の一部に参加させてもらい、先端医療の場である附属病院、地域医療の場である分院、地域の施設等を見学しました。医療教育制度のあり方などを含め、医療を通して文化の違いを感じるとともに、文化施設の見学では台湾について知ることができ、濃密な時間を過ごしました。また、台湾の学生たちと日本と台湾の比較、日本の看護、看護観、実習での体験の共有など様々なことについて話し、自分自身の考えを表現することによって、改めて自分の考えを深め、視野を広げる機会になりました。

Voice! 内定者の声

徳山 帆乃香（高知県立高知丸の内高校）

高知大学医学部附属病院 看護職内定　平成26年度卒業

私の生まれた町は高知県の東端、東洋町甲浦。県内でも特に過疎高齢化が進む地域の一つであり、病院は小さな診療所が1軒と、医療の確保が課題となっている地域です。いずれは訪問看護などを通じて地元の医療にも貢献したいと思っていた私は、地域医療に力を入れている高知大学を学びの場に選びました。

入学当初は、まず医療用語から覚えなければならず勉強は大変でしたが、友達どうし教え合い励まし合いながら乗り越えました。また悩んだ時には先生方がとても親身に話を聞いてくださり、そのサポートにも助けられました。何より大きな学びを得たのは3年生の附属病院での実習です。学生の私たちにできることは少なかったと思うのに「ありがとう」と言ってくださった患者さんたちのために、もっとしっかり勉強しなくてはと看護師への気持ちが高まりました。4年生になって社会に出る自分を考えた時、地域医療に貢献していくためにもまずは高度な医療を提供する環境で働きたいと思い、附属病院を志望。ここでいろいろな経験を重ね、患者さんの思いを読み取れる看護師になって、いずれは地域医療を支える力のひとつになれたら嬉しいですね。

患者さんの立場に立ったケアができるよう、様々な実習を行いました。

■取得できる資格等

医学科

医師国家試験受験資格

看護学科

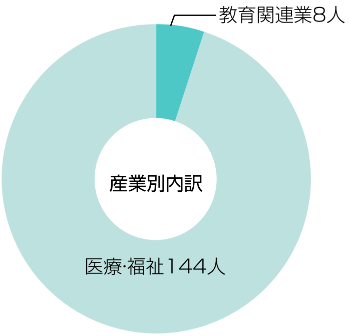
看護師国家試験受験資格

また、所定科目単位の修得により保健師国家試験受験資格（人数制限あり）、または高等学校教諭一種免許状（看護）、または養護教諭一種免許状のいずれか1つの資格を得ることができます。

なお、保健師免許を取得した後は、本人の申請により第一種衛生管理者免許状が取得できます。また、教職課程の定められた科目を修得している場合は、卒業後に本人の申請により養護教諭二種免許状が取得できます。

（卒業後、高知大学大学院「実践助産学課程」に進学・修了すると、助産師国家試験受験資格を得ることができます）

■就職データ 2014年3月卒業生



平成28年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。
「○」は選択必須科目（その教科は必須で教科内に選択科目がある）を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

一般入試、AO（アドミッションズ・オフィス）入試

学科名等	学力検査等の区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																				個別学力検査等	
		教科・科目数	国語		地理歴史・公民											数学							理科									外国語						教科等	科目名等 〔　〕は受験の選択・必須や必要科目数など
			国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数Ⅰ	数Ⅰ・A	数Ⅱ	数Ⅱ・B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数		
医学科	前期（65）	5教科7科目	●	1		○		○		○				○	1		●		●			2					○	○	○		2	●					1	数理 その他	<数学>数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B <理科>物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2科目 <その他>面接〔必須〕
	AO入試Ⅰ（30）	大学入試センター試験は課さない																																				その他	（1次）小論文、総合問題〔必須〕 （2次）態度・習慣領域評価、面接〔必須〕
看護学科	前期（25）	5教科5科目又は5教科6科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1		○	○	○	○	○	1		○2		又は		○1			1～2	○	○	○	○	○	1	その他	面接〔必須〕
	後期（10）	5教科5科目又は5教科6科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1		○	○	○	○	○	1		○2		又は		○1			1～2	○	○	○	○	○	1	その他	面接〔必須〕

■卒業後の進路　学部卒者の過去3年間の主な就職先・進学先です。

医学科

卒業して医師国家試験に合格したのち2年以上の臨床研修修了が義務づけられています。大学病院等の臨床研修プログラムに従い外部の病院も含め各診療科をまわって研修を行います（初期研修）。初期研修修了後はより専門性の高い修練を行いながら医師としての能力を身につけていきます。初期研修から給料が支給されます。

▶卒業者が研修を行っている高知県内の病院

高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、高知赤十字病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、近森病院、細木病院

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外の大学病院（大学名のみ）

自治医科大学、国際医療福祉大学、筑波大学、横浜市立大学、福井大学、東海大学、新潟大学、浜松医科大学、三重大学、滋賀医科大学、京都大学、神戸大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、広島大学、産業医科大学、久留米大学

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外のその他の病院

伊勢崎市民病院、朝霞台中央総合病院（埼玉）、君津中央病院（千葉）、名戸ヶ谷病院（千葉）、聖路加国際病院、東京臨海病院、江東病院（東京）、川崎市立川崎病院、安曇野赤十字病院、慈泉会相澤病院（長野）、長野松代総合病院、岐阜県立多治見病院、羽島市民病院、静岡県立総合病院、中東遠総合医療センター（静岡）、名古屋医療センター、地域医療機能推進機構中京病院（名古屋）、八千代病院（名古屋）、岡崎市民病院、一宮市立市民病院、碧南市民病院、大阪市立総合医療センター、大阪府済生会吹田病院、大阪府立急性期総合医療センター、耳原総合病院（大阪）、ベルランド総合病院（大阪）、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立尼崎病院、公立豊岡病院、国立病院機構岡山医療センター、国立病院機構福山医療センター、香川県立中央病院、愛媛県立中央病院、北九州市立医療センター、千鳥橋病院（福岡）、藤元総合病院（宮崎）、沖縄県立中部病院、浦添総合病院（沖縄）、沖縄医療生活協同組合沖縄協同病院

看護学科

■看護師

▶高知県内の病院

高知大学医学部附属病院、高知赤十字病院、高知医療センター、近森病院、細木病院、土佐市立土佐市民病院、高知県立幡多けんみん病院

▶高知県外の大学病院（大学名のみ）

自治医科大学、東京大学、東京歯科大学、杏林大学、順天堂大学、東海大学、京都大学、京都府立医科大学、大阪大学、大阪医科大学、大阪市立大学、近畿大学、神戸大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、広島大学、九州大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、福岡大学、宮崎大学

▶高知県外のその他の病院

北見赤十字病院（北海道）、市立札幌病院、土浦共同病院（茨城）、千葉県立救命救急センター、聖路加国際病院、東京逓信病院、国立病院機構災害医療センター（東京都）、国家公務員共済組合連合会九段坂病院（東京）、関東労災病院、蒲田総合病院（東京）、国立循環器病研究センター（大阪）、大阪市立総合医療センター、兵庫県立こども病院、関西労災病院（兵庫）、兵庫県立姫路循環器病センター、西神戸医療センター、神戸市民病院機構神戸市立医療センター、神鋼病院（兵庫）、岡山市立市民病院、倉敷中央病院、福山市民病院（広島）、公立学校共済組合中国中央病院（広島）、徳島県病院、徳島赤十字病院、国立病院機構香川小児病院、四国がんセンター（愛媛）、福岡県内病院、鹿児島市立病院、沖縄中部徳洲会病院

■保健師

高知県、高知市、香南市、室戸市、四万十市、大月町（高知）、大豊町（高知）、梼原町（高知）、本山町（高知）、大川村（高知）、四国電力株式会社、成仁病院（東京）、滋賀県、山口県、福山市、徳島県、徳島市、福岡市、浦添市

■養護教諭（非常勤、臨時講師を含む）　高知県、島根県、広島県、山口県、愛媛県、福岡県

■保育士　社会福祉法人いずみ保育園

■大学院進学先　高知大学大学院看護学専攻、高知県立大学大学院、神戸医療福祉専門学校

※医学部医学科入学者の方を対象に「高知県医師養成奨学金貸付制度」があります。
　なお一般入試「地域枠」及び推薦入試Ⅱ「四国・瀬戸内地域枠」での入学者は、本制度の貸与申請を行うことを原則としています。
　詳細については、学生募集要項及び高知県HP（http://www.pref.kochi.lg.jp/uploaded/life/42240_207685_misc.pdf）をご覧ください。

［一般入試 備考］

(1) ［大学入試センター試験の利用教科・科目名］欄について（利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。）
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科（基礎を付していない科目）」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。（個別学力検査等を受験することもできない。）「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目（ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』）を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、『工業数理基礎』については、旧課程履修者についてのみ、選択解答することができる。

(2) ［個別学力検査等］欄について：出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試

〔大学入試センター試験の利用教科・科目名〕欄については、一般入試「備考」を参照のこと。※医学科推薦入試Ⅱは「四国・瀬戸内地域枠（四国4県と兵庫県、岡山県、広島県、山口県の高等学校出身者）」として募集する。

学科名等	学力検査等の区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																					個別学力検査等	
			国語		地理歴史・公民												数学							理科									外国語							
		教科・科目数	国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数Ⅰ	数Ⅰ・A	数Ⅱ	数Ⅱ・B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数	教科等	科目名等〔　〕は受験の選択・必須や必要科目数など
医学科	推薦入試Ⅱ（15）	5教科7科目	●	1		○		○		○				○	1		●		●			2					○	○	○		2	●					1	その他	面接〔必須〕
看護学科	推薦入試Ⅰ（25）	大学入試センター試験は課さない																																				その他	総合問題、面接〔必須〕

人と自然が共存していく道を探求する

農林海洋科学部（仮称）

Faculty of Agriculture and Marine Science

学科・コース

- 農林資源環境科学科
  - 暖地農学領域
  - 自然環境学領域
  - 森林科学領域
  - 生産環境管理学領域
- 農芸化学科
- 海洋資源科学学科
  - 海洋生物生産学コース
  - 海底資源環境学コース
  - 海洋生命科学コース

アプリをダウンロードして スマホで読み込もう

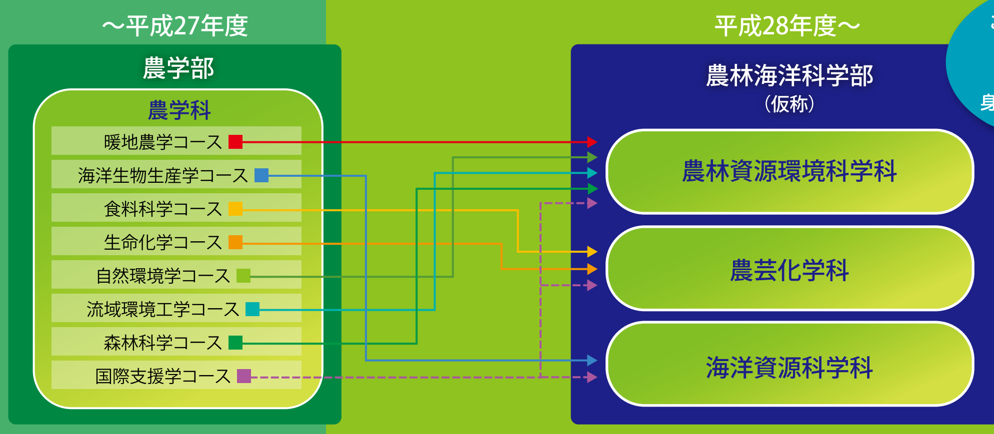
▶詳しくは90ページ

農林海洋科学部

農学部は、農林海洋科学部（仮称）へ　平成28年4月設置申請中

国の施策、高知県の産業振興計画として生産現場の強化、農畜産物の高付加価値化、中山間地対策の強化等が挙げられています。また、国の「海洋基本計画」等では、地域間あるいは国際間で天然資源の維持管理に必要な基礎的知識を有する海洋人材の育成が強く求められています。

このような課題に対応するため、農林海洋科学部では、農林資源環境科学科、農芸化学科、海洋資源科学学科の3学科体制により、農学・海洋科学分野のバックグラウンドとなる専門的知識をもって、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材を育成します。また、特別教育プログラムとして、国際協働特別プログラム及び農山漁村地域連携プログラムによる分野横断的教育が実施できる体制の再構築もあわせて行います。



※農林海洋科学部（仮称）は平成28年4月設置に向けて、文部科学省に認可申請中です。（平成27年5月現在）したがって、37ページ～42ページの内容は、予定であり変更する場合があります。

▶ 農林海洋科学部（仮称）ホームページ　http://wwwagr.cc.kochi-u.ac.jp/（平成27年度中は農学部ホームページとして公開中）

先輩にきく

豊かな自然と最先端の設備に囲まれて

高知大学の研究室は少人数制。だから卒論もマンツーマンで丁寧に指導してもらえます！

松下 亜優美　農学科 海洋生物生産学コース※ 4年（兵庫県立八鹿高校出身）

※学生の所属・学年表記は平成27年度時点のものです。

小さい頃から地元の川に慣れ親しんでいた私は、捕るのも食べるのも川魚が大好き（笑）。高知大学に川魚の研究をしている先生がいることをネットで知り、その先生のもとで学びたいと高知に来ました。現在は希望通り水族生態学研究室に配属となり、川とラボを往復する毎日です。

私の研究テーマは「ドジョウ」。今、日本のいくつかの地域で外来種のカラドジョウが生態系に入り込み、在来種のドジョウの生息域が奪われ、生物多様性が脅かされたりしていますが、私はその実態について物部キャンパス周辺を含む香長平野を調査しています。一番楽しいのは、やはり試料となるドジョウのサンプリング。近隣の川や水路に入り、網とバケツを使って捕まえます。途中、通りかかった地域の方が『何しゆうぞね？』と気軽に声をかけてくれたりして、高知の人の温かさにも触れられます。また、採取した試料は遺伝子実験施設でDNA解析を行いますが、そういった最先端の研究設備がフィールドに隣接しているのも、高知大学のいいところ。自然、人、研究環境に恵まれ、好きな研究に打ち込める幸せを日々感じています。

在来種のドジョウ。カラドジョウはこれよりも太く短い。川魚は地味だけど本当にかわいい！

教員にきく

地球社会の課題解決を目指す新学部！

關 伸吾　教授

「農林海洋科学部（仮称）」は、これからの日本社会が必要とする人材像に対応するべく、全国に先駆けて生まれ変わる新しい学部です。3つの学科のうち、まず「農林資源環境科学科」では、暖地農学、自然環境学、森林科学、生産環境管理学という相互に関連する4主専攻領域を幅広く学びながら、自分の興味の方向性に応じて専門に進んでいくことができます。「農芸化学科」では、近年ますます注目されている食品科学、生物化学の分野を、企業や研究機関との共同研究など多くの実践の機会を交えながら学んでいきます。そして「海洋資源科学科」では、海洋生物及び鉱物資源を維持管理し有効利用していくための知識・技能を、四国5大学連携の特別プログラムを含めた幅広い分野の講義で身につけながら、海洋生物生産学、海底資源環境学、海洋生命科学の3コースで人材を育成します。

3学科に共通しているのは、海・山・川の恵まれたフィールドを活かし、実体験として自然に触れながら学ぶ「現場主義」。1年生で必修となっているフィールドサイエンス実習では、生物観察やシュノーケリングなど自然を満喫しながら農林海洋科学の広い世界を体感し、自然に対する感性や学問への意欲を養います。

このように、高度な専門性と豊かな自然への感性をあわせ持つ人材こそが、これからの地球社会に求められる人材。ぜひ高知大学で、一緒に地球社会の課題解決を目指し、学びましょう！

カリキュラム例

1年次は、一般的な教養科目のほか、農林海洋科学部の全教員が総動員で担当する山・川・農地・海での現場体験型授業「フィールドサイエンス実習」が必須となります。

農林資源環境科学科	農芸化学科	海洋資源科学科
■学科共通 農林資源環境科学基礎実習、水資源学、植物生育学、物理学概論、生態学、統計学、現代応用生物科学 **■暖地農学領域** 農場実習、暖地園芸学概論、動物生産学概論、農業経営学、食用作物学、植物育種学、施設生産学概論、花卉園芸学、果樹園芸学、家畜管理学、蔬菜園芸学、農山村資源利用論、熱帯園芸学、環境保全農業論、植物栄養学、食品流通論 **■自然環境学領域** 自然環境学実習、地域生態学、昆虫学、生物環境システム学、魚類生態学、熱帯環境論、動物生態学、施設生産システム学、生物多様性管理学、農業気象学、植物機能科学、農薬化学、植物微生物相互作用論 **■森林科学領域** 森林生産技術実習、森林マネジメント論、森林資源環境利用学、地理情報システム学、木質成分化学、森林生態学、木材利用学実験、森林経済学、森林土木学、樹木学実習、樹病学、木質材料工学、山地測量設計実習、森林保護学、林産製造学 **■生産環境管理学領域** 土壌物理学、環境デザイン、水理学、環境水質学、測量学、地域協働インターンシップ、制水施設工学、土質力学、構造力学、地域環境管理学、食料品質評価学、生産環境管理学、農地環境保全学、食料生産プロセス学	農芸化学概論、植物資源科学、無機化学、微生物学、食品生化学、基礎分析化学、土壌学、基礎有機化学、生物化学、食品化学、植物感染病学、動物生産・繁殖学、土壌環境科学、植物栄養学、有機化学、植物細菌学、動物発生工学、食品分析学、代謝生化学、応用微生物学、微生物生理学、植物生育環境学、農産物利用学、食品保存学、生理活性物質化学、植物微生物相互作用論、栄養化学、微生物遺伝子工学、食品衛生学、土壌微生物生態学、生体高分子化学、生物環境分析学、植物医学概論、フードビジネス概論	**■学科共通** 海洋科学概論、水質学、海洋観光論、海洋基礎生態学、合意形成学、科学英語コミュニケーション **■海洋生物生産学コース** 水産生物学、沿岸環境学、魚類生理学、魚病学、水産物利用学、環境微生物工学、水産化学、水産増殖学、水族遺伝・育種学、魚類防疫学、水族環境学、魚類栄養飼料学、水産物品質管理学、水産資源学、水産食品原料学、水産法規学 **■海底資源環境学コース** 海底地形処理、海底資源岩石鉱物学、海洋情報化学、海底資源学、資源探査学特論、流体力学、水圏地球化学、地球年代学、資源分析化学、現場化学計測、海洋環境アセスメント学、海底資源物性学、地球物質循環学、海底資源地質学 **■海洋生命科学コース** 海洋生物生理・生態学、海洋深層水科学、社会栄養学、分子細胞生物学、天然物有機化学、天然物医療品化学、海洋進化生態学、バイオインフォマティックス、海洋天然物化学、活性発現機構、生物有機化学、機器分析学、医薬関連法規

農林海洋科学部　Faculty of Agriculture and Marine Science

教育理念

山から海までの広範なフィールドを有する高知県のメリットを最大限活かして、「人と環境が適切な共生関係を保ちながら持続的発展する未来社会」の構築に貢献できる意欲ある人材を育成します。
農学・海洋科学分野の専門的知識や実践的技術、及び豊かな教養を身につけて、ものごとを広い視野から科学的に捉えることができ、課題発見能力、自律的な問題解決能力、さらには世界に向けての発信能力を備えた人材を育てます。

学びの特色

- 必修の「フィールドサイエンス実習」をはじめとする多くの実験・実習科目を履修でき、経験と実践力を身につけることができます。
- 「基盤科目」、「応用科目」、「発展科目」の区分に分けられた専門科目を、体系的に効率よく学ぶことができます。

求める人材像

- 農学・海洋科学の専門知識を修得するために必要となる高校履修教科の基礎的事項を身につけている人。
- ものごとを客観的に捉えることができ、科学的・論理的に判断することのできる人。
- 農学、海洋科学に強い関心を持ち、意欲的、かつ真摯に学ぶことのできる人。
- 自分の考えを、言葉や図表を適切に用いて正確に伝えることの基礎が身についている人。

実物に勝るものなし ── 高知を体験する フィールドサイエンス実習

体験的コンテンツを盛りだくさんに組み合わせた「フィールドサイエンス実習」を学部新入生全員が履修します。高知県で学ぶことのメリットを強く実感できます。

農林資源環境科学

農芸化学

海洋資源科学

国際協働と地域社会について さらに深く学ぶ ── 学部横断型プログラム

地域社会、国際社会の持つ諸課題に取り組む能力を養う「国際協働特別プログラム」や「農山漁村地域連携プログラム」を、どの学科の学生でも履修することができます。

農林資源環境科学科　Department of Agriculture, Forestry, Bioresource and Environmental Sciences

農的ものづくりと環境との持続的調和を担う

学びの特徴と求める人材像

農林資源環境科学科では「農業、林業とそれをとりまく生産環境」や「人と自然環境の共生」、さらにこれらの勉学・研究に必要な「バイオテクノロジー」に興味を持つ学生を広く受け入れ、農学関連分野に関わる諸課題を自律的に解決できる人材を育成します。1年次〜2年次前半で農学の基礎を幅広く学び、2年次後半から「暖地農学」「自然環境学」「森林科学」「生産環境管理学」の4領域から主専攻・副専攻を各1領域ずつ選択し、3年次以降は産業や資格に対応した専門性を養います。また、生産環境管理学領域ではJABEE認定のカリキュラムコースが準備され、卒業と同時に技術士補相当の修習技術者の資格が取得できます。

暖地農学領域

太陽の恵み豊かな高知で農学を学ぶ

高知県には、急峻で狭隘な地形の不利を克服するために、温暖多照な気候を活かして、工夫ある農業を営んできた長い歴史があります。農作物の生産技術の開発、高度な環境調節・遺伝的改良など、世界に発信できる農学を高知で学びませんか?

自然環境学領域

生命と自然の未来地図を描く。

様々な問題が複雑に絡み合う地球。これからは、深い専門知識と生態系を地球規模からミクロレベルまで様々なスケールで総合的に理解する人材が求められます。自然環境と人間の共生について考え、豊かな生態系を次世代に引き継ぐことのできる人材の育成を目指します。

森林科学領域

都市を支え、海を恵む森林の可能性に迫る。

森林は、地球の二酸化炭素の循環を担い、海に養分を供給しています。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、資源の高度利用を目指し、亜熱帯から亜寒帯まで多様な森林植生に恵まれた高知で、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。

生産環境管理学領域

産業・人・自然にとっての「真の豊かさ」を評価する。

稲作は、一次産業の場でありながら、流れ込んだ濁水を浄化・排水する自然浄化機能を持っています。農業の生産基盤や人々の生活空間を整備するとともに、それに伴う環境の改変を考えることはとても大切です。森〜農地〜まち〜沿岸域の環境の保全・修復の理念と技術を学びましょう。

農 芸 化 学 科　Department of Agricultural Chemistry

化学的視点から生物生産を幅広く探求する

学びの特徴と求める人材像

農芸化学科では、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、安全な食料生産と健康増進、環境保全と修復、生物生態系等を多面的に理解するために必要となる知識と技術を修得し、それらを活かした社会貢献の新たな道筋を創造する力や構想力を育み、化学的視点から生物生産を幅広く探究でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる技術者・研究者を育成します。

生物環境化学科目群

**汚染土壌の浄化など
土壌環境の保全に
地球規模で取り組む!**

「植物栄養学」、「土壌環境科学」、「植物生育環境学」など、生物の生命活動を支える土壌環境や土壌 ― 植物系における物質動態に関する基礎知識と、植物の養分吸収機構、土壌環境の保全と修復、生物生態系などについて多面的に学びます。

動植物健康化学科目群

**植物・動物・ヒトの健康を守る
安全・安心の実現!**

「植物細菌学」、「動物発生工学」、「生理活性物質化学」、「食品分析学」など、植物・動物・ヒトの健康、生物が生産する有用物質、安全な食料生産と健康増進と、食料生産への応用について幅広く学びます。

微生物化学科目群

**微生物は多彩な産業に
大きな可能性を与える
永遠の資源!**

「応用微生物学」、「代謝生化学」及び「微生物遺伝子工学」など、有用微生物の育種と産業利用、生命機能分子の開発と応用、微生物機能の食料生産への利用について学びます。

海 洋 資 源 科 学 科　Department of Marine Resource Science

水産・海洋資源の有効利用で新時代を拓く

学びの特徴と求める人材像

海洋生物生産学コース・海底資源環境学コース・海洋生命科学コースの3コース制。「"海"を知る」、「"海"を使う」、「"海"を護る」ことに興味のある学生を広く受け入れ、分野横断的な科目として海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身につけさせるとともに、海に面した高知県の地理的優位性を最大限に活かし、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命科学に関する専門的な知識を併せもった実践力のある海洋専門人材の育成を目指します。

海洋生物生産学コース

**海の恵み、生命の息吹。
ここが黒潮の最前線。**

黒潮に洗われる土佐の海。
荒々しくも澄みきった海流と山野の自然が出会うこの豊かな水域で、健康で安全な魚介類をつくり育てます。食料問題を解決する上で海洋生物は大きな可能性を持つ資源。そこで、生態、環境、病理、栄養など様々な角度から海の保全と生物資源の持続的生産・利用を研究します。

海底資源環境学コース

**太平洋に眠る次世代の資源を、
太平洋を望むココ(高知)で学ぶ。**

次世代の産業を担う海底資源――。
その開発に向けては、資源の成因論や、回収・利用技術の開発、環境モニタリングなど、要素技術の研究開発が今まさに進行中。
私たちは"過去を知り(資源学)、今を学び(化学利用)、未来を予測する(環境モニタリング)"そんな人材を育てます。

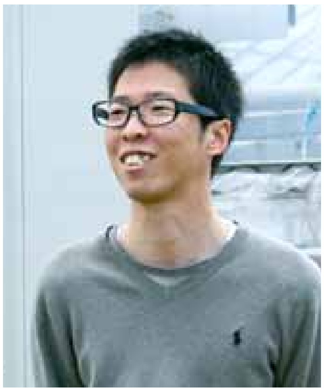
海洋生命科学コース

**海からの贈り物。
海の生き物は薬の宝庫。**

海洋と医薬・医療は一見かけ離れたものと思われますが、海洋生物・微生物から医薬品が開発され治療に用いられているのです。
干潟のちっぽけな生き物が、実は宝の山だったりするかも!?
当コースでは、海洋生物・化学・医薬に関する専門知識と技術の習得及び専門英語教育を通じて、国際社会でも活躍できる海洋生命科学人材の育成を目指します。

Voice! 内定者の声

修論や研究室に来た委託研究で、地域の現場と大学を往復する日々でした!



松本 将大（大分県立中津南高校出身）

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物系特定産業技術研究支援センター
大学院総合人間自然科学研究科（農学専攻） 平成26年度修了

この6年間、実習で農業のきつさを体験したり、研究のために訪ねた農家の人からお話を聞いたりする中で私が一番感じたのは、農業の現場の省力化・自動化の重要性。農家の人がもっと楽に効率的に仕事ができるよう現場を支えたいと考え、農業機械・資材分野での就職を志しました。
生物系特定産業技術研究支援センターは、農林水産業に関わる新技術や機械化促進のための研究開発を行う研究機関です。自分が一番やりたい分野、しかも日本全体に貢献できる規模や先進性を持っていることで第一志望として臨みましたが、最終選考では、周囲は高偏差値の有名大学出身者ばかり。弱気になりながらも、とにかく自分の研究や現場での経験、考え方をアピールしました。この時、日頃から自分で考え判断し行動するよう指導を受けていたおかげで質問にも自分の言葉で答えることができ、それが内定につながったと感じています。
今後は、自分が開発した機械で農業の現場を"楽"にすることが私の目標。作業が効率化され儲かる産業になれば、若い人や新たな企業の農業への参入にもつながるはずです。農業の発展に全力を尽くしたいと思っています。

修士論文では、ハウスの複合エコ環境制御技術の実証実験に取り組みました。

■取得できる資格等

農林資源環境科学科

家畜人工授精師（受講一部免除）、学芸員、教員免許（中学一種理科、高校一種理科、高校一種農業）、JABEE認定修習技術者（技術士補）、測量士補、樹木医補、森林情報士二級

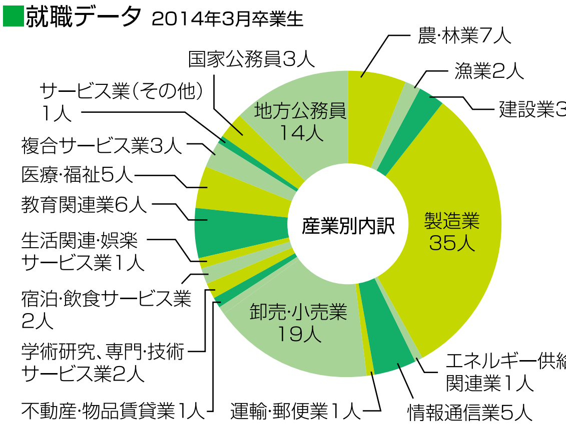
農芸化学科

食品衛生監視員、食品衛生管理者、家畜人工授精師（受講一部免除）、学芸員、教員免許（中学一種理科、高校一種理科）、甲種危険物取扱者（受験資格）

海洋資源科学科

学芸員、教員免許（中学一種理科、高校一種理科、高校一種水産）

■就職データ 2014年3月卒業生



平成28年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。
「○」は選択必須科目（その教科は必須で教科内に選択科目がある）を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

農学部は、平成28年4月に改組予定です。ここに掲載した入学者選抜の実施教科・科目等は予定であり、変更もあり得ます。

一般入試

学科名等	学力検査等の区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																			個別学力検査等	
		教科・科目数	国語		地理歴史・公民											数学							理科									外国語						教科等	科目名等〔 〕は受験の選択・必須や必要科目数など
			国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数Ⅰ	数Ⅰ・A	数Ⅱ	数Ⅱ・B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数		
農林資源環境科学科	前期（50）	4教科5科目又は4教科6科目	●	1												○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文 [必須]
農林資源環境科学科	後期（12）	4教科5科目又は4教科6科目	●	1												○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文 [必須]
農芸化学科	前期（35）	3教科4科目又は3教科5科目														○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文 [必須]
農芸化学科	後期（5）	4教科5科目又は4教科6科目	●	1												○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	面接 [必須]
海洋資源科学科 海洋生物生産学コース	前期（18）	4教科5科目又は4教科6科目	●	1												○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	面接 [必須]
海洋資源科学科 海底資源環境学コース	前期（9）	4教科6科目又は4教科7科目	●	1												○1		○1				2	○2				○1～2				2～3	○	○	○	○	○	1	理	<理科>化学基礎・化学、地学基礎・地学から1科目〔1科目を選択必須〕
海洋資源科学科 海洋生命科学コース	前期（14）	5教科6科目又は5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	理	<理科>化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目〔1科目を選択必須〕
海洋資源科学科	後期（7）	4教科5科目又は4教科6科目	●	1												○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	面接 [必須]

■卒業後の進路　学部卒・大学院修了者の過去3年間の主な就職先・進学先です。（企業名は五十音順です）

●は、学生在籍中の旧コース名等を表しています。旧コースと平成28年度以降の学科との関係は、37ページで確認してください。

（暖＝暖地農学コース、海＝海洋生物生産学コース、食＝食料科学コース、生＝生命化学コース、自＝自然環境学コース、流＝流域環境工学コース、森＝森林科学コース、国＝国際支援学コース
院＝大学院）

アーサーアグリ 暖、安芸水産（高知）食 院、安岐水産（香川）海、あさひ 自、旭エンジニアリング 院、旭テクノプラント 食、新井産業（愛媛）食、阿波銀行 自、あわしま堂（愛媛）食 生、アヲハタ 生、イシイ（徳島）食、一保堂茶舗（京都）暖、伊藤忠飼料 院、ウィル（高知）森、エスエスシステム 食、えがお 食、NTTマーケティングアクト 自、アジア航測 院、ウエスコ（岡山）院、WDBエウレカ 院、エイト日本技術開発（岡山）院、扇精光（長崎）森、大田花き 暖 食、オイシス（兵庫）食、大分朝日放送 国、大山どり（鳥取）海、オカベ（愛媛）食、岡山県森林組合連合会 院、おかやまコープ 暖、オガワエコノス（広島）食、オルター 生、Oh庭ya 院、香川県漁協 海、香川証券 自、香川県東部森林組合 院、カツヤマキカイ 国、カネコ種苗 国、叶匠寿庵（滋賀）食、鞄工房山本 自、釜屋（三重）院、からさわ農園（三重）国、ガリバープロダクツ（広島）院、川上食品（岡山）生、環境設計株式会社 院、木徳神糧株式会社 院、絹谷産婦人科 生 院、キャパトルイシイ（奈良）暖、クオーレ 自、クニヒロ（広島）食、建設技術研究所 院、高知銀行 暖 食 国、高知県森林組合連合会 森 院、高知県土地改良事業団体連合会 国、高知食糧 国、幸楽苑 海、ゴトー養殖研究所（埼玉）海、佐川急便 院、貞光食糧工業 食、サタケ（広島）暖、サラヤ 院、塩浜工業 院、四国ボーリング工業（徳島）森、四国八洲薬品 食、ショーボンド建設 流、昌栄（徳島）生、四万十みはら菜園 院、神果神戸青果 院、新日本科学（鹿児島）院、CPC 院、JAあなん（徳島）流、JA馬路村 国、JAえひめ中央 森、JA香川県 自、JA紀北かわかみ 国、JA京都にのくに 自、JA高知中央会 食、JAコスモス（高知）暖、JAさが 国、JA静岡経済連 暖、JA全農ミートフーズ 暖、JA兵庫南 暖、JA和歌山 院、JA南国 院、末広（高知）食、須磨海浜水族園 海、清月荘（愛知）国、青年海外協力隊 院、生物系特定産業技術研究支援センター 院、全農物流 自、大起水産 海、竹内園芸（徳島）暖、ダスキン富士せんい 森、タマノイ酢 国、だるま味噌（高知）生、チカミミルテック 流、チャーム（群馬）院、中部衛生検査センター（静岡）食、ちゅらねしあ（沖縄）院、つるや（愛媛）国、土井農園（香川）暖、東亜建設工業 流、東光高岳 院、道水中谷水産（高知）院、徳島製粉 院、トリドール 国、富田薬品（熊本）暖、ナイガイ・グループ 暖、ナイス（神奈川）院、西尾歯科医院 生、西日本科学技術研究所（高知）流、西利（京都）院、ニチリウ永瀬（福岡）暖、日泉化学（愛媛）流、日本ｅリモデル 森、日本基礎技術 流、日本森林林業振興会 森、日本セレモニー 自、日本郵便 暖 国 院、日本郵便沖縄郵便局 森、ノザワ（兵庫）流、NOSAI兵庫 暖、NOSAI岡山 海、NOSAI高知 海、バイオファーム 暖、ハタダ 食 生、浜学園 院、浜幸 食、ハヤシ（岡山）院、ハルディン（千葉）院、阪大微生物病研究会 自、ビタカイン製薬（大阪）自、ひまわり乳業 生 国、平田ナーセリー（福岡）暖、ヒロコンフーズ 暖、広島スバル 森、ヒワサキ（高知）自、福井市森林組合 院、フジ 海、富士コスモサイエンス（静岡）海、平成建設 森、ヘンミ 生、ボーネルンド（東京）院、星野リゾート 国、ボナー（福岡）自、前澤工業（埼玉）院、まちけん（徳島）自、マックスバリュ九州 食、松本コンサルタント 流、丸永（兵庫）暖、マルウ接着 自 院、丸住製紙（愛媛）院、丸和林業 国、ミサワホーム中国 森、南九州畜産興業 食、宮崎文化本舗 自、銘建工業（岡山）森、名鉄観光 海、明星産商（高知）食、盛田（愛知）院、モンベル（大阪）院、山崎技研（高知）海 生 院、山崎製パン 海、山本貴金属地金 院、ヤンマー農機九州カンパニー 自、ヤンマー農機販売中四国カンパニー 流、ヤンマー農機販売中部近畿カンパニー 院、ライドオン・エクスプレス 海、リックコーポレーション 自、リファレンス 森、リマテック（大阪）院、両備システムソリューションズ 暖、リンクス（広島）国、和歌山ノーキョー食品工業 院、湧永製薬 生、渡辺パイプ 暖、国家公務員（畜産系技術職）院、京都府庁 院、大阪府庁 院、兵庫県庁 流 院、和歌山県庁 生、広島県庁 院、高知県庁 暖 食 流 森 院、熊本県庁 院、大分県庁 院、大船渡市役所（岩手）食、芳賀町役場（栃木）院、名古屋市役所 食、大阪市役所 暖、高砂市役所 海、赤磐市役所（岡山）自、備前市役所（岡山）海、坂出市役所 流、丸亀市役所 院、三好市役所 院、久万高原町役場（愛媛）森、今治市役所 院、高知市役所 生、南国市役所 暖、遠賀町（福岡）院、島原市役所（長崎）海、岡山県警 森 国、広島県警 暖 海、愛媛県警 森、高知県警 森、福岡県警 自、三重県公立学校教員 海、滋賀県公立学校教員 暖、大阪府公立学校教員 生、鳥取県私立学校教員 生、岡山県私立学校教員 暖 海、広島県公立学校教員 海、愛媛県私立学校教員 院、高知県公立学校教員 生

▶大学院進学先　高知大学大学院 全コース、筑波大学大学院 生、東京海洋大学大学院 海、東京農工大学大学院 暖、信州大学大学院 海、豊橋技術科学大学大学院 生、名古屋大学大学院 生 院、京都大学大学院 生、大阪大学大学院 生、愛媛大学大学院 院、鳴門教育大学大学院 国、佐賀大学大学院 自

［一般入試 備考］

(1) ［大学入試センター試験の利用教科・科目名］欄について（利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。）
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科（基礎を付していない科目）」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。（個別学力検査等を受験することもできない。）「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目（ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』）を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、『工業数理基礎』については、旧課程履修者についてのみ、選択解答することができる。

(2) ［個別学力検査等］欄について：出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

推薦入試、AO（アドミッションズ・オフィス）入試

大学入試センター試験の利用教科・科目の選択方法の詳細及び個別学力検査等についての出題範囲については、「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

学科名等		学力検査等の区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																					個別学力検査等	
			教科・科目数	国語		地理歴史・公民											数学							理科									外国語						教科等	科目名等〔　〕は受験の選択・必須や必要科目数など
				国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数Ⅰ	数Ⅰ・A	数Ⅱ	数Ⅱ・B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数		
農林資源環境科学科	暖地農学主専攻領域	推薦入試Ⅱ(4)	4教科5科目又は4教科6科目	●	1												○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文、面接〔必須〕
		推薦入試Ⅰ(2)	大学入試センター試験は課さない																																				その他	口頭試問を含む面接〔必須〕
	自然環境学主専攻領域	推薦入試Ⅱ(3)	4教科6科目又は4教科7科目	●	1												○1		○1				2	○2				○1～2				2～3	○	○	○	○	○	1	その他	面接〔必須〕
		AO入試Ⅰ(3)	大学入試センター試験は課さない																																				その他	第1次：授業理解力テスト〔必須〕 第2次：面接〔必須〕
	森林科学主専攻領域	推薦入試Ⅱ(一般推薦)(5)(専門推薦)(1)	4教科5科目又は4教科6科目	●	1												○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文、面接〔必須〕
		推薦入試Ⅰ(2)	大学入試センター試験は課さない																																				その他	口頭試問を含む面接〔必須〕
	生産環境管理学主専攻領域	推薦入試Ⅱ(4)	4教科5科目又は4教科6科目	●	1												○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	面接〔必須〕
		推薦入試Ⅰ(4)	大学入試センター試験は課さない																																				その他	口頭試問を含む面接〔必須〕
農芸化学科		推薦入試Ⅱ(5)	4教科5科目又は4教科6科目	●	1												○1		○1				2	○2 又は（化学基礎含む）					○（化学）			1～2	○	○	○	○	○	1	その他	小論文、面接〔必須〕
海洋資源科学科	海洋生物生産学コース	推薦入試Ⅱ(一般推薦)(6)(専門推薦)(2)	4教科4科目又は4教科5科目	●	1												○	○	○	○	○	○	1	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	面接〔必須〕
	海底資源環境学コース	推薦入試Ⅱ(5)	4教科6科目又は4教科7科目	●	1												○1		○1				2	○2				○1～2				2～3	○	○	○	○	○	1	その他	面接〔必須〕
	海洋生命科学コース	推薦入試Ⅱ(4)	5教科6科目又は5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○1		○1				2	○2 又は				○1				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	面接〔必須〕

地域で学び、地域の未来をひらくリーダーになる

地域協働学部

Faculty of Regional Collaboration

学科・コース

地域協働学科

アプリをダウンロードして スマホで読み込もう

▶詳しくは90ページ

AR 地域協働学部

アドミッションポリシー

文系・理系を問わず幅広い教科を積極的に学んで、読解力等の基礎学力に秀でるとともに、社会または自然の理解に関する素養を有している学生であり、様々な問題に対する知識や関心を持っている学生であること。さらに、実習を柱とする地域協働教育のカリキュラムに沿った学習に必要な学生間、学生・教員間、及び学外の「おとな社会」とのコミュニケーションに適応できる資質を持っている学生を求めます。

▶ 地域協働学部ホームページ　http://www.kochi-rc.jp/

先輩にきく

胸踊る、未知の世界への挑戦！

玉井 彩奈　地域協働学科1年（徳島県立脇町高校出身）

高知発、
日本初の地域協働学部。
毎日が新しいことへの
挑戦です！

「高知大学にこれまでにない新しい学部ができる」――高校の先生からそう教わって早速調べてみると、とにかく大学を飛び出して学ぶフィールドワークが多いカリキュラムにびっくり！そこに魅力を感じ、高3の10月、高知でのオープンフィールドワーク※に参加しました。

その時のテーマは、日本最大級の街路市である「日曜市」の振興。まず事前説明を受けて現地で各店舗のお手伝いを体験し、振り返りのグループワークを行いました。私にとってはすべてが初めての体験でしたが、日曜市では店の人とお客さんとの距離の近さや、隣り合う店どうしが競争ではなく協力して市を盛り上げていることを肌で感じました。またグループワークでは他の参加者が私にはない発想で様々な意見を発表しているのを聞いて、高知でこんな仲間や先生たちと一緒に地域協働を学びたい！と強く思いました。

入学してからは、すぐに中山間地域の中土佐町大野見で二泊三日の合宿があった後、県内各地のフィールドに入って地域の人々の暮らしや想いに接する日々。先生がおっしゃっていた『君たちの後に地域協働の歴史ができていく。一緒に学びを創って行こう！』という言葉どおり、既にあるものを与えられるのではなく、新しいものを自分たちの手で創っていけることに毎日とてもワクワクしています。これから4年間、地域の皆さんと協働してその地域を盛り上げ、そしていずれはその体験を基に、地元・徳島の活性化に貢献したいと思っています。

オープンフィールドワークで初めて「地域協働」を体験！

※受験生を対象にした公開現場実習。2015年度は高知以外にも各地域に“出前”予定！ 詳しくはホームページで。

教員にきく

地域に目を向け、地域から未来を創る

上田 健作　地域協働学部長

本学部は、協働によって地域の産業振興などの問題解決を目指す「地域協働型産業人材」を育成する日本初の学部です。学部の授業科目の3分の2はグループワーク形式で行い、3年間で約600時間ものフィールドワーク（事前学習+現場実習+事後の振り返り）を組み込むという、他に例を見ないカリキュラムは我々の“本気”の現れです。学生と教員と地域がコラボレーションして新しい学びを創り、地域に貢献することを目指します。

具体的には、1年生1学期から全員が県下7つの地域を回り、2学期からはひとつの地域を選択し、地域理解と課題発見に挑戦します。さらに、2～3年生では企画立案や事業の実施・マネジメントを通じて自分なりの地域協働論を確立していきます。これらの学びを通じて地域協働を組織できるリーダーを育成することが、これからの地域振興の鍵となるはず。地域に目を向け、地域から日本の未来を創っていきたいと考えている高校生の皆さん、ぜひ高知で一緒にコラボレーションしましょう！

カリキュラム例

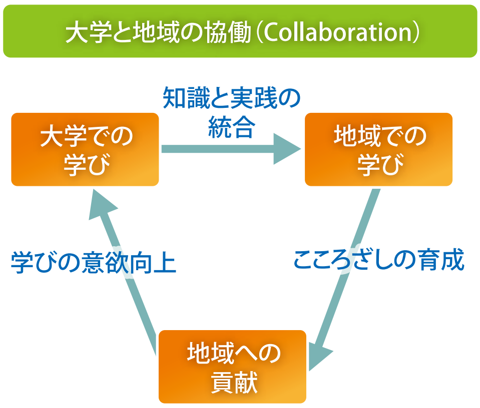
地域協働学科	
■ 講義科目	地域協働論、地域組織論、産業論、地域社会学概論、組織学習論、地域計画論、非営利組織マネジメント論、経営組織論、地域資源管理論、行財政論、会計学概論、社会教育論、起業・経営実務講座、行政実務講座、金融・税務実務講座、実践情報処理経済学入門、地域デザイン論、フードビジネス論、六次産業化論、農業振興論、地域産業政策論、国際ビジネス展開論、食品生化学、森林経営学、地域産業連関論、中心市街地活性化論、国際農林水産物市場論、生涯学習論、地域スポーツ振興論、環境社会学、ダンス、地域スポーツ社会学、地域福祉論、コミュニティ振興論、地域防災論、比較地域社会論、ソーシャルキャピタル論、非営利組織論、環境文化論、家庭経営学
■ 演習科目	プロジェクトマネジメント演習、地域協働マネジメント演習、地域協働研究、地域協働実践・卒業研究、外国語特別演習、海外特別演習
■ 実習科目	地域理解実習、地域協働企画立案実習、事業企画プロジェクト実習、地域協働マネジメント実習、教えるプロジェクト実習

地域協働学科 Department of Regional Collaboration

うみ・やま・むら・まちをフィールドに地域とともに課題を解決する力を養う

地域協働学部での成長サイクル

様々な地域との本気の協働を通じて、4年間を通じた「大学での学び」「地域での学び」「地域への貢献」のサイクルを実践。
地域の未来をひらくリーダーに欠かせない「生きた技能・知識・考え方」を育むための「知識と実践の統合」「こころざしの育成」「学びの意欲向上」を図ります。



教育理念

高知県各地の農山漁村やまちをフィールドに、その地域との継続的な交流を通じて地域の課題を共感的に理解し、改善に取り組みます。豊富な活動実習に加えて、活動の振り返りと活動に必要な専門知識の獲得を重視し、地域の課題を解決するための「知識」と「経験」の統合を図ります。

目指す人材像

地域協働マネジメントに必要な3つの力（地域理解力、企画立案力、協働実践力）を身につけた「地域協働型産業人材」を育てます。

地域協働マネジメント力

- **地域理解力** 地域の産業および生活・文化に関する専門知識を活用して、多様な地域の特性を理解し、資源を発見できる力
- **企画立案力** 課題を発見・分析し、解決するための方策を立案して、その成果を客観的に評価する力
- **協働実践力** 多様な人や組織を巻き込み、互いの価値観を尊重しあいながら、参加者や社会にとっての新しい価値を生み出す活動をリードする力

人材育成プロセス

学年ごとの積み上げ型の教育プログラムで「地域協働型産業人材」に必要な能力を着実に育成します。学年末の学習成果報告会では、企業経営者、社会起業家、NPO職員など社会や地域の第一線で活躍する人たちのアドバイスをもらいながら、1年間の学習成果を整理します。

1年次 目標 地域理解力を身につける

第1学期	第2学期
課題探求実践セミナー 新入生が「高知」にはじめてふれる場。高知のマチやムラで何が起こっているのか、地域の人たちは何を考えどのように行動しているのかを知り、地域に向き合う作法を身につけます。	**地域理解実習** 地域の活動の手伝いやヒアリングを通じて、地域の特性や課題を理解します。「地域理解力」の基礎を固めます。

地域協働研究 I

学習成果報告会

2年次 目標 企画立案力を身につける

第1学期	第2学期
地域協働企画立案実習 地域課題を探し出し、地域資源を活かした企画をつくる実習を行います。「地域理解力」を身につけるとともに、アイデアを発想し形にすることで、「企画立案力」の基礎を固めます。	**事業企画プロジェクト実習** 地域資源の商品化に向けた事業計画づくりのプロジェクトを実施します。商品開発する力、事業を計画する力を育て、「企画立案力」を発展させます。

地域協働研究 II

学習成果報告会

3年次 目標 協働実践力を身につける

第1学期	第2学期
地域協働マネジメント実習 2年生までに身につけた能力や知識・技法を活かして事業計画を実施し、その点検評価を行います。やり抜く力とリーダーシップを育て、「協働実践力」の基礎を固めます。また活動を客観的に評価する力を固めます。	**教えるプロジェクト実習** 実践した事業の結果を地域の人と一緒に評価して改善策をつくるワークショップを実施します。ファシリテーション力や合意形成する力など、地域を巻き込んで活動するための「協働実践力」を身につけます。

地域協働研究 III

学習成果報告会

4年次 目標 地域協働マネジメント力の統合・深化

地域協働実践・卒業研究

4年間の学びを統合し、地域協働の実践経験や実践事例を理論化します。これをもとに、卒業後「地域を変える新しいリーダー」としてどのように地域に関わるのか、将来展望を描きます。

授 業 例

キャンパスの外で地域の実情を探る ―課題探求実践セミナー（地域協働学部）―

1年生の1学期に、グループに分かれて、高知県内の7市町村（大豊町、仁淀川町、黒潮町、いの町、香南市、高知市、佐川町）を訪問します。訪問先では、田植えや地域の行事の手伝いなど、それぞれの地域で異なるサービスラーニングを行う中で、地域の実情を把握します。2学期から始まる地域理解実習では、7つの地域から1つの地域を選んで、その地域に深く関わっていきます。

事前学習
- ●訪問先地域の下調べ
- ●地域の実情の仮説の設定

→

実習
- ●サービスラーニング
- ●地域の観察、地域住民とのコミュニケーション
- ●地域の実情把握

→

事後学習
- ●事前学習で立てた仮説の検証
- ●実習の振り返りと改善点の共有

キャンパスの中で地域の論理を組み立てる ―地域協働研究Ⅰ―

授業では、少人数グループでのディスカッションを通じて、実習授業で活動を行ったフィールドの経済・産業構造、生活・社会環境、各種活動に関わる団体や組織（地域主体）の特性などの分析を行い、地域が抱える課題の本質的な原因や構造を理解します。また、その成果を論文としてまとめるための能力（状況把握力・分析力、論理的思考力）を養います。

▶卒業後の具体的な進路

6次産業化人

農林水産分野の地域資源を活かして起業する人材

農林漁業ベンチャーの起業、フードサービスの起業、地域資源活用ビジネス（グリーンツーリズム、飲食業、観光業、小売業）の起業、農業生産法人等の起業、6次産業化コンサルタント

産業の地域協働リーダー

地域の多様な資源（人・モノ・組織）を活かし、協働をコーディネートして事業を創る人材

地場産業（伝統産業）、食品加工・流通企業、金融機関、広告代理店、デザイン会社、観光関連企業、都市開発関連会社、まちづくり会社、ソーシャルビジネス・地域ビジネス企業

行政の地域協働リーダー

住民、企業と協働して、地域の課題解決に向けた政策形成をコーディネートできる行政職員等の人材

地方自治体、国の行政機関、独立行政法人、国際機関、農林漁業団体、商工団体、研究機関

生活・文化の地域協働リーダー

住民、企業、行政と協働して、地域の生活・文化を支える事業をプロデュースする人材

コミュニティデザイナー、ソーシャルデザイナー、マスコミ、福祉関連法人・企業、コンサルタント会社、まちづくりNPOの起業、地域おこし協力隊、文化スポーツ振興団体

■取得できる資格等　社会調査士

平成28年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。
「○」は選択必須科目（その教科は必須で教科内に選択科目がある）を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。
「◇」は他教科との選択科目を表し、科目数欄に「※」を付して教科内で選択可能となる最大科目数を表示。

学科名等	学力検査等の区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																				個別学力検査等	
		教科・科目数	国語		地理歴史・公民											数学							理科									外国語						教科等	科目名等〔　　〕は受験の選択・必須や必要科目数など
			国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数Ⅰ	数Ⅰ・A	数Ⅱ	数Ⅱ・B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数		
地域協働学科	AO入試Ⅰ（15）	大学入試センター試験は課さない																																				その他	第1次：志願票、講義理解力試験〔必須〕 第2次：ゼミナール活動適性試験、活動振り返り作文、面接〔必須〕
	推薦入試Ⅰ（10）	大学入試センター試験は課さない																																				その他	グループ活動及び振り返り演習適性試験、作文、面接〔必須〕
	一般入試（前期日程）（35）	3教科3科目又は3教科4科目	●	1	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇	◇	◇	◇	◇	◇	1※	◇2				又は ◇1				1～2※	○	○	○	○	○	1	その他	小論文、面接〔必須〕

［一般入試 備考］

(1) ［大学入試センター試験の利用教科・科目名］欄について（利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。）
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科（基礎を付していない科目）」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。（個別学力検査等を受験することもできない。）「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目（ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』）を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、『工業数理基礎』については、旧課程履修者についてのみ、選択解答することができる。

(2) ［個別学力検査等］欄について：出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

リーダー人材育成を目指す新しい教育プログラム

土佐さきがけプログラム

TOSA Innovative Human Development Programs

コース

- グリーンサイエンス人材育成コース
- 国際人材育成コース
- 生命・環境人材育成コース
- スポーツ人材育成コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
▶詳しくは90ページ

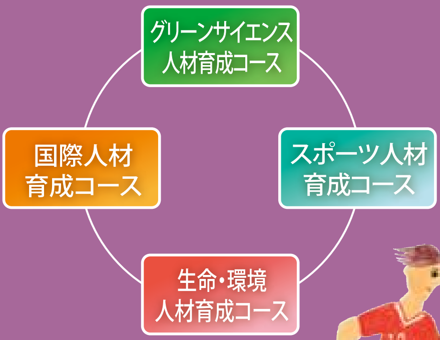
AR
土佐さきがけプログラム

特別プログラムでリーダー人材を育成

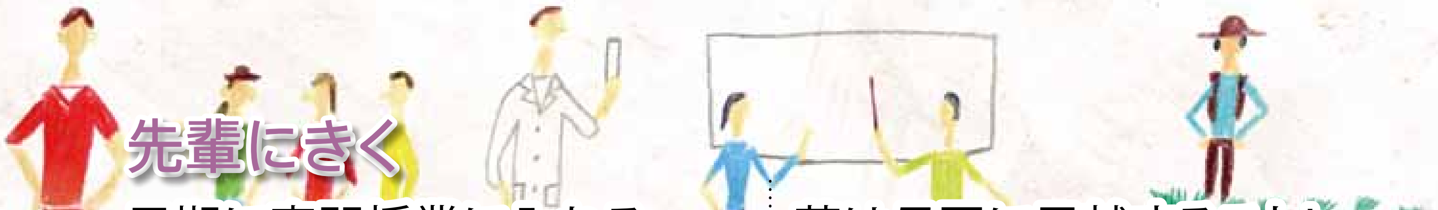
現代社会の課題に積極的に取り組んでいける次世代リーダーを育成するため設けられたのが、「土佐さきがけプログラム」です。
これは、本学がこれまで培ってきた教育・研究実績や特色を活かしながらも、既存の学部・学科等のカリキュラムからは独立した、全く特別な教育プログラムです。

従来のカリキュラムを超えた分野横断型の学び

このプログラムでは、すでにある学部・学科のカリキュラムにとらわれず、関連する様々な分野を横断的かつ総合的に学び、幅広い知識（基礎力）とそれらを組み合わせて考える力（応用力）を養います。



▶ 土佐さきがけプログラムホームページ
http://www.kochi-u.ac.jp/sakigake_program/



先輩にきく

早期に専門授業に入れる

小池 美雪　グリーンサイエンス人材育成コース3年
（香川県立香川中央高校出身）

大学院までの6年を基本とするコース、しかも修士1年では海外研修もあるという独自のカリキュラムに憧れ、このコースを志望しました。入学してみてびっくり！1年生の1学期から理学部2年生の実験に一緒に入ったり、基礎と専門の授業が同時進行したり、本当に“特別”な学びをさせてもらっています。また土佐さきがけプログラム全体での授業では、理系も文系も一緒になって意見を交わし、それぞれの考え方や見方の違いにとても刺激を受けました。
入学当初の私は、地球環境に優しい材料の開発に興味を持っていましたが、学べば学ぶほど化学の世界は奥が深い！恵まれた環境で、自分のオンリーワンを見つけていきたいですね。

夢は母国に貢献すること！

カンデル ナラヤン　国際人材育成コース3年
（ネパール出身）

私はもともと、インテリアデザインを学びたくて日本に来ました。けれど、土佐さきがけプログラムに出会い、もっと大きな夢を見つけることができました。それは、地震で被害を受けた母国ネパールの復興に役に立つ仕事に携わることです。
このコースの先生たちは長年、世界各国でビジネスや国際貢献、人道的活動などに関わってきた方ばかり。大変情熱的でグローバルな視点を持っているので、いつもいい影響を受けています。また、授業も英語だけで行われるものがあったり、中国語の習得にも大きく時間を割いており、実践的です。ここで世界に通用する能力や人間性を身につけ、夢を実現したいと思っています。

学問とスポーツを両立し、成長したい

高橋 拓也　スポーツ人材育成コース4年（主専攻は人文学部人間文化学科）
（島根県立大社高校出身）

高校のサッカー部の顧問である父の影響で、僕は５歳からサッカーをやってきました。けれど、学問として興味を持ったのは地歴。それなら学問もスポーツも両方を極めたいと思い、このプログラムを選びました。現在は、主専攻で地域分析や文化の比較などを学びながら、副専攻でサッカーやスポーツ科学に取り組んでいます。
コース必修の授業としては、トレーニングやテーピングなどの実習があり、学外の専門家の方からも指導を受けています。現役選手としてはもちろん、将来スポーツ指導やスポーツ振興に関わるための基礎を学ぶことができます。多方向からスポーツを学び、自分の可能性を広げたいと思っています。

自分に合った研究室が見つかる

橋本 佳怜　生命・環境人材育成コース3年
（岡山県 私立就実高校出身）

高校の理科の実験で微生物に興味を持ちました。大学で微生物の研究がしてみたいと思っていたところ、担任の先生にこのコースを教えてもらいました。このコースでは、2年生のときに1年かけて関連分野の研究室を全て回るので、研究テーマのほかに、研究室の雰囲気なども比較しながら分属先を選ぶことができます。どの研究室も魅力的に見えて迷いましたが、最後は元々興味のあった微生物の研究ができることと手厚くサポートしてくださる先生がいる今の研究室に決めました。将来良い卒論が書けるよう、先生や先輩に教わりながら実験の腕を磨いています。私は、高校の理科の教員免許取得も目指しているので、研究と両立させてやっていきたいです。

平成28年度 入学者選抜の実施教科・科目等について

「●」は必須科目を表す。
「○」は選択必須科目（その教科は必須で教科内に選択科目がある）を表し、科目数欄に選択すべき科目数を表示。

学科名等	学力検査等の区分・日程（募集人員）	大学入試センター試験の利用教科・科目名																																				個別学力検査等	
		教科・科目数	国語		地理歴史・公民											数学							理科									外国語						教科等	科目名等〔　〕は受験の選択・必須や必要科目数など
			国語	科目数	世A	世B	日A	日B	地理A	地理B	現社	倫理	政経	倫・政経	科目数	数I	数I・A	数II	数II・B	簿・会	情報	科目数	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	科目数	英語	独語	仏語	中国語	韓国語	科目数		
グリーンサイエンス人材育成コース	AO入試II（5）	3教科5科目														○1（数I・数I・Aから）		○1（数II・数II・B・簿・会・情報から）				2					○	●	○	○	2	●					1	その他	口頭試問を含む面接　[必須]
国際人材育成コース	AO入試I（10）	大学入試センター試験は課さない																																				その他	小論文　[必須] グループディスカッション[必須] 面接　[必須]
生命・環境人材育成コース	AO入試II（10）	5教科6科目又は5教科7科目	●	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	○1（数I・数I・Aから）		○1（数II・数II・B・簿・会・情報から）				2	○2（基礎4科目から）				又は　○1（物理・化学・生物・地学から）				1～2	○	○	○	○	○	1	その他	面接　[必須]

［AO入試II 備考］

(1) [大学入試センター試験の利用教科・科目名]欄について（利用教科・科目の選択方法の詳細に関しては「入学者選抜に関する要項」で確認すること。）
利用教科・科目の中で、指定された教科・科目数を超えて受験している場合には、選択となる各教科・科目において、高得点の科目の成績を用いる。ただし、「地理歴史」、「公民」及び「理科（基礎を付していない科目）」については、本学の指定する利用科目数が1科目又は選択の結果、1科目のみの利用となった場合、2科目受験者については、第1解答科目の成績を用いることとし、第1解答科目が本学の指定する利用教科・科目でない場合は合格者とならない。（個別学力検査等を受験することもできない。）「英語」についてはリスニングを含む。「数学」の教科について『簿記・会計』、『情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目（ただし、『情報関係基礎』については、普通教科及び学校設定科目以外の『情報に関する科目』）を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限る。なお、『工業数理基礎』については、旧課程履修者についてのみ、選択解答することができる。
(2) [個別学力検査等]欄について：出題範囲等については「入学者選抜に関する要項」で確認すること。

※スポーツ人材育成コースは個別試験等は実施しません。人文社会科学部（仮称）・教育学部・理学部の推薦入試または一般入試の合格者から書類選考を行います。詳細はそれぞれの募集要項を参照してください。

グリーンサイエンス人材育成コース Green Science Education Program

育成する人材像

化学を基盤とし、環境に配慮した技術開発・学際研究（グリーンサイエンス研究）を通じて、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材を育成することを目指します。学部で4年間学んだ後は2年間の大学院修士課程へ進学することを前提とした6年一貫のコースです。

教育の特色

- ●化学を総合的かつ体系的に履修して化学の基礎を身につけ、少人数で多くの研究実験を行い、化学者としての技量を高めます。
- ●入学後の早い時期から、高知大学で実施されている最先端の研究に参加し、課題探求能力や問題解決能力を高めます。
- ●大学院では、英文で研究論文を自ら執筆したり海外の研究機関で実験を行い、専門性や国際性を高め、研究者としての実践力を身につけます。

実践的「化学」への招待 柳澤和道教授

私たちの身の回りで起こっている様々な現象は、化学的変化としてとらえることができます。ですから、「化学」は私たちの生活を豊かにしてくれているだけでなく、環境問題や資源問題を解決するための大切な糸口なのです。

▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1・2年	入学後すぐに高知大学で実施されている最先端研究に触れ、課題探求能力や問題解決能力を養います。同時に大学院進学時の海外留学を見据えて、英語や中国語などの語学についても力を磨きます。	GS特別講義 Ⅰ・Ⅱ GS実験 Ⅰ・Ⅱ
学部 3年	3年第1学期から研究室に配属され、理学部の化学系コースの学生らと共に、最先端の研究に参加します。	GS実験 Ⅲ・Ⅳ
学部 4年	研究室生活2年目。さらに研究活動を充実させると同時に、科学者として不可欠な倫理観なども学んでいきます。当コースは6年一貫ですが、他の学部生と同様に大学院の試験を受け進級します。	科学者倫理学 知的財産論 GS課題研究
修士 1年	海外の大学に1ヶ月程度の短期留学を行い、化学に関するグローバルな視点を身につけ、研究を深化させます。	海外インターンシップ 学術論文作成セミナー
修士 2年	研究の集大成。論文作成や国内外の学会での研究発表と活躍の場を広げます。夏までに就職または博士課程への進学について検討し、さらなるステップへつなげます。	GS特別研究

卒業後の進路イメージ

- ●大手企業（食品・製薬・化学・エネルギー産業）や公的研究機関の高度技術者や研究開発者を目指します。
- ●大学院博士課程（3年）に進学し、大学教員や国際的な研究者を目指します。

国際人材育成コース International Education Program

育成する人材像

今や世界共通語となった英語、近年ますます重要度が高くなっている中国語および日本語を駆使し、高い国際コミュニケーション力とともに、文化的・歴史的背景による価値観の違いを乗り越えて自文化と異文化を理解する心を持ち、国際社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

教育の特色

- ●日本人学生と外国人留学生が同じプログラムの中でともに学ぶことで、国や文化の違いを超えて相互理解を目指す姿勢を身につけます。
- ●プログラム前半の2年間では語学力の向上と異文化理解に重点を置き、後半2年間では社会のグローバル化に貢献するための専門知識を中心に学びます。
- ●日本人学生は海外協定校への留学や海外インターンシップ、外国人留学生は国内研修や国内企業でのインターンシップを行い、グローバル化の進む社会で活躍できる実践力を身につけます。

日中英の3ヶ国語を駆使して国際舞台へ！ 前西繁成 特任准教授

本コースは、21世紀のグローバル社会で活躍できる国際人の育成を目指します。国際人として活躍するために必要な、多言語による高度な言語運用能力、自文化と異文化の理解力、世界的な視野に立つ思考力、世界の人々との協働による遂行力などを涵養し、国際社会の発展に寄与できる人材を社会に送り出します。

▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目
学部 1年	本コースにおける特色ある教育方法、勉学方法を身につけながら、特に英語・中国語・日本語の運用力を磨きます。グローバル化する世界の現実、国際機関、企業行動、市民社会の変化などについても理解を深めます。	英語討論法、英語コミュニケーション論、開発途上国論、実践中国語演習、国際講座 等（JICA、大手商社OB、OG等の協力による実践的講座あり）
学部 2年	国際的に活躍するために必要な異文化理解マインドの育成を中心として国際コミュニケーション力を磨きます。日本人学生・外国人学生ともに英語を含む二言語の研鑽を深めます。（日本語、中国語等）	異文化理解、対人コミュニケーション論、国際講座 等（JICA、大手商社OB、OG等の協力による実践的講座あり）
学部 3年	日本人学生は海外研修・インターンシップ、外国人留学生は国内研修・インターンシップを行い、実践的な国際社会での対応能力を磨きます。（日本人学生は英語圏や中国語圏への留学が必須です。外国人留学生は日本国内でのインターンシップが必須です。）	海外研修・インターンシップ、国内研修・インターンシップ 等
学部 4年	留学の成果をさらに進展すべく、高度な言語表現力、コミュニケーション力を磨き、国際社会へ巣立つ準備を行います。	実践ビジネス英語、実践ビジネス中国語、海外（国内）研修・インターンシップ報告会 等

卒業後の進路イメージ

- ●本学や他大学の大学院への進学、国際的な企業や組織・団体で多言語能力を活かし、グローバルな視野で活躍できる人材を目指します。

生命・環境人材育成コース Life and Environment Education Program

育成する人材像

生命活動とそれを支える環境についての専門的な知識と様々な研究手法を学びます。そして、自分の考えを社会へ発信する能力を身につけて、人類の健全な生存環境を創り出すことに貢献できるように、学部の枠を超えた豊かな見識を持った未来の社会的リーダーを育成することを目指します。さらに、実践的な研究体験型教育によって、大学院進学も視野に含めた高度な研究活動をサポートします。

教育の特色

- ●専門知識と自分の考えを論理的に伝える表現力と英語力の育成
- ●基礎教育と実践的な体験型教育、英語理解力の習熟を促す教育
- ●生物資源の育成から利用まで活躍する社会的リーダーの育成
- ●研究実践型の高度な生命科学教育と環境教育
- ●大学院進学を含む長期的履修計画で研究経験に富む人材育成

生命の営みと健全な環境を守る未来人に! 永田信治教授

バイオサイエンスという自然科学中心の教育だけでなく、国際情勢に対応でき、地域社会に貢献できるチカラを育てます。さらに国際化に則して、英語を活用した情報発信力を養います。また、生命と環境に関する高度な実践的教育を達成するために、早くから研究室での研究活動に従事します。そして、学会活動や学内外の共同研究を通じて、研究経験に富む研究者・教育者として、社会のリーダーに育ってください。

▶ カリキュラムのイメージ

	履修の流れ	特色ある授業科目など
学部 1年	生命科学と環境に関する基礎知識を身につけ、社会に役立つ専門研究を意識した課題を探求し、様々な最先端研究を学ぶことによって、学習意欲と目的意識を高めます。	生命と環境Ⅰ、英文読解・理解力養成セミナー
学部 2年	様々な研究室を巡回する体験重視な実践教育を通じて、専門的な実験技術から課題解決力まで、優れた研究能力を養います。	研究室インターン実習Ⅰ~Ⅳ、実践英語セミナー、生命と環境Ⅱ
学部 3年	研究室で、余裕を持った研究活動を開始します。また、産官学の試験機関や研究所でのインターンシップや共同研究によって、実践力を培います。さらに学会に参加して最新の研究を学びます。	産官学連携インターンシップ、生命・環境学集中実習、国内学会参加
学部 4年	研究課題の立案や企画力と、後輩に対する指導力を高めながら、成果発表や論文作成を目標に、研究活動を充実させます。	卒業論文演習Ⅰ・Ⅱ、卒業論文、国際学会参加
大学院進学(希望者)	高度な研究活動の推進に加え、産官学の現場で即戦力として社会に貢献できる実力と、理科教育の教員免許の取得や教育現場で役立つ様々な手法の開発力を育てます。	農学専攻・植物医学準専攻、黒潮圏総合科学準専攻など

卒業後の進路イメージ

- ●国や県、市町村にある様々な試験研究機関や行政機関の技術者や研究者
- ●理科及び生命や環境に関わる分野の教育者
- ●バイオ・医薬・食品・化学・農業・環境など様々な分野の民間企業の技術者や研究者

スポーツ人材育成コース Sports Education Program

育成する人材像

人文社会科学部・教育学部・理学部の推薦入試または一般入試の合格者の中から、それぞれの学部での学びに加えて、入学後に副専攻プログラムとしてスポーツ人材育成コースで学ぶことを希望する人を対象に選考します。所属する学部・学科等の専門分野の学びとスポーツ活動を両立させ、さらに副専攻としてスポーツを科学的に学ぶことで、在学中は高知大学のスポーツ活性化を担い、卒業後は国内外においてスポーツ文化の発展に貢献できる人材を育成することを目指します。

教育の特色

- ●それぞれの所属学部・学科の専門分野に加えて、副専攻として運動時の心身の働き、メカニズムについて、スポーツ生理学、スポーツ心理学、トレーニング論を通してスポーツ科学の理論について学びます。
- ●トレーニング実習や専門実技演習Ⅰ~Ⅲを通して実践について学び、競技力の向上を目指します。
- ●スポーツ指導やコーチング理論、地域スポーツクラブの運営について学び、競技の指導能力や地域のスポーツ振興に貢献できる力を身につけます。

文武両道を大学でも実現! 野地 照樹 特任教授

専門分野の学びとスポーツ活動どちらを極めるのも大変な努力と熱意が必要です。こうした文武両道の意思をもつ人材を求めるとともに両立を図れるよう支援していきたいと考えています。

▶ カリキュラムのイメージ

	所属学部学科の卒業に必要な単位 124単位以上	スポーツ人材育成コース24単位
学部 1年	←並行して履修します→	
学部 2年	入学したそれぞれの学部で定められた単位を履修(ゼミナール・研究室配属・資格取得・・・)	専門実技演習Ⅰ トレーニング実習 専門実技演習Ⅱ 専門実技演習Ⅲ スポーツ指導演習 スポーツ生理学 トレーニング論 スポーツ栄養学 スポーツ心理学 などの スポーツ科学の 授業から自由に選択
学部 3年		
学部 4年		

卒業後の進路イメージ

- ●中学校や高等学校の教員となり、部活動の指導者として運動部活動の普及・発展に貢献する。(人文学部・理学部及び教育学部にて教員免許を取得した場合。本コースでは保健体育の教員免許は取得できません。)
- ●民間企業や公務員職に就職し、地域スポーツの指導者や審判員として地域スポーツ活動の普及・発展に貢献する。
- ●海外勤務の場合、日本の伝統スポーツ(剣道など)の普及の一翼を担う。

卒業論文テーマ例

人文社会科学部（仮称）人文社会科学科 人文科学コース

カント哲学における純粋理性の第一アンチノミーについての考察（哲学）／動物愛護における人間の責任（倫理学）／日本の神話・民話における異類婚姻譚—蛇から狐、狸への変遷について—（宗教学）／大学生のサークル集団におけるリーダーシップ行動と組織コミットメントの関係（心理学）／失恋後の態度および感情—復縁動機と未練の検討—（心理学）／丹後・但馬における弥生時代後期の葬送儀礼（考古学）／織田信長への鷹贈与（日本史）／中国古代の簪（東洋史）／イギリスの家事使用人と雇用主（西洋史）／谷崎潤一郎「異端者の悲しみ」成立考（日本近代文学）／『蜻蛉日記』と閨怨詩（日本古典文学）／「マハル・マハス」と「メグル・メグラス」の漢字表記—史的観点から—（日本語学）／*As You Like It*における森と時間の関係性（イギリス文学）/ *Peter Pan*におけるネバーランドの現実性（イギリス文学）/ *Absalom, Absalom!* 論—喪と語りをめぐって（アメリカ文学）

人文社会科学部（仮称）人文社会科学科 国際社会コース

日常的な風景の鑑賞—環境美学の可能性—／19世紀末芸術におけるサロメ表象／ヨーロッパ偏重の論理を探る—松森奈津子著『野蛮から秩序へ』の考察から—／『フランダースの犬』におけるルーベンスの意義とは／Carnaval de Oruroから読み解くボリビア先住民の社会参加への軌跡／米国におけるメキシコ系の就労構造について／日本におけるフェアトレードタウン運動の実態—熊本市の事例を中心に—／日本アニメが中国に与える影響—日中両国アニメ史から考える—／第二言語学習におけるdemotivation（学習意欲喪失・減退）—高校生のアンケート調査をもとに—／『贖罪』における「リアリティ」—歴史と個人の再構築—／Considering the Future of Japan's English Education: A Steiner Education Perspective ／Effective Way of Carrying Messages: Communication in Road Safety Ads

人文社会科学部（仮称）人文社会科学科 社会科学コース

コモンズからアンチコモンズへの転換についてのゲーム理論的分析／農山村地域における共同行為の発言過程の分析／直接支払の農地経営の規模拡大と直接支払の帰着／トレーサビリティに関する研究／日曜市における「生活市」概念の検証／中山間地域における学生参加型地域づくり活動の有効性／高齢者世帯における老後の最低所得補償、農林漁家民宿における品質保証制度の検討／獣被害対策としての食肉流通の現状と課題／地方百貨店の再生法を考える／中小企業の実務における会計基準の適用と会計目的に及ぼす影響／雇用区分撤廃が変える非正規労働者の働き方／衣料品市場における競争環境の変容とアパレル間格差／憲法と民法の規範構造の関係について／自動販売機の設置・管理運営契約をめぐる法的検討／「知る権利」と「人権」の対立がもたらす犯罪報道の変化／児童虐待における援助と子どもの意見表明権／環境団体訴訟と合憲性／コーホート要因法による人口推計結果の推計乖離に関する研究

教育学部　学校教育教員養成課程

教職志望学生の教職アイデンティティ確立を促す心理教育プログラムに関する実践研究（教育科学）／教師が目の前の子どもの教育に従事できる仕組み—アメリカのチャータースクールの可能性に着目して—（教育科学）／学校におけるピア・サポート活動が被援助者の心理的機能に及ぼす効果—メタ分析による検討—（教育科学）／異年齢保育に関する—考察—疑似的きょうだい関係に着目して—（教育科学）／人とのつながりを実感することのできる学級づくり（教育科学）／斎藤隆介「モチモチの木」の研究（国語）／音声言語教育を中心とした伝え合う力育成に関する研究（国語）／過疎地域における祭りの変化と社会的機能（社会科）／児童虐待と法（社会科）／小学校における歴史授業（社会科）／笑いに関する哲学的考察（社会科）／唐代長安における商業発展と雇用労働（社会科）／数学教育における問題解決指導とその教材研究（数学）／中学校における図形の論証（数学）／結び目と不変量（数学）／組み合わせ論について（数学）／外洋棲ウミアメンボの生息と環境因子及び生物量との関係（理科）／室内に放散されるピレスロイド系殺虫剤の二次的な曝露に関する研究（理科）／児童の問題意識が生まれる理科授業構成—「具体」と「抽象」をキーワードとして—（理科）／ The Role of The Roman Alphabet in Foreign Language Activities（英語）／ A Generative Analysis of -ING Constructions in English（英語）／ Difficulties in Mastering English Article Use（英語）／0歳児保育における音楽のかかわり（音楽）／剣道部員の試合前後におけるメンタルコンディションの変化—自己認知を深めることに着目した縦断的調査—（保健体育）／運動・スポーツの価値観と過去の運動・スポーツ経験が現在の運動実施に及ぼす影響に関する研究（保健体育）／逆上がりにおける運動学的—考察—学習過程における運動内観の変容に着目して—（保健体育）／高知大学サッカー部少年少女サッカー教室に関する親の期待と満足度に関する研究（保健体育）／地域の人との交流が子どもの発達に及ぼす影響—高齢者に着目して—（家庭科）／小学校家庭科における家族とのコミュニケーション能力の向上を目指した授業提案（家庭科）／シミュレーションプログラミングからの科学技術教育へのアプローチ（技術）／情報教育及び環境教育を融合した総合的なものづくり題材の開発（技術）

医学部　看護学科

地域で生活する精神障がい者のリカバリーに関する要因分析／看護学士課程4年生が捉える「遺伝医療」／看護系大学生の精神疾患患者に対する考え／看護系大学生の地震発生直後の役割意識／医学部女子学生のおしゃれ意識と学習意欲との関連／大学生の食行動と共食の関連／ K大学看護学生のコース選択の現状と活用できる情報／看護学生の精神障がい者に対するイメージの変容過程／医学部大学生の避妊教育に関するニーズの男女比較／病棟勤務看護職者における腰痛と問題解決能力の実態調査／子育て中の女性看護師の希望するワークライフバランス／看護系大学生の睡眠行動とより良い睡眠の確保に関する研究／看護学生が実習先で困難感を感じる看護技術についての検討／看護学生の対患者とのコミュニケーション能力と日常のコミュニケーション能力の向上推移の調査／グループワークに参加する看護学生がすべき行動／医療専門職を目指す学生のチーム医療の認識に関する研究／看護学生と他学部生の地震に対する防災意識・防災行動の実態とその比較

理学部　理学科

数学コース
アフィン平面と魔方陣／四次フェルマー問題／タイルの形状と配置という観点から見た錯視タイル張り／ある１階の偏微分方程式系の初期値問題／ディリクレの算術級数定理／完全数の一般化／メビウス変換とシュタイナー円族／確率論～確率変数列の極限と収束～／Riemann積分からLebesgue積分へ／単体的複体のホモロジー

物理科学コース
GM-JT冷凍機を利用したヘリウム再凝縮装置の開発／ Webプログラミングによる潮位変動解析／デラフォサイト型酸化物CuLaO2の酸化分解反応と反応速度論／焼結体を目指したNaSn2(PO4)3の水熱合成／フェルミオン間のboson exchange process

化学コース
直鎖アルキルアミド基を有するビス(オキサゾリニル)ピリジン一銅(Ⅱ)錯体を触媒とした反応におけるアルキル鎖長が及ぼす影響／金ナノ粒子アレイによる蛍光増強とバイオセンシングへの応用／縮合多環式炭化水素における置換基効果／水—有機溶媒混合液中における酵素活性に及ぼす溶存成分の役割／有機不斉触媒反応を活用した生理活性天然物の合成

生物科学コース
日本産アシロ科イタチウオ属魚類の分類学的研究／コルポーダ（*Colpoda cucullus*）の休眠シスト形成におよぼす光の影響／渦鞭毛藻*Symbiodinium* sp.の細胞微細構造／ヒジキゴケ（ヒジキゴケ科，蘚類）の繁殖季節／幼虫期における水生昆虫の走光性の有無およびその特性

地球科学コース
房総半島沖黒潮流域におけるヤンガードライアス前後の古海洋変動／高知市鴻ノ森地域に分布する下部白亜系の層序・堆積相と化石群／北西太平洋に分布するマンガンクラストの古地磁気・岩石磁気学的研究—成長速度の検証／マンガンクラストに見られる微細層序と砕屑物組成との関連—シュウ酸不溶解残渣の観察に基づく考察

理学部　応用理学科

情報科学コース
時分割表示方式電子ホログラフィによる再生像の高精細化の研究／植生指標の季節変動の統計学的モデリング — MODIS EVI による四国の植生への適用 —／JNI による GPGPU を利用する粒子法の計算／公開鍵暗号の暗号ツール開発／次数が指定された2色点集合上の幾何交互グラフ描画問題／手話トレーニングマシンの開発

応用化学コース
ペリレン系近赤外蛍光色素の高輝度化に関する基礎／水熱ソフト化学法による(Ba,Ca,Mg)Ti03系配向性薄膜の作製／希硝酸の酸化力の高揚現象によるステンレス・スチールの溶解性／鉄触媒によるGrignardクロスカップリング反応を用いる置換アレン合成法の研究／ポリオキソメタレート錯体の酸化還元特性を利用した抗酸化物質の抗酸化力評価法の開発

海洋生命・分子工学コース
ミダレキクイタボヤBMPが多能性細胞の分化に及ぼす効果／ 環形動物*Capitella* sp.の細胞質型フォスファゲンキナーゼ遺伝子の合成と酵素活性／1,6-エンイン化合物の触媒的酸化的環化反応 —現状と機構的考察—／ミサキマメイタボヤの加齢制御におけるTFAM の役割／ヨツヒメゾウリムシ(*Paramecium tetraurelia*)アルギニンキナーゼ3の基質阻害の解明

災害科学コース
南海地震発生域高知県土佐市蟹ケ池における過去3000年間の津波履歴復元／台風201408号に伴い高知平野で発生した竜巻の解析／マルコフ連鎖モンテカルロ法を用いたプレート収束域の変動様式の推定／野島注水実験における自然電位変動モデルの再構築／沖縄県四万十帯嘉陽層における逆断層と正断層の共存関係／五台山と繁藤の雨滴粒度分布の比較

農林海洋科学部（仮称）　農林資源環境科学科

暖地農学領域
こうち型集落営農組織からみる高知県中山間地域水田農業の展開方向／園芸施設における新たな炭酸ガス施用手法に関する研究／トマト養液栽培における親水性樹脂培地のサイクル性／凍結乾燥したウシ線維芽細胞の長期保存に関する研究／軟Ｘ線照射花粉を受粉した'土佐文旦'の果実および種子発達に関する研究

自然環境領域
太陽光発電システムの性能に関する研究／植物の生理活性物質に関する研究／土着天敵クロヒョウタンカスミカメの生物的防除資材としての有効性の検討／地域連携による硬質小麦の栽培に関する研究／高知県固有植物アシズリノジギクの海岸地適応に関する研究／サワガニの系統進化学的研究／カシノキハダニの雄間闘争とサイズの関係

生産環境領域
騒音軽減のためのポーラスコンクリートの活用／丸太を用いた環境配慮型液状化対策工法の開発／農地・農業・農村（生活）環境の計画・整備・保全／小豆島沿岸における水産資源の再生に向けた基礎的研究／廃水・廃棄物の資源回収型浄化技術の開発／川・湖・海域の水環境の保全・改善に向けた研究

森林領域
スギ花粉症対策品種に関する現状調査と一考察／ディーゼルエンジンにおける樹木精油添加燃料の燃焼効率／オゾンを活用した使用済み紙おむつのリサイクル技術の開発／高知県沿岸部低山帯の森林土壌の撥水性について／放置竹林の資源化と搬出の省力化について／生活型の異なる高木性広葉樹幼木の葉の量的防御について

※農学部農学科国際支援学コース
インドネシア・西カリマンタン州・スカブ村における薬用植物の民族植物学的研究／タイ北部チーク植林地におけるタケ群落下の土壌特性／大豊町東豊永・西峰地区住民の買い物の現状と課題／地図と漁業統計から分析した浦戸湾の変遷／嶺北フィールドに生育するヤマザクラの衰退原因

農林海洋科学部（仮称）　農芸化学科

碁石茶に含まれる3T3-L1脂肪前駆細胞の分化抑制物質／高知県北川村産実生ユズの特性／ポリアクリル酸イオンコンプレックスの開発／イネのマンガン恒常性に関与するCDFファミリータンパク質の解析／草原退化に伴う土壌粘土鉱物含量および組成の変化／ホスファチジン酸を介した植物免疫応答に関与する遺伝子ライブラリーの構築／ラット胚の水/耐凍剤透過性と耐凍剤毒性に対する感受性／新規カラギーナン分解酵素の性状解析／地場産品と野生酵母の特性を活かした発酵種を用いた製パン法／プーアル茶中に含まれる抗酸化物質の解明／イネの抵抗性メカニズムの解明—オカボノアカアブラムシの加害—／マレーシアの定植後年数の異なるアブラヤシ園における土壌の一般理化学性の比較

農林海洋科学部（仮称）　海洋資源科学科

海洋生物生産学コース
高知県内の河川に生息しているコイにおけるコイヘルペスウイルスの保有状況及び体内動態／ブリ稚魚のタウリン要求量／高知県浦ノ内湾の造成カジメ場に出現する魚類の群集構造／形質転換によるボツリオコッセンを生産する海産珪藻株創生の試み／クルマエビクラスタシアニンのパラログ遺伝子に関する研究／熱帯汽水域の放棄養殖池におけるエビ類と魚類の分布パターン

海底資源環境学コース　※分野新設

海洋生命科学コース
海洋産渦鞭毛藻由来の抗がん剤リード分子の化学構造に関する研究／海洋由来放線菌が産生する抗生物質の生合成研究／深海魚の表面に棲む細菌群の研究／海洋由来抗がん剤の活性発現メカニズムの解析／潮間帯の生物多様性調査／環境調和型硫黄化合物合成法の開発及びセレン化合物への応用

教員紹介

所属の表記は平成27年5月1日現在のものです。平成28年4月1日より人文学部は人文社会科学部(仮称)に改組予定です。

役員

理事	櫻井 克年	熱帯土壌学、土壌情報解析学、土壌生態学
理事	深見 公雄	海洋微生物の生態とそれを利用した海洋環境保全・修復

人文学部　人間文化学科

教授	安藤 恵崇	宗教学・近現代の哲学、宗教思想、思想的方向から見た神話学
教授	池田 和夫	人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究
教授	上野 智子	日本語方言・四国地方方言・高知県方言の研究と海岸部地名の研究
教授	大櫛 敦弘	戦国秦漢時代を中心とする中国古代史
教授	大西 宗夫	フランス文学・思想、特にラカンの精神分析の研究
教授	荻 慎一郎	日本近世社会史の研究、日本近世鉱山史、「浦」社会史
教授	小幡 尚	行刑史などを中心とする近代日本刑事政策史研究
教授	加藤 勉	英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究
教授	杉谷 隆	環境問題を地域や自然観・倫理観の問題として考察すること
教授	角 忍	カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する
教授	高橋 克己	ドイツ思想詩:古代ギリシアと西欧:プラトーン主義と教父
教授	高橋 俊	近現代中国の社会・文化研究
教授	津野 倫明	朝鮮出兵・大名長宗我部氏・南海路の研究
教授	福島 尚	日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究
教授	藤吉 清次郎	19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化
教授	武藤 整司	西洋近世哲学史、倫理学、生涯学習論を研究中
教授	山本 秀人	日本語史学、特に漢字の訓、古辞書(漢和辞書等)に関わる研究
教授	吉尾 寛	明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史
准教授	川本 真浩	イギリス、イギリス帝国、コモンウェルス(英連邦)の近現代史
准教授	後藤 拓也	アグリビジネスの地理学的研究
准教授	鈴木 隆司	平安朝文学、おもに和歌・物語・日記文学の研究
准教授	宗 洋	イギリス小説、映像メディア
准教授	田鎖 数馬	谷崎潤一郎研究、芥川龍之介研究、大正期文芸思潮研究
准教授	西尾 美穂	統語範疇とは何か、またそれはどのように変化するのか
准教授	日比野 桂	日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程
准教授	増田 匡裕	様々な対人関係の発達・解消過程のコミュニケーション
講師	宮里 修	東北アジア考古学、弥生・古墳時代の考古学

人文学部　国際社会コミュニケーション学科

教授	岩佐 和幸	グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究
教授	奥村 訓代	デジタル化時代にふさわしい外国語としての日本語教授法研究
教授	小澤 萬記	進化論の日本への影響、比較日本文化論
教授	上岡 克己	アメリカの自然・環境と文化・文学とのかかわりについて
教授	斎藤 昌人	19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン
教授	周 雲喬	異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国語学
教授	遠山 茂樹	情報通信技術(ICT)を利用した地域づくりに関する研究
教授	中森 健二	中国の古代・中世文学、おもに詩文学と詩論の研究
教授	山下 興作	大衆文化論、演劇論、アート・マネジメント
教授	吉門 牧雄	イギリス言語文化、特にロバート・ブラウニングの英詩研究
教授	LINGLEY DARREN SCOTT	異文化間コミュニケーション、英語教授法
准教授	今井 典子	第二言語習得研究より考察する英語教授法および学習法、英語教育
准教授	岩佐 光広	医療に関する人類学的・倫理学的研究、ラオス地域研究
准教授	古閑 恭子	アカン語(ガーナ)の記述研究、ガーナの言語状況の研究
准教授	佐野 健太郎	輸出主導型から内需主導型への経済構造転換における日中比較
准教授	佐野 由紀子	現代日本語の文法
准教授	塩原 俊彦	ロシアをめぐる諸問題
准教授	関 良子	19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について
准教授	中西 三紀	ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究
准教授	藤﨑 好子	音声の自然性・第3言語習得・旧ソ連圏国の言語政策と英語教育
准教授	持尾 伸二	英独の伝承文学、とくにバラッドについて
准教授	森 直人	十八世紀ブリテンの政治・経済思想についての研究
准教授	DOYLE HOWARD BARRY	世界英語、リテラシー教育、外国語(第二言語)の研究
准教授	HARE JOANNA DOROTHY	和英翻訳や解説、特に四国遍路と深沢七郎の文学
講師	OTLOWSKI MARCUS GEORGE	英作文教授法、英語教授法
講師	土屋 京子	18世紀後半から19世紀初頭におけるドイツ語圏の思想や文学
講師	HUG STEFAN	ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語

人文学部　社会経済学科

教授	飯國 芳明	中山間地域における活性化の分析、農業農村政策の国際比較
教授	伊丹 清	金融関係の会計についての研究
教授	緒方 賢一	農山漁村と農林水産法制に関する法社会学的研究
教授	新保 輝幸	黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究
教授	中川 香代	人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究
教授	山内 高太郎	国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究
教授	横川 和博	日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法
准教授	稲田 朗子	医事刑法
准教授	岡田 健一郎	日独公法学における「国家による安全」の意義と問題点
准教授	切詰 和雅	商取引における外観信頼者保護の制度に関する研究
准教授	霜田 博史	ドイツ統一後の連邦財政調整制度
准教授	肖 紅燕	日本と中国の家族研究、田舎回帰と移住、有機農業と慣行農業
准教授	田中 康一	企業の本社等の立地メカニズムに関する研究
准教授	中道 一心	デジタルスチルカメラ産業における地域、国、企業の競争力の分析
准教授	西島 文香	社会保障・社会福祉の提供体制とその政策課題に関する研究
講師	赤間 聡	科学技術の発展およびリスク(原発事故等)とのつきあい方
講師	雨宮 祐樹	金融契約及び企業金融に関する研究
講師	新井 泰弘	知的財産権制度の経済学的研究
講師	海野 晋悟	経済学版ロールプレイングゲームを作る
講師	遠藤 晶久	現代日本の選挙と政党の研究、世論調査方法論
講師	堀 美菜	漁村社会論、水産資源と地域住民のかかわりに関する研究

教育学部　学校教育教員養成課程　幼児教育コース

教授	玉瀬 友美	幼児のことばの理解に関する教育心理学的研究
准教授	川俣 美砂子	保育者のキャリア形成に関する研究
講師	三ツ石 行宏	福祉教育の理論・歴史に関する研究、社会的養護に関する研究

教育学部　学校教育教員養成課程　教育科学コース

教授	岡谷 英明	ドイツの教育人間学に関する研究
教授	藤田 尚文	親子関係、学力問題、触覚・力覚の感性情報処理
准教授	加藤 誠之	思春期問題(主に不登校・非行)に関する現象学―実存主義的理解
准教授	金山 元春	相手の「持ち味」を活かすコミュニケーションの工夫について
准教授	柳林 信彦	アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究
講師	野中 陽一朗	教授学習過程に関する教育心理学的研究

教育学部　学校教育教員養成課程　国語教育コース

教授	北川 修久	書写書道教育の学習方法と古典における表現研究
教授	玉木 尚之	中国古代の芸術観(おもには音楽観)
教授	渡邊 春美	国語科の授業活性化の研究、および国語科教育の歴史の研究
准教授	岩城 裕之	方言語彙の記述および分析と、災害・医療現場での方言利用のあり方について
准教授	武久 康高	平安時代を中心とした物語文学、および古典文学の享受に関する研究
准教授	吉田 茂樹	国語科授業論、表現教育論

教育学部　学校教育教員養成課程 社会科教育コース

教授	遠藤 隆俊	中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史
教授	原﨑 道彦	西洋哲学史(ヘーゲル)、快楽論、リラクセーション論、ダイエット論
教授	藤田 詠司	意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成
教授	藤本 富一	国籍について、外国人の人権について
准教授	柳川 平太郎	近世・近代のドイツを中心とするヨーロッパ史研究
准教授	山﨑 聡	経済思想(ケンブリッジ学派)の研究
講師	中村 努	社会保障の地域格差研究、IT技術を活用した企業や組織の空間行動分析
助教	遠藤 尚	東南アジアの農村と農業の持続可能性に関する研究

教育学部　学校教育教員養成課程　数学教育コース

教授	佐藤 淳郎	可換代数学、とくにネーター環の拡大についての研究
教授	中野 俊幸	数学的認識の記号論的研究および算数・数学学習指導法の研究
教授	山口 俊博	やわらかい幾何学(トポロジー)の研究
講師	加納 理成	微分方程式とその周辺の領域
講師	服部 裕一郎	数学教育における問題解決、およびクリティカルシンキングの研究

教育学部　学校教育教員養成課程　理科教育コース・科学技術教育コース

教授	赤松 直	鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発
教授	蒲生 啓司	環境および生体中の微量生理活性物質の化学分析に関する研究
教授	國府 俊一郎	固体の電子系と原子核を対象にした量子力学多体問題
教授	原田 哲夫	子どもの生活リズム研究、アメンボ類とくに外洋棲ウミアメンボ研究、生物教材開発
教授	普喜 満生	宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション
准教授	伊谷 行	海洋生物(主に甲殻類、二枚貝類)の共生生態、環境教育
講師	草場 実	中等理科授業における学習者の認知と相互作用に関する実践的研究、理科教師開発に関する研究
講師	中城 満	理科における児童生徒の認知過程の研究、学び合いの効果の研究
講師	西脇 芳典	科学捜査のための微量成分分析を用いた犯罪遺留物の起源解明

教育学部　学校教育教員養成課程　英語教育コース

教授	谷口 雅基	英語音声学、音声教育、国際コミュニケーションのための英語教育、異文化理解
教授	那須 恒夫	英語の教授・学習過程、外国語教育の国際比較、異文化教授
准教授	多良 静也	変種英語発音が非英語母語話者の理解に与える影響の研究
准教授	松原 史典	文法理論による様々な言語現象の解明と英語の語法・用法の研究
講師	長谷川 雅世	チャールズ・ディケンズの小説を中心とした19世紀ヴィクトリア朝のイギリス小説の研究

教育学部　学校教育教員養成課程　音楽教育コース

教授	小原 浄二	J.S.バッハを中心とするバロック期の声楽作品の研究
教授	宮田 信司	ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
教授	山中 文(幼児教育コースと兼務)	
		音楽科の授業構成研究、教育内容研究、幼児期の表現活動研究
准教授	高橋 美樹	沖縄のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
准教授	前田 克治	今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究
講師	梶原 彰人	トロンボーンを中心とした管楽器の奏法と、独奏曲、アンサンブル作品の研究

教育学部　学校教育教員養成課程　美術教育コース

教授　金子 宜正　日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
教授　土井原 崇浩　油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
教授　吉光 誠之　木工芸における、指物、挽物、刳物の技法および表現に関する研究
准教授　中村 るい　古代ギリシャ美術の造形表現と美意識の研究
講師　阿部 鉄太郎　塑造による具象彫刻の研究
講師　野角 孝一　日本画における心象表現の追求、及び材料研究

教育学部　学校教育教員養成課程　保健体育コース

教授　神家 一成　スポーツ運動の学習過程および指導過程に関する研究
教授　駒井 説夫　全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
准教授　宮本 隆信　体育授業研究、日本と韓国の体育授業比較研究
准教授　矢野 宏光　スポーツ・身体運動が心理的側面にどのような影響を与えるのか
講師　常行 泰子　運動・スポーツに関する社会調査及びダンス・フィットネスに関する研究
助教　幸 篤武　生活習慣病の予防に関する研究

教育学部　学校教育教員養成課程　技術教育コース・科学技術教育コース

教授　裏垣 博　超音波による工業材料や構造物の非破壊試験・検査
教授　道法 浩孝　ニューロコンピューティング、電気・情報に関する教育
教授　増尾 慶裕　児童生徒の学力を育成するための構成主義学習指導に関する研究
講師　北川 晃　フォトニック結晶における電磁場の伝搬に関する理論的研究

教育学部　学校教育教員養成課程　家庭科教育コース

教授　菊地 るみ子　家庭科教育および生活環境教育に関する理論的・実証的研究
教授　小島 郷子　家庭科教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
教授　田村 和子　被服心理や色彩に関する研究、スポーツウェアや消防服などの被服設計と開発
准教授　森田 美佐　生活経営学・家族関係学・ジェンダー平等に関する研究
講師　柴 英里　健康科学を基盤とした食物学の意義と実践の研究

教育学部　学校教育教員養成課程　特別支援教育コース

教授　喜多尾 哲　知的障害児における学習特性の理解と指導法に関する研究
教授　寺田 信一　脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
准教授　是永 かな子　北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
講師　鈴木 恵太　学習障害など発達障害のある子ども達の理解と指導に関する研究

教育学部　附属教育実践総合センター

准教授　鹿嶋 真弓　教師による自律支援的指導態度に関する研究
准教授　古口 高志　ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
准教授　田邊 重任　道徳教育の方法に関する諸問題の研究
講師　島田 希　授業研究、カリキュラム開発および教師の力量形成に関する研究
講師　横山 卓　子どもの社会化(発達)に関する研究、地域防犯活動に関する研究

理学部　理学科　数学コース

教授　大坪 義夫　非線形評価関数を伴うマルコフ決定過程論とその応用に関する研究
教授　下村 克己　安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
教授　福間 慶明　代数幾何学、特に偏極多様体の不変量による分類とその応用
教授　逸見 豊　代数的および組み合わせ論的方法を用いたトポロジーの研究
教授　諸澤 俊介　複素力学系、クライン群論、フラクタル幾何学
准教授　小野寺 栄治　偏微分方程式、幾何解析
准教授　小松 和志　準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
准教授　土基 善文　非可換代数幾何学、非可換環論
助教　三角 淳　相転移を含む確率モデル

理学部　理学科　物理科学コース

教授　飯田 圭　高密度物質の理論
教授　津江 保彦　強い相互作用する粒子集団が示す物性の理論的研究
教授　中村 亨　超高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
教授　西岡 孝　極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
准教授　加藤 治一　遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
准教授　島内 理恵　燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
講師　仲野 英司　理論物理学:QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など
助教　藤代 史　環境・エネルギー材料の合成および物性評価

理学部　理学科　生物科学コース

教授　石川 愼吾　植生の動態と攪乱地に生育する植物の生活様式の研究
教授　遠藤 広光　魚類の分類・系統学に関する研究
教授　奥田 一雄　植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究
教授　佐々木 邦夫　魚類の形態学的研究
教授　松井 透　コケ植物の分類を中心に、系統、生態、形態等を研究
教授　松岡 達臣　原生動物の環境応答と休眠シスト形成の分子機構
准教授　岡本 達哉　地衣学
准教授　関田 諭子　渦鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構
准教授　峯 一朗　藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
准教授　三宅 尚　植物化石の分析に基づく第四紀の植生史の解明
講師　加藤 元海　山・川・海の生き物を野外調査や論理的思考をとおして解明
助教　比嘉 基紀　植物の分布と環境要因との関連性およびその変化の予測

理学部　理学科　地球科学コース

教授　石塚 英男　太古代大陸地殻の形成プロセスと進化に関する研究
教授　岩井 雅夫　新生代地球表層圏の生物・環境多様性の形成・進化に関する研究
教授　近藤 康生　二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
准教授　中川 昌治　四国付加体のマンガン鉱床、資源鉱物の鉱物学鉱床学
准教授　奈良 正和　地球環境変動下の古環境ならびに古生態系の復元に関する研究
講師　川畑 博　海洋島玄武岩から読み解くマントルの不均質化過程

理学部　応用理学科　情報科学コース

教授　岡本 竜　知識工学と学習科学
教授　豊永 昌彦　組合せ最適解の計算機算法(回路の配置・配線自動化)
教授　中込 照明　量子モナド論、情報多体系、オブジェクト指向、統計
教授　村岡 道明　電子情報機器やLSIの設計方法論の研究、データベースの研究
准教授　伊藤 宗彦　層型空間の開基、多角形の位相的性質
准教授　塩田 研一　暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
准教授　髙田 直樹　高性能計算、GPGPU、計算電磁工学、電子ホログラフィ
准教授　本田 理恵　データマイニング、機械学習、画像認識、惑星情報学
准教授　森 雄一郎　ファジィ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
講師　三好 康夫　学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス
助教　鈴木 一弘　離散数学とその応用(グラフ理論、離散幾何学、情報セキュリティ)

理学部　理学科/化学コース、応用理学科/応用化学コース

教授　藤山 亮治　反応速度および分子軌道計算による有機反応機構、置換基効果解析
教授　北條 正司　非水溶媒環境下における溶存化学種の同定と定量
教授　米村 俊昭　生体関連無機—有機ハイブリッド化合物の開発と作用機序の解明
教授　渡辺 茂　有機—無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
准教授　上田 忠治　新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析
准教授　金野 大助　有機反応化学および量子化学計算による分子構造・反応解析
助教　永野 高志　有機合成化学、有機金属化学、新規触媒的有機分子変換反応の開発
助教　波多野 慎悟　ブロック共重合体の合成と自己組織化を利用したナノ構造体作製
助教　松本 健司　天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発

理学部　応用理学科　海洋生命・分子工学コース

教授　市川 善康　天然物化学、生物有機化学、糖化学に関する研究
教授　川村 和夫　海産動物ホヤを用いた加齢と生殖に関する研究
教授　鈴木 知彦　グアニジノキナーゼの構造、機能および進化
教授　藤原 滋樹　動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子の研究
准教授　中野 啓二　有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
准教授　湯浅 創　酵素の生化学と分子進化
講師　宇田 幸司　酵素の構造と機能の進化に関する研究
講師　砂長 毅　群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究

理学部　応用理学科　災害科学コース

教授　佐々 浩司　レーダー観測と模擬実験による竜巻等突風の発生メカニズムの解明
教授　田部井 隆雄　GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション
教授　村上 英記　地震火山活動に関連する流体の研究、月内部構造の研究
教授　横山 俊治　地震動による四国山地の初期山体変形の解明
准教授　橋本 善孝　沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学・物質—流体相互作用准
准教授　松岡 裕美　浅海底活断層の研究、津波堆積物の研究
講師　村田 文絵　バングラデシュに洪水をもたらす降水システムの研究
助教　藤内 智士　地質調査と数値解析を用いた断層周辺の応力場に関する研究

理学部　附属高知地震観測所

准教授　大久保 慎人　地震観測記録を用いた地震発生機構と地球内部構造の研究

理学部　附属水熱化学実験所

教授　柳澤 和道　水熱反応による機能性材料の合成と廃棄物の処理・処分
准教授　梶芳 浩二　水熱法・電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
講師　恩田 歩武　バイオマス資源から有用な有機化合物に変換する触媒化学

医学部　医学科　解剖学

教授　由利 和也　神経情報伝達系とステロイドホルモン
准教授　大迫 洋治　社会性発現における脳内メカニズムの解析
准教授　冨田 江一　大脳皮質における視覚中枢の発達機序
助教　内田 有希　ステロイドホルモンの体温調節への影響
助教　田中 健二朗　情動や社会性の発達メカニズム
助教　VADYM ZINCHUK　蛍光標識によるタンパク質の相互関係の定量化

医学部　医学科　病理学

教授　降幡 睦夫　ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
教授　李 康弘　発がんのメカニズムとその遺伝的修飾の研究
准教授　倉林 睦　VHL遺伝子と糖代謝

助教 井口 みつこ 人体病理
助教 長沼 誠二 食道ガンの浸潤転移のメカニズム
助教 和田 倫子 人体病理

医学部 医学科 生理学(統合生理学)

教授 椛 秀人 絆の神経生物学
准教授 谷口 睦男 香り・フェロモンを感知する脳の仕組み
助教 村田 芳博 化学感覚情報に基づく記憶形成のメカニズム

医学部 医学科 生理学(循環制御学)

教授 佐藤 隆幸 医療機器の開発と事業化支援
准教授 池田 哲朗 心不全時の自律神経系の制御機構
助教 有川 幹彦 自律神経の心筋保護作用に関する研究

医学部 医学科 生化学

教授 本家 孝一 遺伝子を超えた生命の不思議―生体膜のダイナミズムとはたらき
准教授 戸田 勝巳 エストロゲンの生理作用の解析
助教 久下 英明 神経分化に関わる生理活性脂質
助教 宮原 馨 糖脂質の細胞内輸送とその制御

医学部 医学科 遺伝子機能解析学

教授 麻生 悌二郎 遺伝子発現調節と生命現象(発生、分化、発癌等)との関連の解明
助教 安川 孝史 転写伸長因子の発生・分化における役割の解明、タンパク質修飾

医学部 医学科 生体分子構造学

教授 関 安孝 天然変性タンパク質の構造と機能発現メカニズムの解明

医学部 医学科 薬理学

教授 齋藤 源顕 下部尿路・性殖器の薬理学
准教授 清水 孝洋 脳内大麻によるストレス反応制御機構の解明
助教 東 洋一郎 目指せ! 高次脳機能障害患者の救済
助教 清水 翔吾 脳内神経伝達事項による排尿機能メカニズム

医学部 医学科 微生物学

教授 大畑 雅典 ウイルス感染による発がん、微生物と血液疾患の関係、血液腫瘍の病態解明
准教授 松崎 茂展 バクテリオファージを利用する細菌感染症制御法の開発
助教 村上 雅尚 腫瘍ウイルスによる発がんおよび癌転移抑制蛋白による制御メカニズムの解明

医学部 医学科 寄生虫学

准教授 是永 正敬 寄生虫病学、寄生虫感染防御機構の研究

医学部 医学科 免疫学

教授 宇高 恵子 T細胞認識・抗腫瘍免疫
准教授 清水 健之 免疫反応の調節や成熟のメカニズムの解明
助教 小松 利広 T細胞の腫瘍内浸潤機構の解明

医学部 医学科 法医学

准教授 古宮 淳一 外傷病理病態、法アルコール学、法医予防医学的研究
助教 中西 祥徳 法医分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)
助教 西村 拡起 法中毒学、法医予防医学的研究、体組織中薬毒物濃度を指標とした病態解析に関する研究

医学部 医学科 医療学(環境医学)

教授 菅沼 成文 産業医学と環境医学、とくに職業性呼吸器病
特任准教授 清澤 秀孔 蛋白質をコードしないRNAとエピジェネティクスに関する研究
講師 弘田 量二 食品機能(トクホ)、PM2.5の毒性、アレルギー予防研究
助教 栄徳 勝光 肺疾患とエピジェネティックスの関連性の研究

医学部 医学科 医療学(公衆衛生学)

教授 安田 誠史 高齢者の介護予防、日本人での生活習慣病予防
講師 宮野 伊知郎 健康長寿および高齢者の在宅生活維持に関する研究

医学部 医学科 医療学(医療管理学)

教授 小林 道也 消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と癌化学療法の臨床試験
講師 岡本 健 大腸癌に対する腹腔鏡手術と化学療法

医学部 医学科 家庭医療学(寄附講座)

寄附講座教授 阿波谷 敏英 地域における医学教育、プライマリ・ケアの医療経済的な意義
准教授 松下 雅英 高齢者におけるインフルエンザワクチン接種後の効果に関する研究
特任助教 森尾 真明 健康促進における地域を基盤とする参加型アクションリサーチ

医学部 医学科 災害・救急医療学(寄附講座)

特任教授 長野 修 災害医学教育、救急医学教育、重症患者管理

医学部 医学科 医学教育創造・推進室

教授 高田 淳 高齢者の心血管疾患に関する研究
准教授 藤田 博一 統合失調症、気分障害の心理教育

医学部 医学科 医学教育創造・推進室、体育

講師 野田 智洋 学習者が運動経過を把握する能力に関する研究

医学部 医学科 消化器内科学・内科(消化器)

教授 西原 利治 肝癌抑止と生活習慣病研究
准教授 岩﨑 信二 原発性胆汁性肝硬変・自己免疫性肝炎の病態と治療
講師 耕﨑 拓大 胆膵疾患の先進治療
講師 岡本 宣人 上部消化管の先進医療
助教 小笠原 光成 非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と診断
助教 藤村 靖子 肝がんの診断と治療
助教 廣瀬 享 肝硬変の診断と治療
助教 水田 洋 ピロリ菌遺伝子変異と各種疾患の病態との関連について
特任助教 麻植 啓輔 胆膵疾患の先進治療
特任助教 木岐 淳 悪性胆膵疾患の治療

医学部 医学科 内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)

教授 寺田 典生 腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究
教授 藤本 新平 糖尿病の病態解明、新規治療に関する研究
准教授 西山 充 食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究
講師 堀野 太郎 腎臓病診断のための新規バイオマーカーの開発
講師 田口 崇文 内分泌・甲状腺疾患の画像診断研究と病態解析
助教 井上 紘輔 造影剤腎症における尿中バイオマーカーの研究
助教 島村 芳子 慢性腎臓病における新規バイオマーカーの研究
助教 髙田 浩史 糖尿病における合併症発症の機序の解明と新規治療の開発
助教 谷口 義典 難治性リウマチ性疾患の新規画像診断法と治療法の開発
助教 次田 誠 生活習慣病発症における分子機序の解明と新規治療の開発
助教 中山 修一 肥満患者における食欲調節の解明
助教 平野 世紀 糖尿病における膵β細胞不全および再生の機序の解明
特任助教 緒方 巧二 急性腎障害時における尿細管細胞の再生

医学部 医学科 血液・呼吸器内科学・内科(血液・呼吸器)

教授 横山 彰仁 呼吸器・アレルギー疾患の病態、診断および治療
准教授 窪田 哲也 肺癌の治療
講師 池添 隆之 新規白血病治療法の開発および凝固異常症の病態解明
講師 砥谷 和人 造血器腫瘍の治療
助教 大西 広志 閉塞性肺疾患および間質性肺炎の病態、診断および治療
助教 河瀬 成穂 呼吸器疾患の病態・治療
助教 酒井 瑞 呼吸器疾患の病態・治療
助教 谷口 亜裕子 血液疾患の治療
助教 秋田 慎 呼吸器疾患の病態・治療
特任助教 森 正和 リンパ系腫瘍の診断・治療

医学部 医学科 老年病・循環器・神経内科学・内科(老年病・循環器・神経)

教授 北岡 裕章 虚血性心疾患、心筋症、心不全
教授 古谷 博和 認知症、難治性神経・筋疾患の研究と治療法の開発
准教授 山﨑 直仁 心臓病の身体所見(心音、心機図)
講師 大﨑 康史 パーキンソン病・類縁疾患
講師 久保 亨 心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発
助教 谷岡 克敏 虚血性心疾患
助教 馬場 裕一 心筋症・心不全
助教 弘田 隆省 不整脈疾患
助教 森田 ゆかり パーキンソン病・類縁疾患
助教 野口 達哉 動脈硬化性疾患に対する薬物的な血管新生の誘導

医学部 医学科 小児思春期医学・小児科

教授 藤枝 幹也 免疫抑制状態と感染症
准教授 久川 浩章 小児癌に対する免疫療法、化学療法後の免疫能
講師 堂野 純孝 小児悪性疾患患者の免疫能について
講師 松下 憲司 合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達
助教 石原 正行 小児腎疾患と腎再生について
助教 大石 拓 アレルギー疾患の患者教育の方法について
助教 菊地 広朗 GVHDの予防と治療について
助教 三浦 紀子 超低出生体重児の循環管理
助教 山本 雅樹 先天性心疾患および不整脈、心臓電気生理に関する研究

医学部 医学科 神経精神科学・精神科

教授 森信 繁 うつ病の病態解明と新規診断法の開発
准教授 下寺 信次 精神疾患の心理教育と国際共同研究、中高生のメンタルヘルス
講師 上村 直人 認知症と自動車運転

助教	赤松 正規	一般精神医学
助教	掛田 恭子	精神腫瘍学、緩和医療、リエゾン精神医学、医学教育
助教	永野 志歩	発達障害児への支援、女性心身医学
特任助教	須賀 楓介	うつ病の病態解明、高知県における自殺予防対策
特任助教	土居 江里奈	一般精神医学
特任助教	岩河 千栄	一般精神医学

医学部　医学科　皮膚科学・皮膚科

教授	佐野 栄紀	乾癬、皮膚癌、膠原病、アトピー性皮膚炎
准教授	中島 喜美子	乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究
講師	中島 英貴	メルケル細胞癌のポリオーマウイルス
助教	大湖 健太郎	乾癬、掌蹠膿疱症におけるケモカインの動態
助教	志賀 建夫	乾癬における生物学的製剤の作用機序
助教	高石 樹朗	乾癬発症に関わる分子機構の解明、上皮細胞の生物学
助教	山本 真有子	関節症性乾癬
特任助教	寺石 美香	皮膚リンパ腫

医学部　医学科　放射線医学・放射線科

教授	山上 卓士	インターベンショナル・ラジオロジー、画像診断
講師	濱田 典彦	胸部画像診断における最適液晶ディスプレイの検討
講師	村田 和子	PETおよびMRIを用いた画像診断に関する研究
特任講師	小林 加奈	各種癌治療における低侵襲画像誘導放射線治療の開発
助教	岩佐 瞳	画像診断一般、核医学
助教	田所 導子	心臓CT、心臓MRI
助教	山西 伴明	放射線増感剤併用動脈塞栓療法の開発
助教	宮武 加苗	CT・MRI診断学

医学部　医学科　外科学(外科1)・外科(一)

教授	花﨑 和弘	肝胆膵癌の新規治療、新しい人工膵臓の開発、肝再生医療研究、漢方の薬物動態研究
准教授	杉本 健樹	乳腺・内分泌、遺伝性乳癌・卵巣癌、蛍光法ｾﾝﾁﾈﾙﾘﾝﾊﾟ節生検の応用、ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨ遠隔診断
講師	駄場中 研	乳癌、大腸、消化器一般外科
講師	並川 努	胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術、癌化学療法
助教	沖 豊和	乳腺・内分泌、造影超音波の乳癌への応用
助教	北川 博之	食道、一般外科、食道癌の胸腔鏡手術
助教	坂本 浩一	小児外科、新生児外科
助教	志賀 舞	胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術、一般外科
助教	宗景 匡哉	一般外科
特任助教	小河 真帆	乳腺、内分泌、遺伝性乳癌・卵巣癌
特任助教	宗景 絵里	消化器一般・胃癌

医学部　医学科　外科学(外科2)・外科(二)

教授	渡橋 和政	心臓手術の死角を減らし安全性と確実性を高める技術の開発
准教授	西森 秀明	心臓血管外科治療における脳合併症予防法の確立
講師	久米 基彦	ヒト肺癌細胞株の生物学的特徴に基づく予後予測の試み
講師	栗山 元根	遊離皮弁における再灌流障害について
助教	岡田 浩晋	肺癌の転移リンパ節におけるバイオマーカー検索
助教	近藤 庸夫	選択的冠動脈カニューラの開発
助教	福冨 敬	Shaggy aortaに対する治療デバイスの開発に関する基礎的検討
助教	山本 正樹	確実性を追求する心臓手術のための術中検査システム開発
助教	宮崎 涼平	抗癌剤感受性試験を用いた分子標的薬の効果予測
助教	廣橋 健太郎	肺癌患者における近赤外線光を用いた低侵襲手術法の確立
特任助教	吉田 行貴	乳房再建に関する形態学的研究
特任助教	木原 一樹	心臓血管外科手術における低侵襲手術の検討

医学部　医学科　麻酔科学・麻酔科

教授	横山 正尚	疼痛の機序、周術期管理、集中治療、局所麻酔薬
准教授	山下 幸一	周術期における呼吸・循環・代謝管理に関する研究
講師	河野 崇	周術期に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
講師	北岡 智子	緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
助教	神元 裕子	術後痛の制御、慢性痛の心理社会的要因
助教	矢田部 智昭	周術期血糖管理における人工膵臓の有用性に関する研究
助教	山本 佳子	周術期の呼吸障害に関する研究
特任助教	立岩 浩規	神経障害性痛の病態機序の解明と新規治療法の開発に関する研究

医学部　医学科　産科婦人科学・産科婦人科

教授	前田 長正	①子宮内膜症の謎に迫ろう②臍帯血を用いた再生医療
助教	谷口 佳代	子宮内膜症の謎に迫ろう
助教	都築 たまみ	子宮内膜症の謎に迫ろう
助教	牛若 昂志	バイオイメージングシステムを用いた子宮内膜症免疫担当細胞の動態解析
特任助教	渡邊 理史	周産期災害救急をともに学ぼう

医学部　医学科　整形外科学・整形外科

教授	池内 昌彦	関節・スポーツ関連疾患の診療および関節痛の基礎研究
准教授	武政 龍一	脊椎脊髄病、骨粗鬆症、人工材料、脊柱変形、脊椎スポーツ障害、脊椎低侵襲手術
講師	川﨑 元敬	骨転移や運動器疼痛性疾患に対するMRガイド下集束超音波治療法の開発
助教	公文 雅士	脊椎脊髄病の診断と治療
助教	岡上 裕介	人工関節、関節バイオメカニクス
助教	喜安 克仁	脊椎脊髄病、骨粗鬆症の臨床研究、手術

医学部　医学科　眼科学・眼科

教授	福島 敦樹	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発
准教授	福田 憲	眼アレルギー疾患に対する新しい治療法の開発
講師	岸 茂	眼循環
助教	角 環	角膜結膜疾患、涙道疾患、眼表面再建手術
助教	多田 憲太郎	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	中平 麻美	緑内障、緑内障手術
助教	西内 貴史	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	松下 恵理子	網膜硝子体疾患、加齢黄斑変性の治療
特任助教	石田 わか	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発

医学部　医学科　耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科

教授	兵頭 政光	発声および嚥下の機能解析と治療、嚥下機能の年齢変化
准教授	小林 泰輔	中耳・内耳疾患の病態解析、鼻副鼻腔疾患に対する内視鏡手術
講師	小森 正博	中耳の慢性炎症の病態解明、睡眠時呼吸障害
助教	青井 二郎	頭頸部癌に対する集学的治療
助教	池永 弘之	嗅覚障害および味覚障害の診断と治療
助教	弘瀬 かほり	唾液分泌機能の中枢調節機能
助教	松本 宗一	顔面神経麻痺におけるウイルス動態
特任助教	伊藤 広明	めまいの基礎的臨床的研究

医学部　医学科　脳神経外科学・脳神経外科

教授	上羽 哲也	悪性脳腫瘍の分化制御におけるメチル化CPG結合タンパクMBD1の機能的解析
講師	政平 訓貴	目指せ!再生のための神経細胞分化決定機構の解析!
講師	福井 直樹	3Dモデルを使用した、手術・血管内手術シミュレーション
助教	中居 永一	脳脊髄液減少症診断の臨床研究
助教	八幡 俊男	ゲノム可塑性から悪性幹細胞の弱点を探る
助教	川西 裕	悪性脳腫瘍に対する免疫療法
助教	上羽 佑亮	脳卒中後のロボットリハビリテーションの可能性

医学部　医学科　泌尿器科学・泌尿器科

教授	執印 太郎	VHL病癌抑制遺伝子の異常の解析
准教授	井上 啓史	癌浸潤、癌転移、血管新生における分子生物学
講師	鎌田 雅行	尿路上皮がんの新たな診断マーカーとしてのラミニンγ2単鎖の臨床的評価研究
講師	辛島 尚	癌の浸潤、転移に関わる血管新生の役割と抗血管新生治療
助教	蘆田 真吾	遺伝子発現解析に基づく前立腺癌に対する間質の役割に関する研究
助教	佐竹 宏文	前立腺癌の発癌に関わる原因ウイルスの探求
助教	田村 賢司	ホルモン不応性前立腺癌に対する分子標的候補遺伝子の同定と機能解析
助教	深田 聡	腎細胞癌における降圧薬ARBの腫瘍増殖作用の危険性の提唱
特任助教	島本 力	泌尿器癌における新規画像診断の探求

医学部　医学科　歯科口腔外科学・歯科口腔外科

教授	山本 哲也	口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
講師	笹部 衣里	口腔癌におけるHIF-1αの機能解析
助教	北村 直也	口腔癌のセンチネルリンパ節同定法の開発
助教	久保 慶子	口腔カンジダ症の病原因子に関する研究
助教	吉澤 康昌	ナノアパタイトを用いた再生医療に関する研究

医学部　医学科　病態情報診断学

教授	杉浦 哲朗	循環器疾患における生理機能検査の意義
准教授	松村 敬久	臨床検査医学・心臓超音波検査
助教	上岡 樹生	ウィルス発癌・結核感染の検査

医学部　附属病院　検査部

講師	竹内 啓晃	ヘリコバクター関連疾患の病態解析、耐性菌対策、百日咳疫学調査
助教	岡﨑 瑞穂	長寿遺伝子SIRTの分子調節機構の研究

医学部　附属病院　手術部

講師	山﨑 一郎	CGH等の分子生物学的手法を用いた前立腺癌研究
助教	原田 陽介	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発

医学部　附属病院　放射線部

助教	田村 泰治	動脈性出血や悪性腫瘍に対するIVR(インターベンショナル・ラジオロジー)
助教	吉松 梨香	インターベンショナル・ラジオロジー

医学部　附属病院　救急部

特任講師	門田 知倫	いかにして災害関連死をなくすか
特任講師	古田 興之介	神経疾患(特に脳卒中)における再生医療の研究
助教	阿部 秀宏	モニタリングによる周術期輸液管理についての検討

特任助教　濱田 知幸　虚血性心疾患、心不全

特任助教　楊川 寿男　頭部外傷について

医学部　附属病院　輸血部

講師　今村 潤　輸血・細胞治療の研究と臨床応用

医学部　附属病院　集中治療部

講師　穴山 貴嗣　低侵襲肺切除術を支える新技術の開発、気管支インターベンション、抗癌剤感受性試験

助教　井本 明伸　周術期管理におけるアミノ酸の有用性に関する研究

助教　田村 貴彦　重症患者における栄養管理に関する研究

医学部　附属病院　周産母子センター

講師　池上 信夫　周産期（出生前診断）、更年期（ホルモン補充療法）

講師　泉谷 知明　子宮内膜症に関する研究～基礎から臨床まで～

助教　荒木 まり子　小児内分泌疾患、早産児の成長、内分泌機能について

助教　玉城 渉　重症仮死に対する心機能の経時的変化について

医学部　附属病院　リハビリテーション部

助教　永野 靖典　地域医療におけるリハビリテーション医学の研究

医学部　附属病院　総合診療部

教授　瀬尾 宏美　臨床技能トレーニングにおける教授法や評価法に関する研究

准教授　武内 世生　感染対策、臨床推論、HIV感染症、医学教育

講師　小松 直樹　総合診療、プライマリ・ケア／地域医療

助教　北村 聡子　総合診療、心肺蘇生教育、禁煙外来

医学部　附属病院　光学医療診療部

准教授　小野 正文　非アルコール性脂肪性肝疾患の疫学と治療

特任准教授　谷内 恵介　膵臓がんペプチドワクチンの開発

助教　東谷 芳史　下部消化管の診断と治療

医学部　附属病院　病理診断部

准教授　弘井 誠　造血器疾患の臨床病理学的研究

講師　戸井 慎　人体病理

医学部　附属病院　がん治療センター

特任助教　前田 広道　肝臓再生に関わる骨髄細胞の研究

医学部　附属病院　次世代医療創造センター

特任教授　清木 元治　がん細胞の増殖、浸潤、転移の分子メカニズムの解析とがん治療への応用

特任准教授　浅野 健人　臨床試験プロジェクトマネジメント、レギュラトリーサイエンス、データマネジメント

特任准教授　二宮 仁志　情報科学、統計学、データマネジメント、プロジェクトマネジメント

特任講師　田井 麻美　モニタリング、リスクマネジメント、医学研究法規指針

特任助教　藤本 匡志　データマネジメント、医療情報管理、コンピュータエンジニアリング

特任助教　阪口 昌彦　情報科学、統計学、データマネジメント

医学部　附属病院　薬剤部

教授　宮村 充彦　臨床薬理学、天然物化学

医学部　医学科　英語

講師　RIBBLE DANIEL BROWNSON　比較音楽学、尺八の国際化に関する研究、英語圏の語源学

医学部　医学科　分子細胞生物学

教授　富永 明　免疫担当細胞・サイトカインによる生体制御機構の解明、海洋生物資源による免疫応答の調節

准教授　久保田 賢　住民の健康づくりを支援する地域統合栄養ケアシステムの構築

准教授　田口 尚弘　造礁サンゴ染色体解析およびDNAマーカー作製、ヒト癌・霊長類・住血吸虫の遺伝子解析

医学部　医学情報センター

教授　奥原 義保　医療情報システム、医療情報データの解析

准教授　畠山 豊　医療情報解析、データマイニング

講師　渡部 輝明　予防医学における医療情報データベースを利用した研究

助教　片岡 浩巳　医療情報データベースからの知識発見に関する研究

助教　中島 典昭　医療情報データベース解析、医療情報システムの研究

医学部　先端医療学推進センター

講師　沈 淵　組織幹細胞の分化増殖および幹細胞を用いた損傷組織の修復、腫瘍免疫

助教　飯山 達雄　医学評価学、トランスレーショナルリサーチ、レギュラトリーサイエンス、データマネジメント

助教　王 飛霏　脳性麻痺モデルに対する臍帯血幹細胞移植の治療メカニズム

助教　馬場 伸育　臍帯血幹細胞の分化増殖能と損傷組織修復のメカニズムの解析

助教　山下 竜幸　組織幹細胞の分化増殖法、保存法の開発、および幹細胞を用いた損傷組織の修復

特任助教　太田 信哉　分子細胞生物学とプロテオミクスによる分裂期染色体構造の理解

特任助教　ABDERRAHIM　NAJI　癌を引き起す組織の解明

医学部　看護学科　基礎看護学

教授　池内 和代　シングルマザーの生きる力に関する研究

教授　栗原 幸男　保健医療データの解析、安心・安全な医療情報利用のしくみの研究

教授　坂本 雅代　へき地の看護に関する研究、看護学教育に関する研究

准教授　森木 妙子　災害看護や看護のマネジメントに関する研究

准教授　石上 悦子　子供虐待の予防に関する研究、助産師の行う乳がん予防に関する研究

講師　岡田 久子　知的障がい児・者の女子の性発達支援に関する研究

助教　下田 真梨子　中堅看護師の離職に関する研究

医学部　看護学科　臨床看護学

教授　高橋 永子　慢性疾患を持つ患者のセルフマネジメント・自己開示に関する研究

教授　溝渕 俊二　自然免疫（身体の抵抗力）を活性化する食品の研究・開発

准教授　大井 美紀　精神障がいをもつ人のリカバリー（自分の人生を歩むこと）支援に関する研究

准教授　山脇 京子　慢性疾患患者のQOL

准教授　松岡 真里　小児在宅ケア・小児緩和ケア・終末期にある子どもと家族に関する研究

講師　青木 早苗　がん看護・緩和ケア・ターミナルケアに関する研究

講師　小松 輝子　助産師学生の感性に関する研究、女性の骨盤に関する研究

講師　高橋 美美　大学生の精神看護技術修得について、対人援助技術（治療的コミュニケーション）に関する研究

講師　濱田 佳代子　妊娠、出産、育児の支援に関する研究

講師　吉村 澄佳　働く女性の健康に関する研究

助教　寺下 憲一郎　がん患者・高齢者の癒し・生きがいに関する研究

助教　竹内 若夏子　NICUで働く看護師の医療安全に対する状況認識

特任助教　渡部 嘉哉　天然物由来成分の機能性に関する免疫学的解析

医学部　看護学科　地域看護学

教授　奥谷 文乃　においや味の情報は脳でどのように処理されているか

准教授　藤田 晶子　病院から在宅への移行期の看護

講師　齋藤 美和　へき地に関する研究、人材育成に関する研究

講師　杉本 加代　高齢者が地域で生活継続するための保健に関する研究

助教　林 昌子　脳卒中高齢者の在宅におけるケアに関する研究

助教　和田 庸平　在宅看護領域の連携やパートナーシップに関する研究

農学部　農学科　暖地農学コース

教授　尾形 凡生　果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発

教授　島崎 一彦　草花の成長制御・組織培養による植物苗の生産・野生植物の生態調査

教授　村井 正之　稲遺伝、良食味、米粉パン用極多収晩生品種、老人・病院用ご飯、鑑賞用稲

准教授　西村 安代　野菜の養液栽培・生理障害・園芸施設の光環境・環境保全型農業

准教授　松川 和嗣　高知県独特の和牛である土佐あかうしの飼養、増頭、保存

准教授　宮内 樹代史　園芸ハウスの環境制御技術の開発、植物生産流通システムの最適化

准教授　宮崎 彰　水稲の高温登熟性・水分生理に関する研究、熱帯有用植物の栽培生理

講師　濵田 和俊　果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明

講師　松島 貴則　労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究

講師　山根 信三　スイカの肉質、水耕栽培によるトマト、果菜の研究

農学部　農学科　海洋生物生産学コース

教授　足立 真佐雄　赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産

教授　大嶋 俊一郎　魚病原因微生物の診断・感染機構・防除法、養殖魚の生産に関する研究

教授　關 伸吾　魚介類の品種改良、野生集団の遺伝的保全に関する研究

教授　森岡 克司　養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用

准教授　足立 亨介　海産無脊椎動物と深海動物を用いたバイオテクノロジー

准教授　中村 洋平　魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態

准教授　深田 陽久　魚類の成長に関する内分泌学的研究、養魚飼料の評価

准教授　山口 晴生　海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明

講師　今城 雅之　魚類病源微生物（ウイルスと細菌）に関する研究

農学部　農学科　食料科学コース

教授　芦内 誠　バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立

教授　康 峪梅　土壌・水の有害金属汚染、草原退化の機構解明と対策

准教授　上野 大勢　高等植物の栄養生理に関する研究

准教授　柏木 丈拡　食品中の生体調節物質の探求、食品の香り成分の有効利用

准教授　島村 智子　食品成分に関する研究、食品の機能性の解明

准教授　村松 久司　産業用酵素の探索・機能解析・応用法の開発

講師　若松 泰介　新規有用たんぱく質の探索、機能解析・構造解析、そして応用

農学部　農学科　生命化学コース

教授　岩崎 貢三　土壌 ― 植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業

教授　枝重 圭祐　動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関わる遺伝子の探索

教授　木場 章範　植物の発病・免疫機構の解明～病気に罹らない植物をつくろう！～

教授　金 哲史　昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究

教授　永田 信治　食と健康と環境に役立つ有用微生物探索と産業利用

教授　曳地 康史　植物細菌・ウイルスと植物の相互作用の解明、植物病害防除技術開発

農学部　農学科　自然環境学コース

教授　荒川 良　天敵昆虫を利用した農林・衛生害虫の防除の研究、害虫管理技術開発

教授　石川 勝美　パン適性小麦、天然資源・麦飯石の高度利用、水の構造化、植物工場

教授　河野 俊夫　流通食品のすり替え偽装防止技術の開発、食品流通資材のリサイクル技術の開発

教授　笹原 克夫　降雨による斜面崩壊発生メカニズム、深層崩壊の発生予測

准教授　伊藤 桂　ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化生態学
准教授　手林 慎一　生理活性物質化学、園芸作物の耐虫性、貯穀害虫の化学生態学
准教授　福田 達哉　マメ科植物の蝶形花を用いた相対性に関する進化発生学的研究
准教授　森 牧人　広域農林生態系の気象環境学的評価

農学部　農学科　流域環境工学コース

教授　原 忠　液状化や斜面崩壊などの地盤災害と地震防災に関する工学的研究
教授　藤原 拓　地球温暖化を考慮した流域水環境管理に関する研究
教授　松本 伸介　農業施設の構造設計、土木材料の新規開発
准教授　齋 幸治　地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善
准教授　佐藤 周之　流域水環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究
准教授　佐藤 泰一郎　中山間地域の水・土・里環境保全、環境型傾斜地農業の推進

農学部　農学科　森林科学コース

教授　大谷 慶人　きのこの生態と栽培、樹木精油の機能、木材・非木材パルプ・紙
教授　後藤 純一　林業機械の開発、林業作業計画のための森林空間情報システムの開発
教授　塚本 次郎　環境・生物多様性保全に配慮した森林管理技術、落葉分解系の空間分布パターン
准教授　市浦 英明　機能紙に関する研究、バイオマス産業廃棄物の再資源化に関する研究
准教授　鈴木 保志　林道・架線、森林作業システム、木質バイオマスの収穫と利用
准教授　古川 泰　地方自治体の林業政策、林業労働問題、南アジア林業
講師　野口 昌宏　中・大規模木質構造や木質部材の開発、木造住宅の地震防災に関する研究
講師　松本 美香　中山間地域における森林管理、林業林産業構造、集落構造

農学部　農学科　国際支援学コース

教授　大谷 和弘　生物活性天然化合物の探索と地域保健への応用
教授　田中 壮太　熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業
教授　益本 俊郎　魚が必要とする栄養素の働きを調べ、餌の開発に利用する研究
准教授　池島 耕　沿岸の環境、水生生物の生態と保全に関する研究
准教授　市栄 智明　樹木の成長や繁殖、環境ストレス応答に関する研究
准教授　松岡 真如　リモートセンシングデータを用いた陸域（土地被覆や植生）の解析
准教授　増田 和也　農山漁村における資源利用と社会変容に関する研究

地域協働学部　地域協働学科

教授　池田 啓実　自律創発型組織の構造特性及びその社会基盤に関する分析
教授　市川 昌広　人や村落の土地利用・森林利用と暮らし、日本の中山間地域問題
教授　上田 健作　非営利組織の機能及び非営利組織の経営に関する研究
教授　受田 浩之　食品成分の分析技術の開発、健康維持成分の検索
教授　内田 純一　成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論
教授　大石 達良　日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究
教授　鈴木 啓之　現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公信用論
教授　玉里 恵美子　中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究
教授　辻田 宏　スポーツ法学、スポーツ政策論、地域スポーツ振興論、スポーツサービスラーニング
准教授　石筒 覚　工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策
准教授　大槻 知史　持続的な地域運営の支援（防災、地域活性、遺産保全）、防災教育
准教授　霜浦 森平　都市農村交流と農村ツーリズムに関する研究
准教授　中澤 純治　産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析
准教授　中村 哲也　地域スポーツ社会学、運動部活論、スポーツと体罰研究
准教授　湊 邦生　地域研究（モンゴル）、モンゴル・東アジアにおける社会意識分析
准教授　吉岡 一洋　グラフィックデザインにおけるマス・イメージの創造
講師　今城 逸雄　地域と協働した教育開発の研究、商店街活性化に関する研究
講師　須藤 順　コミュニティデザイン、地域活性化、ソーシャルビジネス、アイデア創出、場づくり
講師　藤岡 正樹　防災教育、地域防災、避難シミュレーション、社会的起業
講師　俣野 秀典　組織における知の創造、大学教職員の能力開発、ファシリテーション
助教　斉藤 雅洋　市民活動における成人の学びに関する研究、自然環境の共同管理に関する研究

大学教育創造センター

教授　塩崎 俊彦　17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究
准教授　立川 明　科学教育における能動学習の効果,高等教育における能動学習の効果
特任准教授　杉田 郁代　授業の中の学生支援（学生の居場所がある授業づくり）に関する研究
特任助教　竹岡 篤永　インストラクショナル・デザイン、学修コミュニティ、学修支援

アドミッションセンター

准教授　大塚 智子　入試data解析、学力・適性など評価方法の研究
准教授　永野 拓矢　高校と大学の教育接続（進学指導、評価制度等）に関する研究

学生総合支援センター

特任准教授　松尾 寛子　キャリア教育・支援、組織における採用・評価・育成に関する研究
特任准教授　松本 秀彦　特別支援教育、発達障がい者支援、学習困難者への学習支援

教師教育センター

特任准教授　松島 朝秀　科学的手法を用いた文化財資料の調査及び保存環境の研究

全学教育機構（土佐さきがけプログラム担当）

特任准教授　前西 繁成　非営利組織のマネジメント、企業の社会的責任
特任講師　柴田 雄介　マルチメディアを活用した英語音声教育の研究

特任講師　SHARPE MICHAEL JOHN　第二言語習得法・教授法

総合研究センター（理・農学部担当）

教授　上田 拓史　黒潮流域圏の動物プランクトンの分布、生産、分類
教授　木下 泉　魚類の初期生活史および個体発生に関する研究
准教授　平岡 雅規　海藻類の生殖、生態、増養殖に関する研究

総合研究センター（理学部担当）

准教授　斉藤 知己　海洋生物（甲殻類、ウミガメ等）の生態、繁殖、分類に関する研究

総合研究センター（医学部担当）

准教授　坂本 修士　非翻訳RNAの産生変動が及ぼす癌化や筋成熟に関する研究
准教授　津田 雅之　発生工学的手法を用いたマウス生殖細胞確立機構の解明
助教　都留 英美　自然免疫系細胞を中心とした生体防御システムの解析
助教　樋口 琢磨　小分子RNAを介した癌化制御に関する研究

総合研究センター（農学部担当）

教授　大西 浩平　病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明
准教授　加藤 伸一郎　遺伝子工学的手法による含硫化合物生合成系の機能解析
准教授　張 浩　流域における水・土砂災害及び環境保全に関する研究

総合研究センター

特任教授　臼井 朗　海底鉱物資源の形成過程、形成条件の研究
特任教授　岡村 眞　津波堆積物および海底活断層から地震の長期予測を行う
特任教授　小槻 日吉三　有機合成化学、高圧有機化学、天然物合成化学、不斉合成化学

地域連携推進センター（人文学部担当）

准教授　石塚 悟史　産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学

地域連携推進センター（教育学部担当）

特任教授　野地 照樹　サッカーのコーチングと高知大サッカー部の指導研究、サッカーの地域連携推進
特任助教　川田 尚弘　日本サッカーとドイツサッカーのコーチング比較研究

地域連携推進センター（地域協働学部担当）

助教　森 明香　環境社会学、川の文化、大規模開発をめぐる住民運動の基盤と論理

国際連携推進センター（人文学部担当）

助教　GARCIA DEL SAZ EVA　国際交流・協力・支援、海外との産学官民連携の推進

国際連携推進センター（教育学部担当）

教授　林 翠芳　日本語の語彙に関する研究、日中対照研究
准教授　大塚 薫　日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究

国際連携推進センター（農学部担当）

准教授　神崎 道太郎　読解と論述・作文との教授法における関連付け

総合情報センター（理学部担当）

准教授　佐々木 正人　状況に適応したアプリケーションに関する研究
助教　石黒 克也　量子色力学における真空構造の解明、格子上の量子色力学
助教　斎藤 卓也　格子量子色力学理論を用いたハドロン物理の研究

海洋コア総合研究センター（理学部担当）※の教員は、平成28年度より農林海洋科学部（仮称）予定

教授　池原 実　新生代における地球環境システム変動の解明
教授　小玉 一人　古地磁気学・岩石磁気学、および磁性測定全般
教授　津田 正史　海洋微細藻からの有用物質の探索と開発、およびDNP−NMR研究
※教授　村山 雅史　同位体を用いた物質循環の解明と過去の海洋環境復元
※教授　安田 尚登　メタンハイドレート生成やガス生産時における海底地層に及ぼす影響評価
准教授　岡村 慶　海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発
※准教授　山本 裕二　地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明

海洋コア総合研究センター

特任教授　徳山 英一　海底鉱物・エネルギー資源の形成プロセスに関する研究

保健管理センター

教授　岩崎 泰正　ストレスの分子機構解明と肥満・生活習慣病治療への応用
准教授　渋谷 恵子　医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築
講師　北添 紀子　児童期・青年期の精神保健に関する研究

大 学 院（総合人間自然科学研究科）Graduate School of Integrated Arts and Sciences

国立大学法人では日本初！
一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学法人では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。

本研究科の修士課程では、人文社会科学、教育学、理学、医科学、看護学、農学という6つの学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。

博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

履 修 の 特 徴

修士課程

目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修

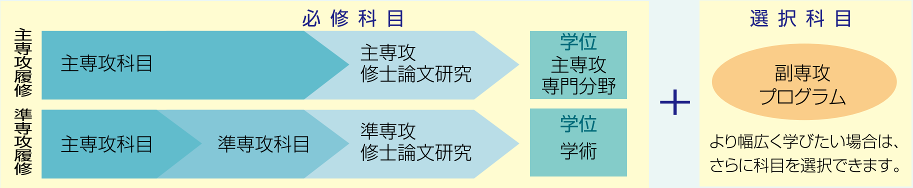
所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得

各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

修士課程の履修システム



<準専攻履修について>

当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養する従来型の教育課程の他に、平成20年度の大学院改組により大学院が一元化となったことを活用した領域横断型の教育を行う「準専攻」が開始され、現在では以下の3つの準専攻履修制度が設けられています。

■**黒潮圏総合科学準専攻**
黒潮流域圏のフィールドを中心に、異分野履修により培った領域横断的かつ文理統合的な幅広い課題探求能力を身につけることを目的としています。

■**植物医学準専攻**
植物科学の広汎な基礎を基礎として、植物の健全な生育と利用に関する最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。

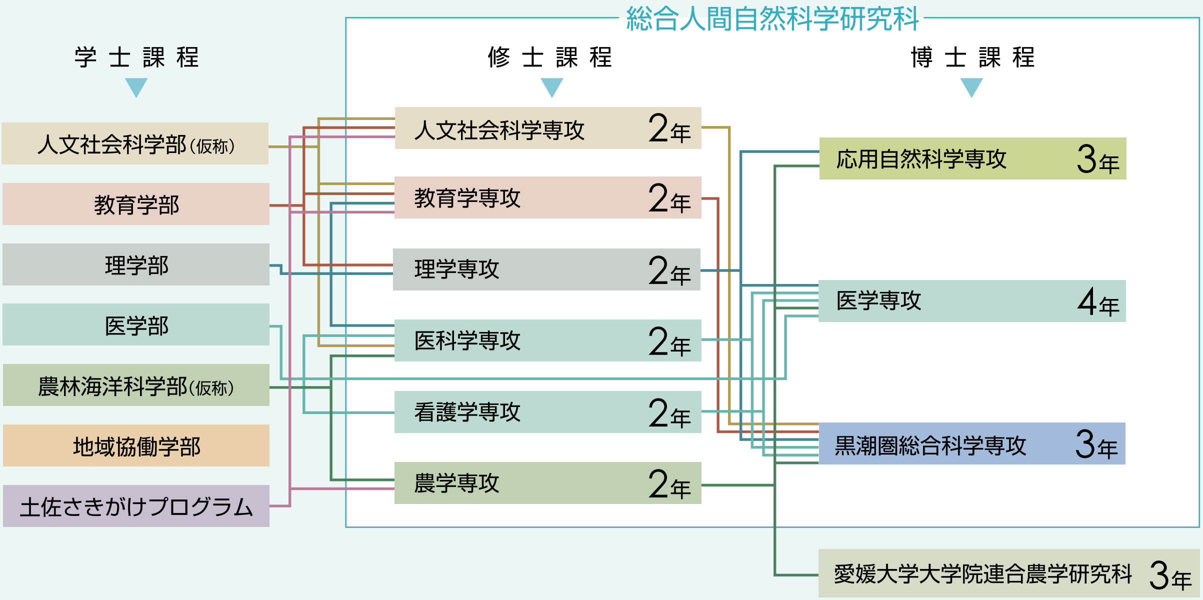
■**海洋鉱物資源科学準専攻**
海洋鉱物資源（レアメタル）をキーワードとした最先端の研究能力を領域横断的に身につけることを目的としています。

<副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意された4つのレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

■**レディーメイド副専攻プログラム例**
「環境科学」「医療福祉学」「高（知・智・地）の科学（ISK）」「現代教育学」

進 学 イ メ ー ジ 図



修士課程

人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保証する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献し得る人材を養成します。

- 人文科学研究コース
- グローバル社会研究コース
- 社会科学研究コース

定員10名

教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的で実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用し発展できる創造的な資質を持った教員を養成します。

- 学校教育コース
- 特別支援教育コース
- 授業実践コース

定員30名

理学専攻

学術研究の高度化、多様化、情報化、グローバル化やIT革命に代表される社会の急激な変化に柔軟に対応できる大学院教育を行います。理学コースでは、数学、物理科学、生物科学、地球科学の諸分野、更に学内・外の研究施設や機関と連携し、多様で創造的な教育・研究を推進し、新しい先端的な基礎理学を創り出すことのできる人材を養成します。応用理学コースでは、情報科学、応用化学、海洋生命・分子工学、災害科学の諸分野において、科学・技術における国際的な激しい競争の中で基礎研究から応用研究までを見据え、高度な課題探求能力を発揮できる人材を養成します。

- 理学コース
- 応用理学コース

定員75名

医科学専攻

近年、先端医療の進歩とともに医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。この状況に的確に対応するために、自然科学のみならず人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。本専攻では、自然科学系学部や人文科学系学部を含む幅広い学部修了者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身につけた医科学分野の研究者、さらには社会的諸問題を医科学を基礎として包括的に捉え得る人材を育成します。

- 医科学コース
- 情報医科学コース
- 環境保健学コース

定員15名

看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身に付けた人間力豊かな人材を養成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身に付けた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者を養成します。

- 看護学コース　定員12名

農学専攻

地域社会及び国際社会の健全な発展に貢献するために「安全・安心な食料の確保」「生物資源の高次有効利用」「地域・地球環境の保全と修復」に関する教育・研究を展開することは、農・林・水産学分野の使命です。本専攻では、多様化した社会の要請や研究分野へ柔軟に対応できる教育システムにより、個々の学生の資質や進路に応じた個別の履修計画に基づく教育を行って、高度な知識と技術を併せ持つ人材を養成します。

- 農学コース　定員59名

博士課程

応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を培います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探求し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋自然科学コース
- 物質機能科学コース

定員6名

医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指し、地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医（良医）を養成します。

- 生命科学コース
- 医療学コース
- 情報医療学コース
- 小児神経精神医学コース

定員30名

黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

- 共生科学コース
- 人間科学コース

定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科　博士課程（後期3年）

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院（3年）です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいうまでもなく、外国人にも門戸を開いています。

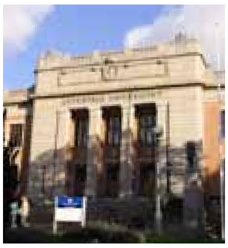
海外へ行って学ぶ

海外に出て行き学ぶことは、語学力や研究力の研鑽はもちろん、異文化理解、国際的視野の獲得、日本文化の発信など様々な意義を持っています。

人生で一番有意義な時間が過ごせた

加藤 航平　人文学部 国際社会コミュニケーション学科4年
（北海道札幌国際情報高校出身）

スウェーデンのイェーテボリ大学に2年次の8月から約1年間交換留学しました。英語は小学生の頃から勉強していて好きだったので、大学に行ったら絶対留学したいと思っていました。イェーテボリ大学では、スウェーデンの教育システムや移民・成人教育、ジェンダーについて学ぶ授業を受けていました。中でも、学校を生徒にとって楽しいものにするにはどうすればいいかを常に考えるスウェーデンの教育理念には感銘を受けました。
授業は全て英語で行われます。英語には自信があったのですが、プレゼンやディスカッションが多い授業に慣れるまでは大変でした。でも、スウェーデンの学生や各国から来た留学生が、勉強をする時間と余暇を楽しむ時間をきっちり分けてメリハリのある生活を送っている姿を見て、僕も短時間で勉強を終わらせる工夫をするようになりました。
大学が休みの間は、ヨーロッパの色々な国に旅行に行きました。大学の外で経験したことや人との出会いも大きな糧となっています。交換留学は、現地で取得した単位を高知大学の卒業に必要な単位として認めてもらえます。僕は、高校の教員免許取得も目指しているので、帰国後も授業がぎっしり。でも、がんばって4年で卒業するつもりです。



留学先DATA
イェーテボリ大学｜スウェーデン

■学部　医学部（歯学部含む）、自然科学部、人文学部、芸術学部、商・法学部、教育科学学部、教員養成学部、IT学部

■概要　イェーテボリ大学の図書館は、スウェーデンでは規模が大きく先進的な図書館の一つであり、およそ14,000冊の電子雑誌や20, 000冊の電子書籍、300のデータベースを所蔵している。

隣りの国なのに新しい発見がたくさん!

留学先DATA
東国大学校｜韓国

■学部　仏教学部、文学部、理学部、法学部、社会科学部、経営学部、工学部、芸術学部、薬学部

■概要　1906年設立の伝統ある仏教系大学。ソウル、慶州にキャンパスを置く。慶州キャンパスには、2009年に竣工した最先端の設備を完備した寮があり、1,500名が居住できる。

野津 志織　人文学部 国際社会コミュニケーション学科4年
（島根県立松江南高校出身）

留学には興味を持っていましたが、実際に韓国に行こうと決めたのは、1年生の時に受けたミニゼミナールで韓国語や韓国の文化や歴史について学んだことがきっかけです。それから渡航までの約半年は韓国語を猛勉強しました。韓国では、半年間現地の語学学校に通った後、大学で日本について学ぶ授業を受講しました。生まれ育った日本のことなのに、初めて知ることも多くてびっくりしましたね。地理的、歴史的に関係の深い日本と韓国ですが、報道など誰かのフィルターを通して聞いたことではなく、実際に自分の目で見たり、直接人から話を聞くことの大事さは、行ったからこそ分かることだと思います。日本に帰ってからも、様々なことに受身ではなく自分の意見を持つようになりました。
韓国留学は、生活費が安く済むのと食べ物がおいしいのがいいところ。私の住んでいた寮はセキュリティもしっかりしていたので治安面での不安は少なかったですね。日本から近いのに、言葉や文化が全く異なる環境に自分を置くことができるので、確実に成長できると思います。私にとっては人生の大きなターニングポイントになりました。

※学生の所属・学年表記は平成27年度のものです。

留学

学生時代の留学は一生の思い出となり、また大きな自信にもつながります。海外留学に少しでも興味があるという方は、ぜひ一度国際交流課のスタッフに相談してください。

分からないことや
不安なことがあったら
何でも国際交流課スタッフに
相談してください。
夢を現実にするチャンスを
一緒につかみましょう!

▶留学の種類

●交換留学　留学先の大学で取得した単位が高知大学の単位として認定されます。留学期間中は高知大学に授業料を納付します。留学先での授業料は必要ありません。期間は1年間のものがほとんどで、4年間での卒業も可能です。

●私費留学　高知大学を休学し、自分の希望する留学先で学びます。休学中は、高知大学の授業料は免除されますが、留学先で授業料等の費用が発生します。

●短期留学　おおむね6か月から1年ほど高知大学が学生の交流に関する協定を結んだ大学で学びます。政府の奨学金制度を利用する場合が多いです。単位互換制度があるものもあります。

▶留学の流れ ― 協定校への留学 ―

留学の種類や期間、行き先によって要件や手続きの流れは異なります。

留学に興味を持ったら → 留学担当窓口や担当教員に相談 → 留学の目的や意思が固まったら → ※英語能力試験受験～スコア通知 → 留学担当窓口へ出願 → 学内選考（面接など） → 派遣決定 → 協定校へ受入依頼 → 受入許可 → 渡航手続き（ビザ取得など） → ※時期は受入大学の学期開始時期による → いざ、留学! → 帰国 → レポート提出、体験談発表など

- 情報収集
- 事前準備（最短2カ月）
- 留学手続き（約半年）
- 留学期間（半年～1年）

※ 英語圏の大学への留学は、英語能力をはかる試験で一定以上のスコアをクリアする必要があります。主にTOEFLかIELTSのスコアが用いられます。

TOEFL

英語を母語としない人の英語能力をはかるテストで、リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングのテストからなります。現在、世界各国の多くの大学がこの試験を受けることを義務づけています。

IELTS

海外留学や研修のための英語力を証明するテストです。英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界中で受験者が増え続けています。

▶海外留学説明会

毎年7月には、協定校への交換留学を希望している学生に対し、手続きや奨学金などについての説明会を開催しています。先輩学生の留学体験談や海外経験豊富な先生からの危機管理についての講義のほか、個別相談も行っています。

▶国際交流基金

高知大学では、国際交流基金という独自の奨学金制度があり、複数の事業で毎年多くの学生を助成しています。そのうちの一つが海外へ留学する学生への奨学事業で、海外の大学で学ぶ日本人学生に奨学金を支給しています。海外で生活するうえでの負担を少しでも軽減しよう、という趣旨のもとで行っています。（実績：平成24年度3人、平成25年度5人、平成26年度6人）

海外実習

留学以外にも、異文化の中に身を置き、世界の実情に触れる機会はたくさんあります。
高知大学では、学部ごとに様々なテーマの海外実習をカリキュラムに組み込み、グローバルな学びを実現しています。

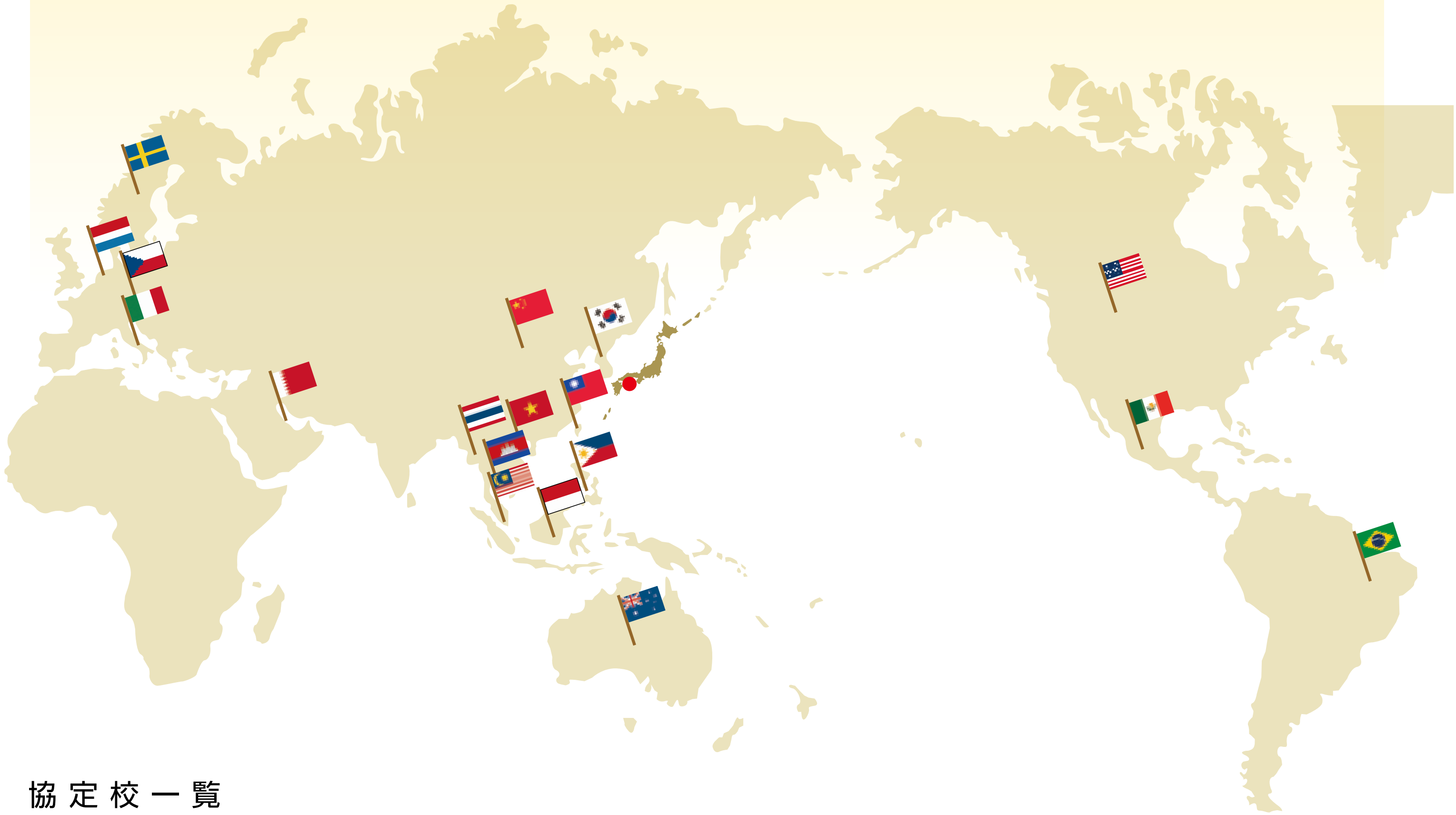
医学部　ハワイ大学医学部臨床実習　医学科　専門科目

ハワイ大学やKuakini Medical Center（ハワイ大学の臨床実習病院）で4週間の臨床実習を経験します。現地医師の指導のもと、はじめに米国式身体診察の研修を受け、その後、17日間の内科病棟実習、次に8日間の家庭医療実習プログラムに参加します。病棟実習では、数多くの症例を経験するとともに、日常的に組み込まれている教育講義を通じて学びます。家庭医療実習では外来診療に加え往診にも同行するなど、異文化が混在するハワイで、医療チームの一員として実践的教育を受けることができる充実したプログラムです。

身体検診を学ぶ

国際交流協定 2015.5.1現在

高知大学では、アメリカや中国など18の国と地域、56の大学、研究所と大学間で国際交流協定を結んでいます。協定校は交換留学先となるほか、毎年たくさんの学生が短期海外研修で高知大学を訪れます。



協 定 校 一 覧

国・地域	協定校
インドネシア	●ブラビジャヤ大学 ●チェンデラワシ大学 ●ボゴール農業大学 ●スリウィジャヤ大学 ●ハルオレオ大学 ●タンジュンプラ大学
カンボジア	●カンボジア工科大学
タイ	●コンケン大学 ●カセサート大学 ●チェンマイ大学 ●タマサート大学
韓国	●漢陽大学校 ●韓瑞大学校 ●金剛大学校 ●白石大学校 ●明知大学校 ●国立慶尚大学校 ●東国大学校
中国	●佳木斯大学 ●陝西科技大学 ●揚州大学 ●中国海洋大学 ●安徽大学 ●瀋陽薬科大学 ●河南大学 ●常州大学 ●天津師範大学 ●南京航空航天大学 ●上海海洋大学 ●北京聯合大学 ●北京外国語大学 ●東北大学秦皇島分校
フィリピン	●フィリピン大学 ●ビコール大学
ベトナム	●ハノイ科学工業大学 ●ハノイ科学大学 ●ハノイ教育大学 ●タイグエン大学
マレーシア	●マレーシアプトラ大学 ●マレーシアサラワク大学
台湾	●国立中山大学 ●東海大学 ●中国文化大学 ●国立嘉義大学 ●国立東華大学
オーストラリア	●クイーンズランド大学
アメリカ	●カリフォルニア州立大学フレズノ校
ブラジル	●南マットグロッソ連邦大学
メキシコ	●国立ポリテクエ科大学 応用研究所 サルティジョ校 ●サルティジョ工科大学
イタリア	●サッサリ大学
オランダ	●ハンゼ応用科学大学
スウェーデン	●イェーテボリ大学
チェコ	●南ボヘミア大学 ●チェコ科学アカデミー昆虫学研究所
バーレーン	●アイルランド王立外科医学院バーレーン医科大学 ●アラビア湾岸諸国立大学

学内で世界に触れる

留学生の受け入れ

リュボミル・ロセノフ・ディミトロフ
Lyubomir Rsenov Dimitrov　ブルガリア出身

2014年4月に高知大学に来ました。留学先として日本の3つの大学が候補にあり、それぞれの大学にメールを送りましたが、高知大学の方からの返信が一番親切で分かりやすかったですね。自然が好きなので、パンフレットやインターネットで、高知は緑が豊かなところを見たことも決め手になりました。一番の思い出は、高知大学でできた長崎県出身の友達と一緒に長崎旅行に行ったことです。グラバー園は日本にあるのに日本じゃないすごく不思議な感じがして印象に残っています。ほかにも日本中いろいろな場所に行きました。どの街も素晴らしいですが、高知に帰って来るとほっとします。第二の故郷のように感じています。

友達と行った長崎旅行。原爆資料館では言葉にならない衝撃を受けました。

ノリディアワティ・ビンティ・アニン
Norlydiawati Binti Anin　マレーシア出身

マレーシアでは学校の先生をしていました。日本の初等教育制度は世界の中でも優れていると評判です。私は特に特別支援教育に興味があり、高知大学で学べる機会を得ました。今は家族（夫・息子）と一緒に高知で生活しています。日本に来るまで、日本語を全く習ったことがなかったので、来たばかりの頃は分からないことだらけ。イスラム教徒の私には、何を食べたらいいかも大問題でした。でも、高知大学のチューター制度で私のチューターになってくれた学生が、ハラル食品を売っているスーパーを教えてくれたり、電車の乗り方を教えてくれたりと、いつでも困ったことがあれば電話して聞くことができたので、今は不自由なく過ごしています。彼には本当に感謝しています。

家族で四国カルストへ。景色がとてもきれいでお気に入りの場所です。

キャンパスで異文化交流

高知大学では、世界21か国154人の外国人留学生が学んでいます。（2015年5月1日現在）授業やサークル、キャンパスで見かけたら思い切って話しかけてみましょう！

カルチャーカフェ

カルチャーカフェは、日本人、外国人、学生、先生、誰でも参加OKなカフェです。みんなでお茶を飲みながら、国際交流を楽しみます。みなさんも入学したらぜひ一度、カフェに顔を出してみてください。

活用しよう！

OASIS（自律学習支援センター）

語学学習の教材を備えた学習スペース「OASIS」では、IELTS対策講座やTOEIC対策講座のほか日本人学生と留学生の交流活動を支援しています。
（OASISについては66ページをご覧ください。）

▶パートナーシッププログラム

外国語を学びたい日本人学生と日本語の上達を目指す留学生との間で行われているのがパートナーシッププログラム。英語⇔日本語、中国語⇔日本語など、自分の学びたい言語を話す留学生とペアになってお互いの得意な言葉を教え合います。おしゃべりが上達するにつれて、より深い考えや意見を持てるようになります。

▶OASIS英会話クラブ

気軽に英会話を楽しみたいという日本人学生と留学生が、定期的に集まって英語で異文化交流をしています。英語に自信がない人でも、留学経験のある日本人学生や留学生がサポートしてくれます。

教育研究施設 Facilities

学内施設

総合情報センター（図書館）中央館

▶朝倉キャンパス

メディアの森 図書部門／情報部門

外観が特徴的な「メディアの森」。様々な図書や電子ジャーナル、データベースを利用できる図書館としての機能と、高速で安定的なインターネットが利用できるネットワーク機能が備わっています。

▶図書部門

- ●レファレンスカウンター　図書館利用を支援するサービスを行っています。図書館資料の利用方法や情報検索指導、資料の所在調査等の相談に応じるほか、高知大学にない本や論文のコピーなどを学外から取寄せることもできます。
- ●開架閲覧室　蔵書は2階から5階まで分野別に並んでいます。
- ●雑誌コーナー　話題の新刊や一般雑誌も豊富です。
- ●グループ学習室・個人用キャレル　1人用学習スペースと、3人から10人で利用できるグループ学習室があります。

▶情報部門

- ●情報コンセントコーナー　約20箇所の情報コンセントが設置されています。ノートパソコンを接続して、電子メールやWebブラウジング、ネットワークプリンタへの印刷が可能です。
- ●教育端末室　主に各学部の専門授業で利用されています。授業時間外では、自習使用することが可能です。

勉強用なら出力無料

学生の学習を支援するため、学術研究用のプリントアウトは年間上限枚数まで無料です。

総合情報センター（図書館）医学部分館

▶岡豊キャンパス

時計台が目印になる岡豊キャンパスの図書館です。
学習量の多い医学部生のために、閉館時も許可制のカードキーを使用すれば、入退館を可能としています。
また県内の医療関係者を支援し、地域貢献の役割も担っています。

- ●開架閲覧室
- ●グループ学習室・個室
- ●情報検索コーナー
- ●雑誌室

専門図書閲覧室

総合情報センター（図書館）農学部分館

▶物部キャンパス

物部の自然の中にあるアットホームな雰囲気の図書館です。
物部キャンパスに通う学生のみならず、共同研究ならびに近隣の研究者もよく利用する地域に開かれた図書館です。

- ●南・北閲覧室
- ●グループ学習室
- ●情報コンセントブラウズ室
- ●多目的室
- ●雑誌コーナー

南閲覧室

自律学習支援センターOASIS（オアシス）

▶ 朝倉キャンパス

自習コーナー

マルチメディア教室

主に語学についての教材貸出しや自学自習を目的としたスペースで、人文社会科学部管理棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語学習や留学生との交換レッスンなど、自律的な学習を支援しています。

●自習コーナー
メディアの森と並んで利用度の高い学習スペース。キャンパス内は無線LANが整備されており、学生のPC持ち込み利用はもちろん、備え付けのデスクトップPCや館内貸出し用のノート型PCの利用も可能です。映画DVDやDVDプレーヤーも多数あり、常時視聴が可能です。

●マルチメディア教室
定員20名のグループ学習室には各種視聴覚機器やプロジェクターなどが設置されており、TOEIC試験対策講座やグループ学習、授業などにも利用されています。

●個別学習室
●ペア学習コーナー
パートナーシッププログラム（留学生との交換レッスン）や少人数で利用できます。

語学教材は10,000点以上！
IELTS、TOEIC、英検などの各種検定試験対策問題集や、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・韓国語・日本語や日本語教育関連の教材、月刊誌などがそろっています。

海洋生物研究教育施設

▶ 高知県土佐市宇佐

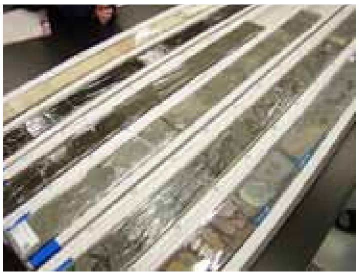
海洋生物学、水産科学およびそれらの学際領域に関する広い分野の研究を行っています。研究・実習用施設、設備、海洋観測機器類（水温・塩分・濁度・溶存酸素・クロロフィル、流向・流速）のほかに海洋調査実習船「豊旗丸」（19t）、「ねぷちゅーん」（5t）を所有し、フィールド調査や飼育実験、臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。主に黒潮に関する共同研究の場となっています。

研究試料となるマダイ、ブリの幼魚を飼育している水槽▶

海洋コア総合研究センター

▶ 物部キャンパス

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的とし、全国共同利用施設として設立されました。2004年から海洋研究開発機構（JAMSTEC）と共同運用を行っています。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際共同研究プロジェクトである統合国際深海掘削計画［2013年10月～国際深海科学掘削計画］（IODP）における世界3大拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定されました。2010年度からも、引き続き地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究を行い、我が国主導の地球掘削科学やその関連分野の拠点化・推進を図ることとしています。



海洋コア試料。海水面変動、地磁気の変化、海流系の変動、水温変化といった過去の地球環境変動が記録されています。▶

理学部附属高知地震観測所 ▶朝倉キャンパス

地震観測や測地計測に基づいて地震の発生、地球の内部構造、地殻変動等に関する研究を行っています。学生の実験実習にも使用されています。

理学部附属水熱化学実験所 ▶朝倉キャンパス

高温、高圧下の水が関与する水熱反応について研究を行っています。また、学生の実験実習にも使用されています。

大学教育創造センター ▶朝倉キャンパス

大学教育創造センターは、①高知大学の教育に関する将来構想とこれを具現化するための企画・提案、②将来構想を実現するためのプログラム開発および教員の職能開発、③各部局による教育課程および授業改善に関する支援・検証・評価を行い、全学的な教育改革の中核としての役割を担っています。

アドミッションセンター ▶朝倉キャンパス

入学者の入学後における動向を、長期間にわたって追跡的に調査・研究・分析し、アドミッション・ポリシーにもとづく入学者選抜方法の妥当性について検証するとともに、それをふまえた広報活動の方策に関する検討を推進しています。また、研究の成果を社会に公表し、入学者選抜方法に関する社会的説明責任を果たすことを目的としています。

学生総合支援センター ▶朝倉キャンパス

学生総合支援センターは、キャリア形成支援ユニット、特別修学支援室、修学支援ユニット、生活支援ユニットを組織して、全学的立場から学生の充実したキャンパスライフ実現のための様々な支援を行っています。また、関連する研究・企画開発・事業実施に取り組み、もって高知大学における学生支援活動の充実・発展に寄与することを目的としています。

教師教育センター ▶朝倉キャンパス

教師教育センターは、高知大学における教員養成機能を統括することによって、教員養成教育の質を保証するとともに、本学以外の高等教育機関及び教育委員会と連携することによって高知県内教員の資質の向上に寄与することを目的としています。

総合研究センター

総合研究センターは、海洋部門、生命・機能物質部門、防災部門からなり、①海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域貢献、②生命・機能物質部門に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域連携、③自然災害発生と防災に関する研究、教育および地域連携の3つの機能を担っています。

- 海洋部門：海洋生物研究教育施設（66ページ参照）
- 生命・機能物質部門：
  遺伝子実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、動物実験施設
- 防災部門：（南海地震防災支援センター）

遺伝子実験施設 ▶物部キャンパス

遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のための施設として重要な役割を果たしています。

実験実習機器施設 ▶岡豊キャンパス

形態系、生化学系、免疫系、生理系の各系に、それぞれの研究分野に必要な大型機器が完備されています。機器使用方法や使用上のルールを説明できる技術専門職員を配置し、施設機器の性能を最大限活かすことのできる体制を整えています。

動物実験施設 ▶岡豊キャンパス

生命科学分野の教育・研究の推進は、実験動物の尊い命の犠牲の上に成り立っています。このことを踏まえ、実験動物に関する基礎知識、人獣共通感染症、動物福祉と生命倫理を中心に教育を行い、今世紀の生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。

地域連携推進センター

▶朝倉キャンパス

地域連携推進センターは、高知大学における教育研究の進展に寄与し、高知大学の有する人的資源、知的資産、施設を活用して、地域との緊密な連携を推進することにより、地域における人材の育成、地域イノベーションの創出、科学の発展、技術開発および産業の活性化に貢献するとともに、地域の振興と維持・発展に資することを目的とします。また、地域ニーズと大学シーズを効果的にマッチングさせる高知大学インサイド・コミュニティ・システム化事業を推進し、地域の大学として、高知県と高知大学が官学一体となり地域の課題解決を進め、地域の課題を組織的かつ機動的に解決するための域学連携教育研究体制の強化に貢献することを目的とします。

国際連携推進センター

▶朝倉キャンパス

国際連携推進センターは、地域とともに学び研究する「知の拠点」として、高知から世界に発信する大学を目指し、国際的な教育と研究の交流、国際協力プロジェクトの企画と留学生の受け入れ・派遣を促進します。基本方針は「①グローカルな国際連携を目指す」「②双方向の国際交流を推進する」「③地球規模の課題に対する国際協力にチャレンジする」の3つで、高知大学の学生と留学生がともに集い、学び合うキャンパスをつくります。

保健管理センター

▶朝倉キャンパス　▶岡豊キャンパス　▶物部キャンパス

朝倉キャンパス 保健管理センター

学生や教職員が健康で安全な大学生活を送れるようサポートしているのが保健管理センターです。何かの時にはすぐに対応できるよう内科の医師と看護師が常駐し※、婦人科の専門医も定期的に診察を行っています。二次対応が必要な場合は、症状に合わせて医学部附属病院や近隣の病院を紹介します。

また近年は身体の健康だけでなく心の健康——メンタルヘルスにも力を注いでおり、精神科の専門医や臨床心理士が、学生や教職員の心の不調や悩みの相談にのれる体制を整えています。

さらに、より積極的に学生の健康増進や病気の予防に関わろうと、食生活や生活習慣も含めたトータルな視点で学生をサポートしているのも大きな特徴です。

※物部キャンパスは看護師のみ常駐

定期的な取り組み

- ●健康診断：全学生対象
- ●特殊健診：実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- ●心電図検査：
  インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- ●骨密度検査
- ●感染症対策、予防接種のチェック
- ●メンタルヘルスに関するアンケート調査：新入生が対象
- ●メンタルヘルス講演会

イベントなど

お料理教室、ヨガ教室、アルコールパッチテストなど

▶組織図

- 学部
  - 人文学部
    - 人間文化学科
    - 国際社会コミュニケーション学科
    - 社会経済学科
  - 教育学部 —— 学校教育教員養成課程
    - 附属施設　附属教育実践総合センター、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校、附属特別支援学校
  - 理 学 部
    - 理学科
    - 応用理学科
    - 附属施設　附属高知地震観測所、附属水熱化学実験所
  - 医 学 部
    - 医学科
    - 看護学科
    - 附属施設　附属病院、附属医学情報センター、附属システム糖鎖生物学教育研究センター、附属先端医療学推進センター
  - 農 学 部 —— 農学科
    - 附属施設　附属暖地フィールドサイエンス教育研究センター
  - 地域協働学部 − 地域協働学科
  - 土佐さきがけプログラム
    - グリーンサイエンス人材育成コース、国際人材育成コース
    - 生命・環境人材育成コース、スポーツ人材育成コース
- 大学院
  - 総合人間自然科学研究科
    - （修士課程）
      - 人文社会科学専攻
      - 教育学専攻
      - 理学専攻
      - 医科学専攻
      - 看護学専攻
      - 農学専攻
    - （博士課程）
      - 応用自然科学専攻
      - 医学専攻
      - 黒潮圏総合科学専攻
  - 愛媛大学大学院連合農学研究科（博士課程後期3年）
    - 生物資源生産学専攻
    - 生物資源利用学専攻
    - 生物環境保全学専攻
- センター
  - 大学教育創造センター
  - アドミッションセンター
  - 学生総合支援センター
  - 教師教育センター
  - 総合研究センター
  - 地域連携推進センター
  - 国際連携推進センター
  - 総合情報センター（図書館）
  - 海洋コア総合研究センター
  - 保健管理センター

※平成27年5月1日現在

キャンパスライフ Campus Life

アプリをダウンロードして スマホで読み込もう
▶詳しくは 90ページ

AR 年間行事

Year Calendar 2015-16

4 Apr.
●入学式
●オリエンテーション
●第1学期授業開始

5 May

各種スポーツ大会イベント

6 June

7 July
●演習林トレイルランニングレース
●医学部附属病院七タコンサート

8 Aug.
●第1学期試験期間

よさこい祭り 8/10・11

9 Sep.
●第2学期履修登録

10 Oct.
●第2学期授業開始
●南風祭（10/10-11）

11 Nov.
●黒潮祭（11/1-2）
●物部キャンパス1日公開

●室戸貫歩

12 Dec.
●医学部体育祭
●学長杯争奪駅伝

1 Jan.
●寒中水泳

2 Feb.
●第2学期試験
●卒論発表会

3 Mar.
●卒業式

Daily Life

高知大生の毎日を教えてください！

わたしがお答えします！

4年生になると、授業は少なくなる分、自分で勉強する時間が増えます。私は、中学・高校の教員免許取得に向けて勉強中。大学の図書館は、勉強するスペースがたくさん設けられているので、みんな上手に利用しています。卒業研究が始まったら、研究室で過ごす時間が長くなります。私の所属しているのは植物生態学の研究室。先輩が採ってきた山菜でパーティーをしたり研究室の仲間とも親睦を深めています。

木織 朱音　理学部4年

広島県 私立福山暁の星女子高校出身

最近のお気に入りの時間は、去年始めたばかりのギターを練習している時。

朝から晩までいろいろ使える学食

ランチはもちろん、研究に行き詰まってひと息入れたい時や、友達と時間を気にせずおしゃべりしたい時は学食によく行きます。実は、1年生の時は食事に気を配っていなかった私。心配したお母さんに言われて、2年生の時はミールカードを使っていました。

「鶏ぽん唐揚げ」は高知大学生協不動の人気No.1！

高知大学生協 IKUS

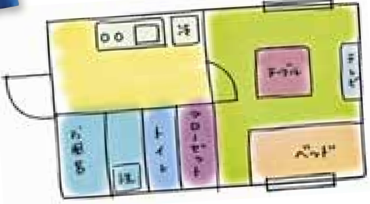
朝倉キャンパスの営業時間（日・祝日休み）
平日：8:00～22:00　土曜：11:00～19:00
※営業時間はキャンパスによって異なります。

ミールカード

ミールカードとは、年間決まった額を先に支払うことで1日1,000円分まで食堂メニューが食べ放題になるカードのことです。"1円朝食"として話題になった朝食250円引きも利用可能。1ヶ月ごとに食事歴のレポートを親御さんに送るサービスもありますよ。

高知には魅力的な人や自然がたくさん！！

部屋の広さは8畳のワンルーム。
私は物をあまり置かない主義なので、スッキリ片付いています。



高知大生の約75％以上が高知県外から来ています

高知に住んでみてどうですか？

Q 一人暮らしって寂しくないですか？ 困ったことはありませんか？

最初は寂しくてお母さんに毎日電話してましたね。でも、すぐに友達ができたのでホームシックにはなりませんでした。料理も苦手だったのですが、今では冷蔵庫の残り物でパパッとご飯が作れるように。一人暮らしを満喫しています。

Q 高知に来て驚いたことはありますか？

冬が意外と寒い（笑）。風邪を引きやすい体質なので、来る前は周りの人から「高知は暖かいから大丈夫だね」と言われて期待していたのですが･･･。南国土佐でもコートは必要ですよ！

Q 高知の魅力は何ですか？

食べ物がおいしい！ 魚が好きなので、新鮮な魚が安く食べられるのはうれしい。高知県は広くて、まだ行ったことがないところがたくさんあります。卒業までに四万十川には行きたい！

相談できる場所があるのはホントに安心･･･

困ったことがあったら

学生何でも相談窓口

履修方法、成績、課外活動、就職、人間関係など学生生活の悩みでどこに相談したらよいか分からない時は、ひとまずこちらへ。気軽に利用してください。

受付時間：8:30～17:15
（土・日・祝日を除く）
☎ 朝倉：088-888-8010
☎ 岡豊：088-880-2529
☎ 物部：088-864-5116
✉ gosodan@kochi-u.ac.jp

保健管理センター

それぞれのキャンパスに医師・看護師（物部キャンパスは看護師のみ）が常駐し、安全な生活をサポート。病気やケガの応急手当てから、健康やメンタルヘルスに関する相談にものっています。友達づくりなどのイベントも行っていますので参加してみてくださいね。

サークル活動

大学生活において学業を人間形成の縦糸とするならば、サークルや同好会での活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横糸のようなもの。同じ時間と思いを共有した仲間は、きっと一生の宝物になるはずです。

Club Activities

全国制覇を目指し、
合言葉は「総力結蹴」!

体育会サッカー部

主将 西岡 大志 教育学部4年
（和歌山県 私立初芝橋本高校出身）

高知大学サッカー部は、2014年度総理大臣杯14年連続24回、天皇杯12年連続19回、インカレ21年連続30回の出場を果たしました。2015年度はさらに高みを目指して部員一同練習に励んでいます。サッカーをする上で大事にしているのが、監督の教えである「基本と自立、フェアプレイ」。毎日の生活習慣や学業・研究といった大学生としての基本がしっかりすることで、自分が何をすべきかが分かるようになり、選手としても成長できます。地域の子どもたちにサッカー指導をする少年少女サッカー教室を開催するなど地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

サークル一覧

体育系サークル

朝倉キャンパス 陸上競技部、水泳部、ヨット部、サイクリング部、Free Climbing Club、ワンダーフォーゲル部、ダンス部、硬式庭球部、ソフトテニス部、体育会サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、男女ハンドボール部、硬式野球部、バドミントン部、アメリカンフットボール部、ソフトボール部、ライフル射撃部、柔道部、剣道部、合氣道部、空手道部、少林寺拳法部、弓道部、洋弓部、体育会卓球部、体操競技部、武道空手部、バスケットボール部、軟式野球部、フットサル部、ラクロス部

岡豊キャンパス 医学部居合道部、医学部合氣道部、医学部空手道部、医学部弓道部、医学部剣道部、医学部硬式庭球部、医学部ゴルフ部、医学部サッカー部、医学部蹴球会、医学部柔道部、医学部準硬式野球部、医学部ダイビング部、医学部卓球部、医学部バスケットボール部、医学部バドミントン部、医学部バレーボール部、医学部ヨット部、医学部ラグビー部、医学部ワンダーフォーゲル部、水泳部、陸上競技部、医学部自転車部

硬式野球部

硬式野球部は現在46名で活動しています。今チームは、神宮大会出場のために「変化」をテーマとして掲げ、「整理整頓・全力発声・全力疾走」を部の決まり事として、全員で取り組んでいます。

陸上競技部

陸上競技部では、陸上競技における技術の向上はもちろん、陸上競技を通しての豊かな人間関係の形成を目指しています。また、高知県内における陸上競技の振興活動、陸上競技を通しての地域貢献なども大きな目標として積極的な活動を行っています。

ワンダーフォーゲル部

私たちワンダーフォーゲル部は春・夏の長期休暇に北に南に日本全国の山・島に旅しています。その他の休日には四国の山々にパーティを組んで登っています。大自然の中、自らの足で渡り歩いています。

大学からは
新しいスポーツ、
デビューして
みませんか?

ラクロス部

南川 遥妃 農学部2年
（和歌山県立桐蔭高校出身）

私たちラクロス部は、夏にある中四国リーグの決勝進出を目標に日々練習に励んでいます。ほとんどの人が大学から始めるスポーツなので、運動神経は問いません。楽しい時もつらい時も仲間とともに汗を流して成長する毎日はまさに青春! ぜひ私たちと一緒に充実したキャンパスライフを送りましょう。

医学部ゴルフ部

高知医科大学設立の頃から続く伝統あるゴルフ部。部員約40名。練習場で週2回の活動のほか、毎週土曜日は黒潮カントリークラブでボール拾い等のお手伝いをする代わりに無料でラウンドさせていただいています。

高知大学のサークル数は100以上！
このほかに個性的な同好会もたくさんあります。
詳しい情報は、高知大学のホームページを
チェックしてみてください！

文化系サークル

朝倉キャンパス　高知大学交響楽団、吹奏楽団、合唱団、ギターマンドリンクラブ、邦楽部、フォークソング部、FOLK FOLK、軽音楽サークルBLUESKY、SEA BREEZE、美術部、表千家不白流茶道部、裏千家茶道部、囲碁将棋部、演劇研究会、天文系サークル星の会、野生生物研究会、ESS、写真部、子ども倶楽部、ニューシネマ☆パラダイス、総合映像研究会、放送研究会JAKKU、園芸部、奇術部Trick or Treat、Hand to hand、文芸創作サークル海老銃、環境サークルESWIQ、防災すけっと隊

岡豊キャンパス　アウトドア・HAM・サークル、医学部アジア僻地医療を支援する会、医学部ESS、医学部囲碁・将棋部、医学部映画研究会、ACLS南国、ACT-K、医学部合唱団、小原流華道部、医学部管弦楽団、医学部漢方研究会（うどん部）、医学部軽音楽部、医学部裏千家茶道部、医学部写真部、医学部ジャズ研究会、医学部ダンス部、医学部天文部、パソコンサークルDOS/V、Peer部、医学部美術部、フィールド医学研究会、高知大学Mental Health Care Club、医学部園芸部、地域医療研究会ARMS、医学部まんが研究部、医学部災害医療研究会

人とは違う
学生生活を
送りたいなら！

奇術部

道﨑 和宏　理学部2年
（兵庫県立飾西高校出身）

奇術部はマジックやジャグリングをみんなで楽しく練習する部活です。テレビで見たすごいマジックや、ボールやボウリングのピンを器用に操るジャグリングを見たことがありませんか？何とそれが自分でできるようになります。さらに自分でできるようになったマジックやジャグリングを保育園や地域のお祭りなどいろんな場所で披露しています。みんなの驚く顔や喜ぶ顔を見られるのはとても楽しいですよ。

交響楽団

主な活動として年に１回定期演奏会を行っています。クラシックだけでなく、ポップスなど様々な曲を演奏することができます！また、弦楽器や木管楽器、金管楽器などを体験することができるので、初心者の方も経験者の方もぜひ一度見学に来てください！

軽音楽部 BLUESKY

「軽音楽部BLUESKY」は部員が明るく積極的に音楽を楽しみ、定期的に大学や高知県内のライブハウスを中心に活動しています。部会も毎週行っています！気軽に遊びに来てください！

裏千家茶道部

自分磨きをしませんか？私たち裏千家茶道部は、毎週火曜日に外部から茶道の先生をお招きしてお稽古をしています。技術だけではなく大人としての振る舞いや気遣いも身につけることができます。気軽に見学に来てください。

環境サークル ESWIQ

私たちは「服の3Rの促進」を目指す環境サークルです。タンスの肥やしとなってしまった服を学生や地域の方々から集め、「服もってけおいてけ市」を開催しています。「人と環境の輪」をテーマに、活動を通じての人とのつながりを大事にしています。

ギターマンドリンクラブ

部長 西 亮祐　理学部3年（埼玉県立蕨高校出身）
（写真 前列右から2人目）

創部57年！
伝統の響き

マンドリンは、イタリア生まれの明るく、とても可愛らしい音色を奏でる弦楽器です。普段の活動では、マンドリンのほかにも、ギターやコントラバスといった楽器でオーケストラ形式で演奏しています。毎年定期演奏会も開催しています。音楽好きはもちろん、音楽は初めてという方でも大歓迎です。

Asakura

朝倉キャンパス

所在地
高知市曙町2-5-1

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
▶詳しくは90ページ

朝倉キャンパス

充実キャンパスで のびのびライフ

1. メインストリート

メインストリートにそびえるワシントンヤシは、キャンパスのシンボル。おしゃれなパラソルの下は、勉強にもおしゃべりにもぴったりの場所です。

2. 高知大学生協 IKUS

朝倉キャンパスの学食にはカフェテリアとベーカリーが併設されています。特に焼き立てパンは種類も多くて大人気！季節ごとのアイデア商品も登場します。

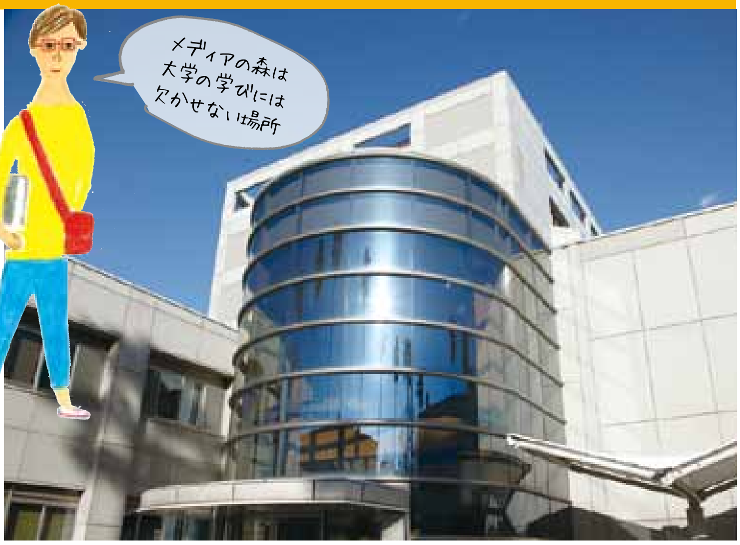
書籍コーナー

コンビニコーナー

ノートパソコンは授業で使うので必携です。生協で購入できますので、お問い合せください。生協では、サポート修理も受付。安心です。

3. hocco sweets
ホッコ・スイーツ

特別支援学校に通う生徒の就労支援の場でもある菓子工房「hocco sweets」。キャンパス内で、絶品ロールケーキや本格ドイツ菓子が食べられるのはここだけかも?!



4. メディアの森

試験前の勉強やレポート作成は「メディアの森」で。
メディアの森とは、朝倉キャンパス総合情報センター（図書館）の愛称です。新聞閲覧コーナーやインターネット広場、グループ学習室など、様々な環境が整っています。資料や専門書も、もちろん、充実。

5. トレーニング室・武道館

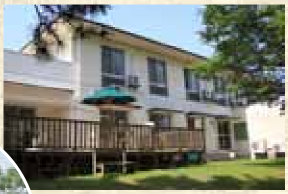
2013年に新設されたトレーニング室と、2014年に完成した武道館。授業でも使用しますが、特にスポーツをしている学生からは、体づくりに役立つと好評です。

学生さんに聞きました！

キャンパス周辺ガイド

周辺はスーパーやドラッグストアが多い住宅街。
学生向けの食堂やカフェも多く、過ごしやすい環境です。

Watching ASAKURA campus



シンボルツリー「おうちの木」

おうち 樗クラブ学生ラウンジ
ほっとステーション

建物の前面にウッドデッキや池のある広い庭があるなど、開放的で明るい空間のフリースペースです。ここちよい風や四季を感じながら、友達とのおしゃべり・ミーティング・ランチ・勉強など自由な時間を過ごしてください。

※樗（おうち）＝センダン

Oko
岡豊キャンパス
所在地
高知県南国市岡豊町小蓮

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
▶詳しくは90ページ

岡豊キャンパス

医学部生は勉強も遊びも真剣！

キャンパス内にある附属病院には、2014年に屋上ヘリポートを備えた新病棟が完成。緊急医療や災害時医療など、地域の期待が大きい病院での実習には自然と身が入ります。

研究施設

勉学編

医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大学医学部の魅力です。

イベント

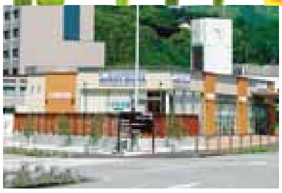
課外活動編

毎年10月に行われる学祭「南風祭」のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭も開催。イベントを通してみんなが仲良くなれます。勉強のストレスも発散できます！

Shop情報

1 学生食堂

2 書店



3 ホスピタルローソン

4 タリーズコーヒー

医学科ロビー

看護学科ロビー

生活編

学食はメニュー豊富でボリュームも満点。さらにリーズナブルなので、一人暮らしにはうれしい味方。キャンパス内には、患者さんのためにつくられたタリーズコーヒーや、ホスピタルローソンもあって便利です！

キャンパスに面した川には
かわせみや鴨もいて、
散歩すると和みますよ。
また、敷地内には附属病院があり
一般の方がたくさん
来られます

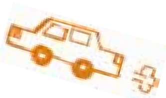
学生さんに
聞きました！

キャンパス周辺ガイド

キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している大津周辺や一宮（御座・薊野）周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

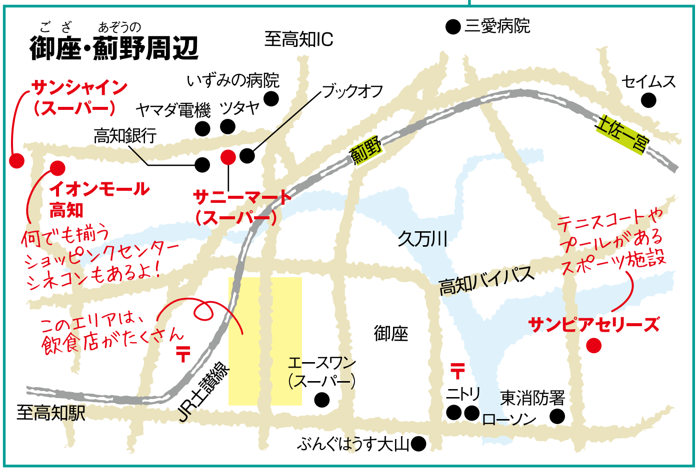
生活エリアは、ほかに南国エリアもあります。

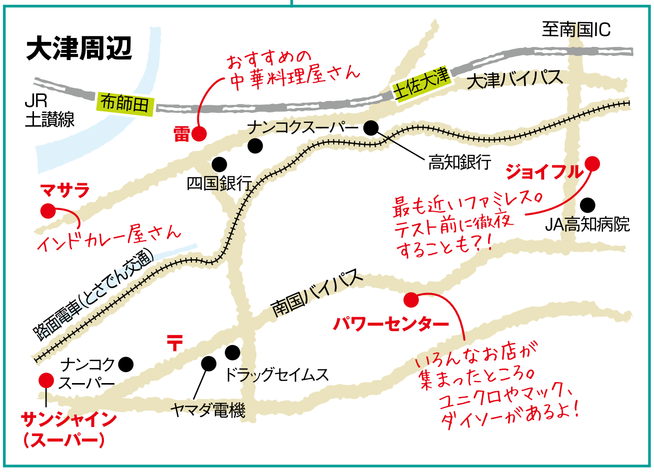
▶詳しくは、物部キャンパス78ページ参照



車通学には、大学からの許可証が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないので、ご注意を。

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。





Monobe
物部キャンパス

所在地
高知県南国市物部乙200

アプリをダウンロードして スマホで読み込もう

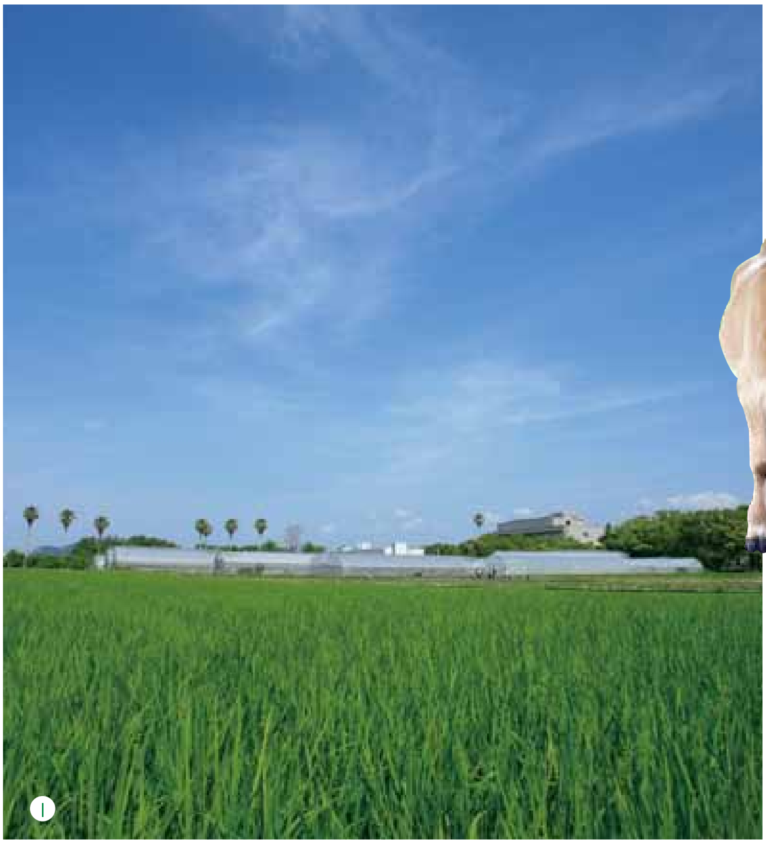
▶詳しくは90ページ

AR 物部キャンパス

広大な農場

教室のすぐ前に広がる農場。ここで栽培されたお米や季節の野菜を構内で販売しています。安くておいしいと評判ですよ。

周囲に海、山、川。大自然がキャンパス



海でも山でも、果ては世界でも！とことん現場に飛び込むのが農学の神髄！

キャンパス内にある農場には、牛がたくさん。構内に農場がある大学は珍しいと思いますよ！

野菜販売

高知全体がフィールド

海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶ最高のフィールドといえます。自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。

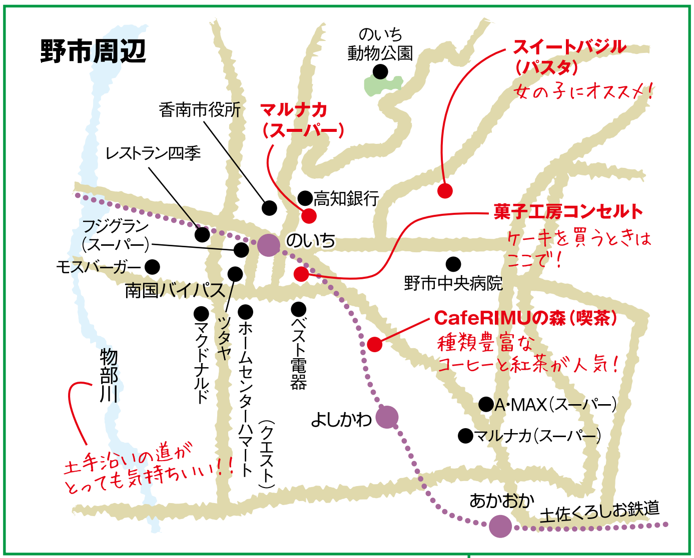
学習・研究・厚生施設

グラウンドやテニスコート、体育館も申請すれば自由に使え、アクティブな生活が満喫できます！

学生さんに聞きました！

キャンパス周辺ガイド

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が大空へと飛び立つド迫力の景色も堪能できます！ 学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



入学料・授業料と奨学金制度について

Entrance fee,Tuition,Scholarship

入学料･授業料

高知大学の初年度納付金は、学部・プログラムに関わらず817,800円です。授業料の納付は、第1学期分については、5月中、第2学期分については11月中と決められていますが、経済的理由により入学料または授業料の納付が困難な場合は、入学料・授業料免除及び徴収猶予の制度があります。

▶初年度納付金 817,800円
（入学料＋授業料）

区分		金額	納入期日
入学料		282,000円	入学手続きの時
授業料	第1学期	267,900円	5月中
	第2学期	267,900円	11月中
	年額	535,800円	

※入学料および授業料について改定が行われた場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

■入学料･授業料に関するお問い合せ先
財務部経理室出納係　TEL 088-844-8125

支援制度

経済的理由による授業料免除及び徴収猶予

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により、入学料の納付が困難である学生は、申請により入学料の全額または半額が免除される場合があります。
また、経済的理由によって、授業料の納付が困難で、かつ学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。

がんばる学生をサポート！

卓越した学業等成績優秀者授業料免除

学業成績が特に優れている学部生・大学院生に対して、各学部、専攻からの推薦により授業料の年額が免除されることがあります。また、大学院生を対象に、授業料年額の4分の1が免除される制度もあります。どちらも推薦時期は、9月を予定しており、各学部・専攻で定めた選考基準により決定されます。

■入学料･授業料減免制度に関するお問い合せ先
学務部学生支援課（入学料･授業料免除担当）　TEL 088-844-8146

奨学金制度

学業・人物ともに優秀で、健康であって経済的理由により学資の支弁が困難と認められる学生は、奨学金制度の申請が可能です。奨学金制度としては、日本学生支援機構の奨学金が主なものですが、そのほかに地方公共団体や民間育英団体等の奨学金があります。

▶日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金には、無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、両方を併用することも可能です。貸与月額は下表に示した中から選択することができます。また、入学時特別増額貸与奨学金制度も利用できます。

（学部奨学生）

種類	貸与月額		備考
	自宅通学	自宅外通学	
第一種	①30,000円 ②45,000円 選択できる	①30,000円 ②51,000円 選択できる	無利子
第二種	①30,000円 ②50,000円 ③80,000円 ④100,000円 ⑤120,000円 選択できる		有利子

▶入学時特別増額貸与奨学金制度

初回基本月額に、10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の利息付奨学金を増額して貸与する制度です。
この奨学金は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を希望したが、融資を受けられなかった世帯の学生を対象とし、第1学年（編入学者の入学年次を含む）において、希望により第1回目振込み時の月額に10万円・20万円・30万円・40万円・50万円を増額して貸与（利息付）を受けることができます。

▶年収・所得の上限額について ［家計の基準について］

- 家計支持者（父及び母、又はこれに代わって家計を支えている者）の年収・所得金額（申込の前年1年分）が対象となります。
- 表の「年収・所得の上限額」は平成27年度に奨学生に採用される場合の額です。
- 表の「年収・所得の上限額」はあくまで目安です。世帯の人数・事情により増減します。
- 「給与所得世帯」の上限額は、源泉徴収票の「支払金額（税込）」です。
- 「給与所得以外の世帯」の上限額は、「確定申告書等の所得金額（税込）」です。

▶奨学金申込資格

第一種奨学金（無利息）

区分	学力（1年次に在学する者）	年収・所得の上限額（4人世帯の目安）	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立	高校2〜3年の成績が3.5以上の者	805万円程度	373万円程度

第二種奨学金（有利息）

区分	学力（1年次に在学する者）	年収・所得の上限額（4人世帯の目安）	
		給与所得世帯	給与所得以外の世帯
国・公立	① 高等学校等における成績が平均水準以上の者 ② 特定の分野において、特に優れた資質能力があると認められる者 ③ 学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められる者	1,121万円程度	689万円程度

■奨学金制度に関するお問い合せ先
朝倉キャンパス　学生支援課　TEL 088-844-8565
岡豊キャンパス　学生課　TEL 088-880-2268
物部キャンパス　物部総務課学務室　TEL 088-864-5113

住居・学生寮

アパートやマンションの情報提供は、朝倉キャンパス及び岡豊キャンパスは高知大学生活協同組合で、物部キャンパスは高知大学生活協同組合と物部総務課学務室の双方で、それぞれ行っています。賃料は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

▶相場の目安

アパート（6畳〜 8畳　1K・ワンルーム）
約25,000円〜約50,000円

生活費の内訳例

アパートで一人暮らしの場合

収 入	
仕送り	50,000円
奨学金	50,000円
計	100,000円

支 出	
住居費	40,000円
食費・光熱費	35,000円
教材費（学費を除く）	2,000円
交通・交際費（携帯電話・インターネット含む）	18,000円
部活動費	3,000円
雑費	2,000円
計	100,000円

■高知大学生活協同組合　TEL 088-844-1501

※高知大学生協では、大学生のための物件情報をホームページでご案内しています。
http://mycoop.jp/kouchi/sumai

南溟寮

かつら寮

ときわ寮

日章寮

学生寮情報

寮名	性別（定員）	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南溟寮	男子 （242人）	約20,000円 （食費含む）	2人部屋（洋室） 3食 食事付 （土・日・祝、長期休暇中はなし）	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約5分
かつら寮	女子 （60人）	約19,000円 （食費含む）	2人部屋（和室） 昼・夕 食事付 （土・日・祝、長期休暇中はなし）	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約10分
ときわ寮	女子 （82人）	約7,500円 別途電気代（自室分）	個室（洋室） 食事なし（自炊設備あり）	朝倉キャンパス正門まで 自転車で約10分
日章寮	男子 （60人）	約9,000円 別途電気代（自室分）	個室（洋室） 食事なし（自炊設備あり）	物部キャンパスに隣接

■学生寮に関するお問い合せ先　学務部学生支援課（学生寮担当）TEL 088-844-8565

高知大学だけの奨学金制度

▶高知大学医学部岡豊奨学会奨学金制度

医学部に在学する学資の支弁が困難な学生（外国人留学生を除く）に対して奨学金を1年間支給するものです。

▶高知大学池知奨学金

農学部農学科森林科学コース（平成28年4月〜農林海洋科学部農林資源環境科学科（仮称））に在学し、将来林業の振興に貢献しようとする学術優秀、志操堅実等であって、学資の支弁が困難で他から奨学資金を受けない学生に対して支給する奨学金です。

▶土佐さきがけプログラム奨学事業

土佐さきがけプログラムの学生で、学業成績等一定の基準を満たした者に対し、グリーンサイエンス人材育成コースの修士課程における留学や授業料、国際人材育成コースにおける留学、生命・環境人材育成コースにおける国内及び国際学会への参加、スポーツ人材育成コースにおける各種競技会への遠征等にかかる経費の支援を行います。

▶国際交流基金

詳しくは、国際交流ページ（62ページ）をご覧ください。

国際交流会館

外国人留学生・研究者専用住居として、平成5年度末に国際交流会館が、岡豊キャンパスと物部キャンパスに設置されました。

岡豊キャンパス

物部キャンパス

学生教育研究災害傷害保険制度

この保険制度は、大学に学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故または通学中の事故により身体に被った被害を救済する災害補償制度です。学生は、安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。

就職活動支援 Career Support

社会への扉を開く

学生の皆さんが実社会に自分の力を発揮できる場を見出し、大きく羽ばたいていけるよう、学生総合支援センターキャリア形成支援ユニットと学務部学生支援課就職室が連携して就職活動をサポートしています。

きめ細やかな就活サポート 就職室を上手に利用しよう!

Support.1

いつでも、どんなことでも、専門スタッフが相談に応じます

就活に漠然とした不安を感じる、進路が定まらない、面接の練習がしたい・・・など何でも気軽に声を掛けてください。スタッフがいつでも相談に応じます。

経験豊富な就職相談員がいるので心強い!

高知大学の就職室にはスタッフ以外にも丁寧に相談に乗ってくれる経験豊富な外部の就職相談員が数多くいます。就職活動は社会状況や雇用状況などの就職環境を知ること、自分自身を知ること、採用する相手先を知ることが基本です。就職相談員は相談以外にも履歴書・応募書類・エントリーシートの添削や個人面接の練習なども行ってくれます。

また、外部相談員以外にも「ハローワーク高知」の大卒ジョブサポーターが常駐していますし、1月からは「ジョブカフェこうち」のキャリア・カウンセラーが大学に来てくれます。このように充実した進路・就職相談体制がありますので気楽に相談に来てください。

▶ 就職相談員からのメッセージ

「自分」の編集をサポートします!

国光 ゆかり 株式会社 南の風社 編集長

編集の仕事は、対象物のいいところを見出して輝かせること。就職活動での自己アピールも、<編集>の視点が活かせます。自分が本来持っているいいところを見つけ出し、整理し、魅力的に表現する…こうした「自分」を編集する作業は、将来の方向性を見つけるヒントになり、他者に自分をアピールする自信にもつながります。

Support.2

今すぐ役立つ、オリジナルガイドブックを配付!

学部3年生と大学院1年生に、就活支援ガイドブック「Ambition」を配付しています。就活の基本的な流れやそれぞれの段階におけるポイント、書類作成や面接のコツなど役立つ情報が満載で、学生に好評です。

Support.3

話題の就活本や、過去の「就職試験報告書」が閲覧できます!

就職室には、話題の書籍や新聞など最新の就活資料がいっぱい! また、就職試験報告書には先輩たちが受けた企業の採用スケジュールや試験内容、ポイントなどが詳細に記録されており、就活生は必見です!

Support.4

インターンシップの窓口として学生と企業をつなぎます

インターンシップには様々な種類がありますが、就職室では皆さんが自分の目的に合ったインターンシップを果たせるよう、情報提供や事前指導を行っています。

インターンシップの種類

- ■学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- ■長期社会協働インターンシップ(CBI) ▶詳しくはP10を参照
- ■正課外で行うインターンシップ(「企業研修(インターンシップ)」として単位認定)
- ■企業が主体となって開設するインターンシップなど

Support.5

大学に来た求人情報もPCや携帯から簡単に閲覧!

大学に届いた求人情報は、「高知大学就職ナビ」からいつでも簡単に確認できます。就職セミナーや会社説明会などの開催情報も学内システム(KULAS)で案内しており、携帯に転送設定しておけば大事な情報も逃しません。

就活力を高めるプログラム

セミナーやガイダンスを活用しよう!

皆さん、ぜひ積極的に
活用してくださいね!

THINKING

何のための就職活動なのかを学生自身が考え、就職活動の目的、意義を見出すことをテーマとしています。

ACTION

多彩な対策講座を開講しています。実際に経験し、そこで得た気づきを次の行動に活かせるようサポートしています。

進路(進学・就職)ガイダンス

外部から講師を招聘しています。講座に参加して“知る”だけでなく、続く演習で“確認”や“発見”を促します。

平成27年度スケジュール

5月 進路ガイダンス入門編Ⅰ(進路の種類、就活スケジュールと選考方法)

インターンシップガイダンス(インターンシップの概要、ビジネスマナー)

6月 進路ガイダンス入門編Ⅱ(自己分析を受診、結果を進路選択に活用しよう!)

10月 進路ガイダンス初級編Ⅰ(社会人としてのマナーやエチケットを知ろう!)

進路ガイダンス初級編Ⅱ(社会人としての着こなしやメイクを知ろう!)

企業就職ガイダンスセミナー

就活力育成ガイダンスと連動しながら、より実践的な対策を行っていきます。

平成27年度スケジュール

6月 「筆記試験突破のために!」(SPI等筆記試験対策)

11月 「書類選考突破のために!」(エントリーシート対策、自己PR法)

12月 「人物評価突破のために!」(面接等人物評価対策、集団討論の実践)

11～2月にかけて金融、保険、食品などの業界研究セミナーを複数回に分けて実施します。

教職・公務員ガイダンス

教員採用試験対策、公務員試験対策で実績のある外部講師を招聘し、ガイダンスを行っています。

平成27年度のガイダンス例

- 一次(筆記)試験対策 「採用試験のスケジュール・選考方法とその傾向を知ろう!」
- 二次(人物評価)試験対策 「人物評価の実際(留意事項や評価の観点)を知ろう!」
- 業界研究セミナー(公務員)
- 人物評価対策(教職)(実践・集団討論)

就活イベント

合宿形式での面接対策や他大学学生との研修など、多彩な内容のイベントを実施しています。首都圏・関西圏の合同会社説明会へのバスツアーや、プロカメラマンによる写真撮影会は学生に人気です。

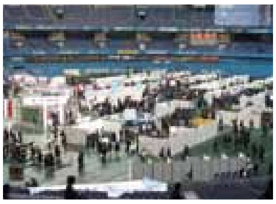
平成27年度のイベント例

- 面接対策指導
- 首都圏での就職対策合宿
- 学内写真撮影会
- 大阪バスツアー

就活生の
強い味方!

首都圏・関西圏・岡山 バスツアー

「希望する地域や、あこがれの企業の会社説明会に参加したい」「でも遠方の地域へ何度も出向くのは、金銭的にも大変…」そこで、高知大学では就活生とご家族を応援するため、首都圏・関西圏・岡山エリアへの格安バスツアーを催行しています。大学内での就活支援にとどまらない県外の各都市へのバス運行サポートシステムは、多くの就活生から非常に好評です。



就職活動Q&A

就職室に聞きました

学生たちの就職活動を最も間近で支えている就職室。そのスタッフに高知大学の就職の「今」について聞いてみました。

Q 県外出身者です。高知県以外の地方や都市圏への就職状況はどうなのでしょうか？

高知大学は全国から多くの皆さんが入学してきます。入学生の約75%（年により若干変動します）は県外出身者です。そのため就職でも首都圏・関西圏や出身の都道府県への就職希望は多く、毎年、7割以上は県外企業等（大手企業を含め、公務員や教員など）に就職しています。「全国から集まり、全国へと羽ばたく」それが高知大学です。大都市圏・地方圏を問わずOBOGが活躍していますので、県外への就職も強いのです。

Q 就活といっても、よくわかりません。大学では就職情報の提供や説明会などは行っているのでしょうか？

高知大学では様々な就職支援を行っている就職室があり、以下のようなサービスを提供しています。**①就職等進路に関する相談　②就職ガイドブックの配布　③就職支援ガイダンスの実施　④就職情報検索用のパソコンの設置　⑤企業の求人票・会社案内の閲覧　⑥公務員試験問題集などの参考図書や雑誌の閲覧・貸出　⑦企業説明会の開催など**です。1年生でも大歓迎ですのでどしどし利用してください。

Q 高知大学には学生の就職支援に携わる人はどのくらいいるのでしょうか？

就職室の専門スタッフの他、各学部の就職委員などを含めると50名以上になり、1学年1,000名規模の大学でこの人数はかなり多いと聞きます。ご安心ください。例えば、県外で就活中に悩みや相談したいことが出てきた場合もメール・電話で対応しています。

Q 高知県外に就職希望です。県外の就活セミナー会場などに行くのは交通費がかかりそうで心配なのですが・・・

就活バスツアーをご利用ください。大学主催で東京・大阪・岡山行きの高速バスをチャーターしており格安料金で現地の合同企業説明会に参加できます。西日本の国立大学で、これらの大都市に学生専用の就活バスを運用しているのは高知大学だけのようです。

Q 教員志望です。教員採用試験対策は行われていますか？

高知大学では教育学部以外の学部にも教員志望者がいます。このため教員採用試験対策として外部講師を招いてのガイダンスの開催・採用面接実践指導、合格者による報告会・座談会や教員を目指す学生のための合宿の開催など様々な支援策を行っています。

Q セミナーやイベント以外に、個別のサポートなどはありますか？

要望にできるだけ対応しています。例えば面接やグループディスカッションの練習がしたいという申し出があれば、相談員が面接官役になって練習することも可能です。あなたのやる気や思いを私たちに伝えてください。

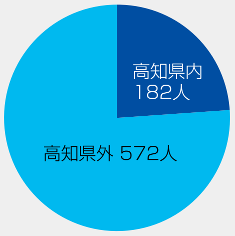
Q 物部キャンパスでのサポート体制はどうなっていますか？

物部キャンパスでは学務室の中に就職担当がおり、セミナーの開催や就職相談を行っています。また朝倉キャンパスで行った全てのガイダンスやセミナーのDVDを物部で視聴できます。

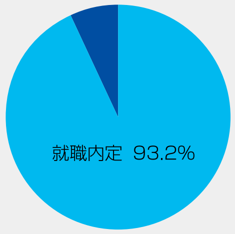
就職関連データ

■グラフ1
就職先の県内外比率
（平成25年度卒業生）

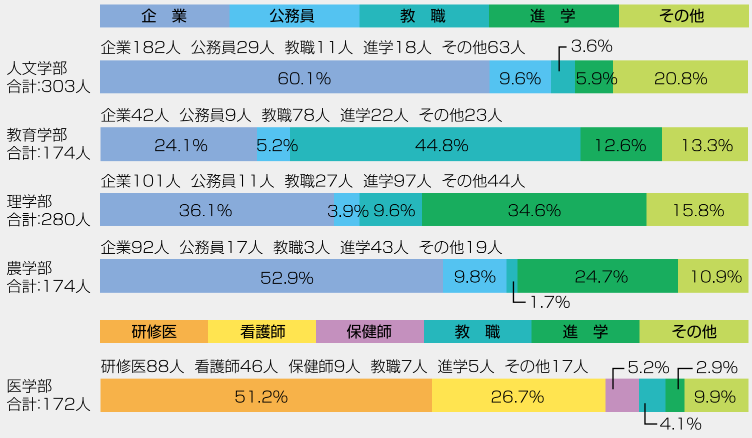
合計:754人



■グラフ2
就職希望者数に対する
就職内定者率
（平成25年度卒業生）



■グラフ3 学部別就職状況（平成25年度卒業生）



先輩たちの就活体験 ～就活ふりかえり座談会～

写真左から

美島 涼　平成25年度 理学部卒業
高知県立高知南高校出身
ニッポン高度紙工業株式会社 内定

三木 さつき　平成25年度 人文学部卒業
香川県立丸亀高校出身
株式会社百十四銀行 内定

于 忠民　平成25年度 人文学部卒業
中華人民共和国出身
株式会社ファーストリテイリング 内定

佐々木 達弥　平成25年度 教育学部卒業
岡山県立倉敷南高校出身
小野薬品工業株式会社 内定

Q1　就職室の支援プログラム、どう活用しましたか？

三木　私は3年生の夏休みに2つの企業でインターンシップを体験しましたが、その行き先を選ぶ段階から就職室にお世話になりました。自分の興味の方向性とマッチングする企業の情報などを相談員さんからアドバイスいただきました。

美島　僕は3年生の後期から、履歴書の添削で毎週のように就職室に通っていました。また、内定をもらった先輩方が面接や試験の情報をレポートした「就職試験報告書」という資料があり、貴重な情報が満載でとても参考になりました。

佐々木　就職試験報告書には僕もよく目を通しました。試験内容から企業の考えや個性が見えきて、読むのが楽しかったです。あと、落ち込んで方向性を見失いそうになった時に、相談員さんに話を聞いてもらいました。話しているうちに「あ、そうだ!」と気づきや答えが見つかり、とても助けられました。

于　私はゼミの友だちから毎週水曜日にある就活セミナーのことを教えてもらい、毎回参加していました。就活生同士の情報交換もポイントです。

Q2　就活では、どういう点をアピールしましたか？

三木　私は地元香川の金融機関を中心に就活を行いましたが、面接では勉強のことだけではなく大学生活のすべてをアピールしました。私はよさこい踊りが大好き! 学外のチームで毎年よさこいを踊ってきたのですが、そこでは老若男女、様々な年代や立場の人と関わることができました。そういった人との関係づくりの話などは、自分らしさを伝えやすかったかなと思います。

于　私は最初の頃は緊張して、面接でうまく自分を出すことができませんでした。でもそれではダメだと思い、途中から『落ちてもいいから時間内に言いたいことを全部言おう』と決めました。それ以降はうまくアピールできたと思います。

美島　僕は、実は面接や試験は5社しか受けていません。10社に力を振り分けるよりも5社に全力で臨みたいと思い、あえて絞り込みました。だから1社の訪問回数がすごく多くて、最多で7回、最少の会社でも3回です。自分から積極的に足を運ぶことで、自分の思いを伝えられたと思います。

佐々木　僕の就活は大阪が中心でしたが、「高知から来ました」というだけで、もう話題になるんです。高知のネタなどもうまく使って、会話を自分のペースに持っていくことができました。

Q3　高知大学での学びが、どう就活に結びつきましたか？

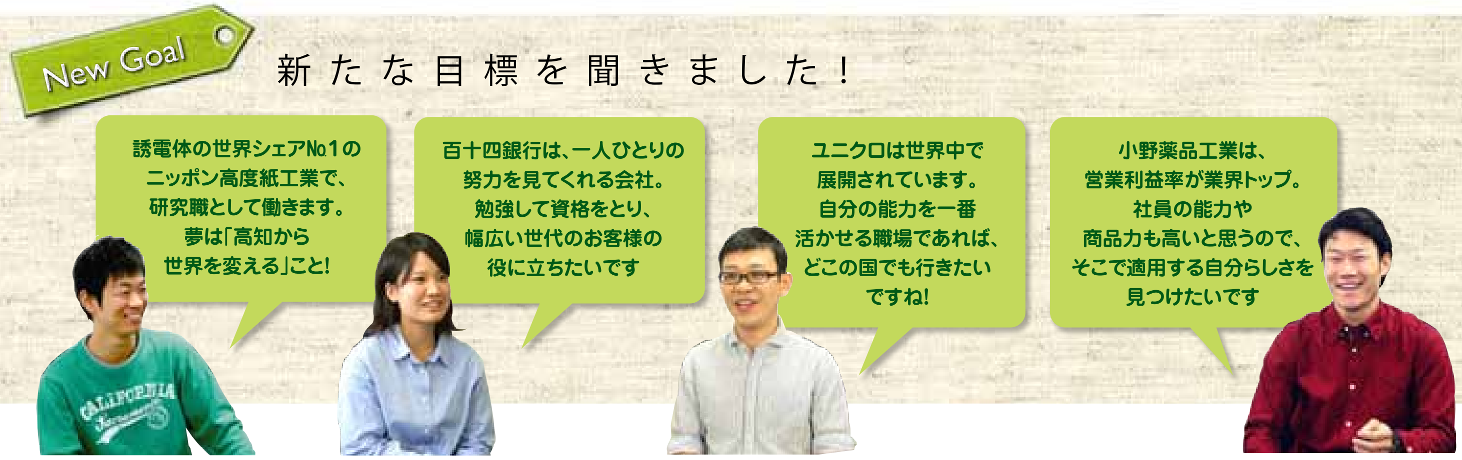
于　今はインターネット社会で、都会でも地方でも情報は同じように手に入ります。けれど高知には、高知でしか感じられないことがたくさんあるんです。例えば、地域の人も大学の教授も一緒になって地域活性化に取り組んでいること。一見マイナスなことでもそれを楽しんでプラスに変えようとしている姿が、とても勉強になりました。私も社会に出て何か課題にぶつかった時、自分の能力を使って解決していきたいと思います。

佐々木　僕は面接で毎回のように、『教育学部なのにどうして就活しているの?』と聞かれましたが、僕が企業を目指したのはもっと広い世界に出たいと思ったから。それは、高知大学でたくさんの友だちと関わり、いろんな意見を聞いて自分の視野が広がったおかげだと思います。

三木　高知大学の学生って、アクティブな人が多いんですね。地域に出て行って現地の活動に関わったり、何かを立ちあげてそれをやり通したり。私も周囲の友だちからいい影響を受けて、より積極的になることができました。人に恵まれたなと思いますね。

美島　僕は就活中、たくさんの尊敬できる社会人の方と出会うことができました。それも、高知大学の持つネットワークにうまくつながっていけたから。感謝しています。

※内定先企業名等はすべてインタビュー時のものです。



データ Data

■平成27年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試 前期日程		志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	一般入試 後期日程 募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	AO入試 AO入試Ⅰ 募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	AO入試Ⅱ 募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試 推薦入試Ⅰ		志願者数(人)	合格者数(人)	推薦入試Ⅱ		志願者数(人)	合格者数(人)
				募集人員(人)																	募集人員(人)				募集人員(人)		
人文学部	人間文化学科	94		59	145	126	74	1.7	5	46	20	5	4.0								30	82	30				
人文学部	国際社会コミュニケーション学科	83		38	84	72	44	1.6	10	98	27	21	1.3							A選抜	20	55	23				
																				B選抜	15	22	15				
人文学部	社会経済学科	98	A選抜	55	178	163	58	2.8	5	43	19	8	2.4	8	40	10					25	55	35				
			B選抜	5	57	49	5	9.8																			
人文学部	小計	275		157	464	410	181	2.3	20	187	66	34	1.9	8	40	10					90	214	93				
教育学部	学校教育教員養成課程 幼児教育コース	130		6	48	44	8	5.5																	4	9	4
教育学部	学校教育教員養成課程 教育科学コース			52	184	163	81	2.0	5	107	29	7	4.1								8	10	3		21	41	21
教育学部	学校教育教員養成課程 教科教育コース																										
教育学部	学校教育教員養成課程 特別支援教育コース																				4	2	1				
教育学部	学校教育教員養成課程 音楽教育コース			2	2	2	1	2.0													3	1	0				
教育学部	学校教育教員養成課程 美術教育コース			2	0	0	0	0.0													3	3	1				
教育学部	学校教育教員養成課程 保健体育コース			6	80	75	6	12.5													6	15	7				
教育学部	学校教育教員養成課程 科学技術教育コース																8	4	4								
教育学部	小計	130		68	314	284	96	3.0	5	107	29	7	4.1				8	4	4		24	31	12		25	50	25
理学部	理学科・応用理学科	270	数学受験	40	95	93	50	1.9	30	302	301	41	7.3							数学受験	15	35	16				
			理科受験	113	350	335	130	2.6												理科受験	50	102	52				
			情報受験	10	42	38	15	2.5												情報受験	10	20	11				
理学部	小計	270		163	487	466	195	2.4	30	302	301	41	7.3								75	157	79				
医学部	医学科	110		65	431	241	66	3.7						30	208	30									15	69	15
医学部	看護学科	60		30	94	87	30	2.9	10	88	23	10	2.3								20	65	21				
医学部	小計	170		95	525	328	96	3.4	10	88	23	10	2.3	30	208	30					20	65	21		15	69	15
農学部	農学科 暖地農学コース	170		98	358	317	111	2.9	20	225	82	29	2.8											一般	4	9	3
																								専門	2	1	0
農学部	農学科 海洋生物生産学コース																							一般	6	22	8
																								専門	2	3	2
農学部	農学科 食料科学コース																								4	20	4
農学部	農学科 生命化学コース																								2	14	3
農学部	農学科 自然環境学コース																								2	6	2
農学部	農学科 流域環境工学コース																				5	13	5	一般	7	7	6
																								専門	3	5	3
農学部	農学科 森林科学コース																				2	6	2	一般	7	9	6
																								専門	1	1	0
農学部	農学科 国際支援学コース																							一般	3	3	2
																								専門	2	1	1
農学部	小計	170		98	358	317	111	2.9	20	225	82	29	2.8								7	19	7		45	101	40
地域協働学部	地域協働学科	60		35	170	153	40	3.8						15	30	16					10	23	12				
地域協働学部	小計	60		35	170	153	40	3.8						15	30	16					10	23	12				
土佐さきがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)															(5)	2	1								
土佐さきがけプログラム	国際人材育成コース	(10)												(10)	12	10											
土佐さきがけプログラム	生命・環境人材育成コース	(10)															(10)	14	6								
土佐さきがけプログラム	小計	(25)												(10)	12	10	(15)	16	7								
合計		1,075		616	2,318	1,958	719	2.7	85	909	501	121	4.1	53	290	66	8	20	11		226	509	224		85	220	80

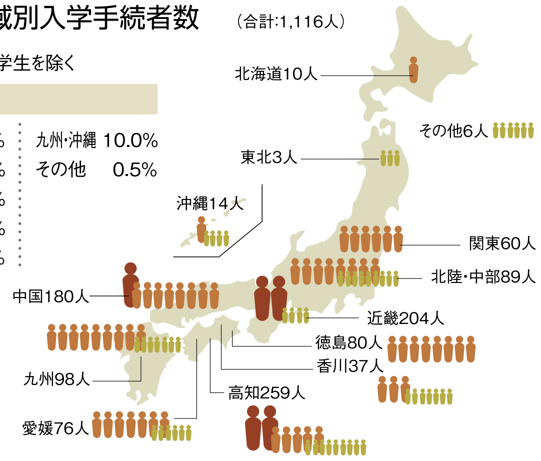
- □ は募集なし
- 社会人入試は志願者なし
- 私費外国人留学生の選抜は、志願者=30名、合格者=9名
- 実質倍率=受験者数／合格者数
- 医学部医学科（前期日程）の受験者数は、第1段階選抜実施後の受験者数
- 入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数は含まない

■ 平成27年度の地域別入学手続者数 （合計:1,116人）

地域別入学手続者数 ＊私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道	0.9%	中国	16.1%	九州・沖縄	10.0%
東北	0.3%	徳島	7.2%	その他	0.5%
関東	5.4%	香川	3.3%		
北陸・中部	8.0%	愛媛	6.8%		
近畿	18.3%	高知	23.2%		



■平成26年度入学者選抜実施状況

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試											AO入試			推薦入試							
			前期日程						後期日程								推薦入試Ⅰ				推薦入試Ⅱ			
				募集人員（人）	志願者数（人）	受験者数（人）	合格者数（人）	実質倍率（倍）	募集人員（人）	志願者数（人）	受験者数（人）	合格者数（人）	実質倍率（倍）	募集人員（人）	志願者数（人）	合格者数（人）		募集人員（人）	志願者数（人）	合格者数（人）		募集人員（人）	志願者数（人）	合格者数（人）
人文学部	人間文化学科	94		59	232	208	77	2.7	5	71	71	29	2.4					30	90	30				
	国際社会コミュニケーション学科	83		38	100	89	51	1.7	10	99	22	10	2.2				A選抜	20	54	21				
																	B選抜	15	28	15				
																	小計	35	82	36				
	社会経済学科	118		75	132	124	83	1.5	5	30	12	5	2.4	8	53	10		30	67	32				
	小計	295		172	464	421	211	2.0	20	200	105	44	2.4	8	53	10		95	239	98				
教育学部	学校教育教員養成課程 科学技術教育コースを除く	100		55	134	111	67	1.7	15	60	60	15	4.0									22	82	23
	学校教育教員養成課程 科学技術教育コース													8	8	6								
	生涯教育課程 芸術文化コース	30		15	41	38	15	2.5	6	70	27	6	4.5					9	29	9				
	生涯教育課程 スポーツ科学コース	20		10	33	31	10	3.1	3	20	10	3	3.3					7	16	7				
	生涯教育課程 生活環境コース	20		10	23	21	15	1.4	4	11	11	4	2.8					6	10	6				
	小計	170		90	231	201	107	1.9	28	161	108	28	3.9	8	8	6		22	55	22		22	82	23
理学部	理学科・応用理学科	270	数学受験	40	154	147	48	3.1	30	85	84	30	2.8				数学受験	15	42	17				
			理科受験	113	389	358	130	2.8									理科受験	50	101	50				
			情報受験	10	58	52	15	3.5									情報受験	10	17	12				
	小計	270		163	601	557	193	2.9	30	85	84	30	2.8					75	160	79				
医学部	医学科	110		65	346	241	65	3.7						30	222	30						15	70	15
	看護学科	60		30	127	122	30	4.1	10	189	88	10	8.8					20	73	22				
	小計	170		95	473	363	95	3.8	10	189	88	10	8.8	30	222	30		20	73	22		15	70	15
農学部	農学科 暖地農学コース	170		98	220	192	111	1.7	20	173	67	21	3.2								一般	4	24	5
																					専門	2	3	2
																					小計	6	27	7
	農学科 海洋生物生産学コース																				一般	6	20	8
																					専門	2	1	0
																					小計	8	21	8
	農学科 食料科学コース																					4	25	6
	農学科 生命化学コース																					2	10	4
	農学科 自然環境学コース																					2	11	2
	農学科 流域環境工学コース																		5	11	6	一般	7	12	8
																					専門	3	2	1
																					小計	10	14	9
	農学科 森林科学コース																		2	5	2	一般	7	11	7
																					専門	1	0	0
																					小計	8	11	7
	農学科 国際支援学コース																				一般	3	5	3
																					専門	2	0	0
																					小計	5	5	3
	小計	170		98	220	192	111	1.7	20	173	67	21	3.2					7	16	8		45	124	46
土佐さきがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)												(5)	8	5								
	国際人材育成コース	(10)												(10)	22	10								
	生命・環境人材育成コース	(10)												(10)	2	2								
	小計	(25)												(25)	32	17								
合計		1,075		618	1,989	1,734	717	2.4	108	808	452	133	3.4	46	315	63		219	543	229		82	276	84

- □は募集なし
- 社会人入試は、志願者=2名、合格者=2名
- 私費外国人留学生の選抜は、志願者=41名、合格者=14名
- 実質倍率=受験者数／合格者数
- 医学部医学科（前期日程）の受験者数は、第1段階選抜実施後の受験者数
- 入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数は含まない

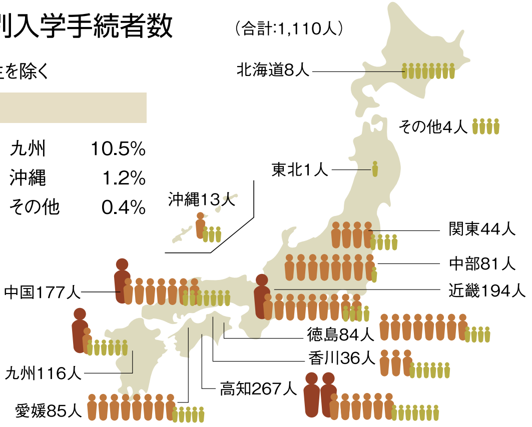
■平成26年度の地域別入学手続者数

（合計:1,110人）

地域別入学手続者数 ＊私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道	0.7%	中国	15.9%	九州	10.5%
東北	0.1%	徳島	7.6%	沖縄	1.2%
関東	4.0%	香川	3.2%	その他	0.4%
中部	7.3%	愛媛	7.7%		
近畿	17.5%	高知	24.1%		



■合格者の最低得点率･平均得点率（一般入試）

平成26年度

日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績（得点率）			総合得点（得点率）			総合得点（素点）
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
前期日程	人文学部	人間文化学科		78.4%	64.8%	70.5%	76.4%	61.8%	65.8%	800
		国際社会コミュニケーション学科		85.4%	62.7%	70.6%	84.5%	62.5%	66.6%	700
		社会経済学科		72.0%	56.2%	62.8%	71.5%	59.9%	64.8%	1,150
	教育学部	学校教育教員養成課程		83.2%	52.8%	64.5%	81.8%	61.6%	66.8%	1,150
		生涯教育課程（芸術文化コース）		73.6%	49.4%	59.6%	81.5%	64.0%	70.3%	900
		生涯教育課程（スポーツ科学コース）		74.8%	65.1%	68.0%	78.4%	67.5%	71.3%	1,000
		生涯教育課程（生活環境コース）		64.5%	57.0%	60.7%	67.4%	57.3%	61.9%	1,150
	理 学 部	理学科･応用理学科	数学受験コース	68.5%	55.4%	62.3%	66.2%	58.3%	61.1%	1,300
			理科受験コース	76.4%	56.5%	62.9%	78.8%	63.9%	67.4%	1,300
			情報受験コース	60.4%	50.5%	54.6%	70.5%	61.5%	63.7%	1,300
	医 学 部	医学科		90.5%	79.2%	84.6%	87.9%	78.1%	80.5%	1,790
		看護学科		72.7%	64.2%	67.5%	74.8%	67.3%	69.3%	790
	農 学 部	農学科		74.1%	58.6%	63.6%	73.7%	60.2%	64.0%	800
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績（得点率）			総合得点（得点率）			総合得点（素点）
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
	人文学部	人間文化学科		86.2%	74.6%	78.7%	86.2%	74.6%	78.7%	500
		国際社会コミュニケーション学科		75.5%	65.2%	69.9%	75.4%	68.6%	72.1%	700
	教育学部	学校教育教員養成課程		79.6%	56.8%	70.0%	79.6%	56.8%	70.0%	900
	理 学 部	理学科･応用理学科		82.3%	58.6%	72.1%	82.3%	58.6%	72.1%	800
	医 学 部	看護学科		78.1%	68.9%	72.0%	78.1%	69.9%	73.1%	790
	農 学 部	農学科		76.2%	69.4%	72.2%	77.3%	70.7%	72.9%	800

平成27年度

日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績（得点率）			総合得点（得点率）			総合得点（素点）
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
前期日程	人文学部	人間文化学科		86.7%	68.2%	76.7%	82.5%	63.0%	69.5%	800
		国際社会コミュニケーション学科		85.0%	70.2%	74.9%	79.2%	69.7%	72.3%	700
		社会経済学科	A選抜	80.1%	57.6%	65.7%	72.4%	60.9%	63.9%	1,200
	教育学部	学校教育教員養成課程		75.1%	57.5%	63.8%	77.2%	62.7%	66.4%	1,150
	理 学 部	理学科･応用理学科	数学受験コース	75.9%	51.6%	61.0%	72.8%	51.9%	57.4%	1,300
			理科受験コース	82.1%	55.3%	62.8%	78.7%	60.5%	64.8%	1,300
			情報受験コース	60.5%	52.5%	56.4%	66.3%	58.1%	61.5%	1,300
	医 学 部	医学科		92.3%	82.3%	85.5%	84.3%	76.3%	79.0%	1,790
		看護学科		79.9%	66.6%	70.4%	81.4%	69.2%	72.0%	790
	農 学 部	農学科		75.1%	61.1%	65.8%	75.6%	65.6%	67.7%	800
	地域協働学部	地域協働学科		73.4%	47.9%	61.9%	78.1%	65.9%	69.7%	1,100
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績（得点率）			総合得点（得点率）			総合得点（素点）
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
	人文学部	国際社会コミュニケーション学科		84.0%	57.5%	72.5%	81.4%	66.1%	74.1%	700
	理 学 部	理学科･応用理学科		83.5%	73.1%	76.8%	83.5%	73.1%	76.8%	800
	医 学 部	看護学科		71.5%	61.2%	66.7%	69.0%	65.6%	67.4%	790
	農 学 部	農学科		80.2%	66.7%	72.0%	79.6%	66.3%	71.4%	800

注:1 追加合格者は含んでいません。　注:2 合格者が10人未満の学科等については公表しません。

■2010～2015年度入学者出身校一覧（2015年4月1日現在在学者）　※学校名は入学時の名称

■ 北海道

苫小牧工業高専、札幌西、札幌南、千歳、札幌藻岩、札幌清田、小樽潮陵、岩見沢東、旭川東、旭川西、旭川北、北見北斗、室蘭栄、静内、上士幌、釧路湖陵、釧路江南、中標津、北広島、札幌新川、札幌稲雲、札幌国際情報、函館、札幌光星、札幌第一、遺愛女子、函館ラ·サール、北星学園余市、北嶺、クラーク記念国際

■ 青森

弘前中央、八戸北、五所川原、三本木、青森山田

■ 岩手

前沢、福岡

■ 宮城

仙台向山、古川、泉、仙台二華、泉館山、東北学院

■ 秋田

秋田

■ 山形

山形西、長井

■ 福島

安積、磐城、富岡、福島東

■ 茨城

水戸第一、水戸第二、勝田、土浦第一、土浦第二、竜ケ崎第一、藤代、古河第三、竹園、牛久、水戸桜ノ牧、並木、牛久栄進、茨城キリスト教学園、水城、土浦日本大学、清真学園、江戸川学園取手、常総学院、鹿島学園

■ 栃木

宇都宮、宇都宮女子、鹿沼、石橋、小山、栃木女子、佐野女子、足利南、足利女子、真岡、真岡女子、烏山、大田原、宇都宮短期大学附属、那須高原海城

■ 群馬

前橋（県立）、勢多農林、高崎、太田女子、沼田、富岡、中之条

■ 埼玉

浦和（県立）、熊谷、春日部、松山、浦和第一女子、本庄、蕨、越谷南、川越南、和光国際、聖望学園、武南、浦和明の星女子、城西大学付属川越、浦和学院、獨協埼玉、春日部共栄、城北埼玉、西武学園文理、開智、東京農業大学第三、自由の森学園、栄北

■ 千葉

千葉（県立）、船橋東、東葛飾、流山おおたかの森、成田国際、佐原、佐原白楊、長生、君津、習志野、銚子（市立）、幕張総合、敬愛大学八日市場、千葉敬愛、麗澤、千葉英和、東邦大学付属東邦、柏日体、日本大学習志野、渋谷教育学園幕張、昭和学院秀英、市原中央、秀明八千代、木更津総合

■ 東京

筑波大学附属、お茶の水女子大学附属、筑波大学附属駒場、東京学芸大学附属、東京大学教育学部附属、青山、大泉、小石川、国分寺、小松川、田園調布、西、八王子東、八丈、一橋、日比谷、富士、町田、三鷹、武蔵（都立）、両国、砂川、小川、東大和南、科学技術、日野台、暁星、白百合学園、麻布、芝、広尾学園、海城、成城、早稲田、桐朋女子、桜蔭、京華、東洋女子、文京学院大学女子、聖学院、開成、安田学園、関東第一、東京、鴎友学園女子、駒澤大学、駒場東邦、世田谷学園、東京農業大学第一、東京都市大学付属、日本大学第三、光塩女子学院高等科、佼成学園、立教女学院、巣鴨、豊島岡女子学園、城北（私立）、武蔵（私立）、自由学園高等科、八王子学園八王子、錦城、日本放送協会学園、聖徳学園、吉祥女子、成蹊、多摩大学附属聖ケ丘

■ 神奈川

横浜翠嵐、横浜平沼、横浜緑ケ丘、川和、柏陽、生田、横須賀（県立）、横須賀大津、追浜、平塚江南、湘南、秦野、大和、東、菅、横須賀明光、横浜雙葉、聖光学院、高木学園女子、桐蔭学園、山手学院、栄光学園、鎌倉学園、湘南学園、湘南白百合学園、逗子開成、横浜隼人、桐光学園

■ 新潟

新潟、新潟南、新潟江南、新潟西、巻、新潟明訓、北越、新潟第一、東京学館新潟

■ 富山

魚津、富山東、八尾、高岡、高岡西、高岡南、呉羽、片山学園

■ 石川

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属、大聖寺、小松、金沢錦丘、金沢泉丘、金沢桜丘、金沢西、鹿西、小松明峰、金沢、星稜、金沢学院東、小松大谷

■ 福井

高志、羽水、勝山、武生、美方、若狭、武生東、北陸

■ 山梨

韮崎、甲府第一、吉田、富士河口湖、山梨英和

■ 長野

須坂、長野吉田、長野（県立）、長野西、岡谷南、伊那北、飯田、飯田風越、松本県ケ丘、松本美須々ケ丘、松本深志、松本蟻ケ崎、豊科、中野西、木曽青峰、文化学園長野、上田西、東海大学付属第三、佐久長聖

■ 岐阜

岐阜、岐阜北、長良、岐山、加納、岐阜農林、大垣北、大垣南、大垣東、大垣養老、海津明誠、加茂、多治見、多治見北、瑞浪、恵那、中津、益田清風、斐太、可児、各務原西、鶯谷、多治見西、麗澤瑞浪、高山西

■ 静岡

伊東、韮山、三島北、御殿場南、沼津東、沼津西、吉原、富士、清水東、清水西、静岡、静岡城北、静岡東、藤枝東、島田、榛原、掛川東、掛川西、掛川工業、袋井、磐田南、磐田北、浜松北、浜松西、浜松南、浜松湖東、浜名、富士市立、静岡市立、浜松市立、富士東、伊豆中央、富士宮西、庵原、浜松湖南、下田、清流館、加藤学園暁秀、静岡雙葉、静岡北、静岡学園、藤枝順心、常葉学園菊川、静岡県西遠女子学園、浜松日体、聖隷クリストファー、藤枝明誠

■ 愛知

名古屋大学教育学部附属、愛知教育大学附属、旭丘、千種、瑞陵、松蔭、昭和、名古屋西、熱田、中村、鳴海、旭野、長久手、東郷、丹羽、一宮、一宮西、津島、五条、大府、横須賀、半田、碧南、刈谷、刈谷北、知立、西尾、西尾東、鶴城丘、吉良、岡崎北、岡崎東、豊田西、松平、国府、豊橋南、蒲郡、成章、小坂井、天白、菊里、向陽、緑、中央、春日井東、津島東、一宮南、豊田北、高蔵寺、小牧南、豊田南、半田東、美和、豊田、岡崎西、名東、春日井南、豊野、知立東、新川、愛知、愛知淑徳、大同工業大学大同、中京大学附属中京、東海、東邦、名古屋、中部大学第一、愛知工業大学名電、南山、名城大学附属、星城、聖霊、滝、春日丘、清林館、岡崎城西、桜丘、豊川、藤ノ花女子、愛知産業大学三河、豊田大谷、海陽

■ 三重

桑名、神戸、亀山、津、津西、津東、宇治山田、伊勢、上野、尾鷲、木本、名張西、暁、皇學館、ウィッツ青山学園

■ 滋賀

膳所、東大津、石山、彦根東、八幡工業、水口東、米原、虎姫、安曇川、草津東、河瀬、光泉

■ 京都

京都教育大学附属、山城、洛北、嵯峨野、桂、桃山、向陽、東宇治、北桑田、亀岡、園部、須知、福知山、東舞鶴、西舞鶴、宮津、海洋、峰山、網野、西京、堀川、日吉ケ丘、紫野、洛西、西城陽、鳥羽、莵道、城南菱創、大谷、東山、龍谷大学付属平安、洛星、洛南、京都文教、京都女子、京都橘、京都産業大学附属、福知山成美、京都成章

■ 大阪

大阪教育大学附属天王寺、大阪教育大学附属平野、北野、池田、豊中、箕面、春日丘、茨木、千里、三島、大手前、港、四條畷、寝屋川、清水谷、高津、夕陽丘、布施、八尾、今宮、住吉、東住吉、生野、河南、泉陽、三国丘、鳳、泉北、和泉、岸和田、佐野、桜宮、東、大阪市立、都島工業、北千里、香里丘、山田、八尾翠翔、港南造形、槻の木、淀川工科、堺、プール学院、追手門学院大手前、千代田、大阪学芸、開明、履正社、興國、此花学院、関西大学第一、明星、桃山学院、浪速、高槻、大阪星光学院、大阪信愛女学院、大谷、四天王寺、関西大倉、近畿大学附属、清風、向陽台、清風南海、金蘭千里、清教学園、大阪商業大学堺、関西創価、近畿大学泉州、大阪国際大和田、追手門学院、帝塚山学院泉ケ丘、東海大学付属仰星、四天王寺羽曳丘、大阪青凌、初芝富田林、大阪桐蔭、天王寺学館、YMCA学院

■ 兵庫

御影、神戸、兵庫、夢野台、長田、星陵、北須磨、舞子、伊川谷、神戸商業、西宮（県立）、鳴尾、西宮北、芦屋（県立）、尼崎（県立）、尼崎北、尼崎小田、伊丹（県立）、伊丹北、川西緑台、有馬、柏原、篠山鳳鳴、明石、明石南、明石北、明石西、加古川東、加古川西、小野、西脇、社、三木、農業、姫路東、姫路西、姫路南、福崎、香寺、龍野、赤穂、佐用、山崎、姫路工業、姫路商業、豊岡、八鹿、出石、洲本、津名、洲本実業、西宮今津、相生、東播磨、葺合、西宮（市立）、伊丹（市立）、明石商業、姫路、琴丘、尼崎稲園、須磨東、加古川北、網干、明石清水、高砂南、三木北、須磨友が丘、川西北陵、神戸高塚、明石城西、播磨南、宝塚北、姫路飾西、伊川谷北、北摂三田、三田西陵、兵庫県立大学附属、六甲アイランド、三田祥雲館、武庫荘総合、国際、神戸鈴蘭台、淡路三原、須磨翔風、甲南、灘、六甲、神戸龍谷、神戸山手女子、親和女子、神戸学院大学附属、神戸星城、滝川、須磨学園、愛徳学園、雲雀丘学園、神戸女学院高等学部、報徳学園、甲陽学院、三田学園、柳学園、白陵、賢明女子学院、淳心学院、東洋大学附属姫路、近畿大学附属豊岡、滝川第二、神戸国際

■ 奈良

奈良女子大学附属、奈良、生駒、畝傍、橿原、桜井、高田、青翔、五條、一条、高田商業、平城、香芝、登美ケ丘、奈良北、奈良育英、帝塚山、天理、東大寺学園、智辯学園、天理教校学園、奈良学園、育英西、西大和学園、聖心学園、智辯学園奈良カレッジ、奈良学園登美ヶ丘

■ 和歌山

橋本、伊都、向陽、和歌山北、桐蔭、星林、海南、耐久、日高、田辺、新宮、串本古座、開智、和歌山信愛、近畿大学附属新宮、智辯学園和歌山、近畿大学附属和歌山、初芝橋本

■ 鳥取

鳥取東、鳥取西、鳥取工業、八頭、倉吉東、倉吉西、米子東、米子西、米子、境、鳥取中央育英、鳥取城北、倉吉北、米子松蔭、鳥取西

■ 島根

安来、松江北、松江南、三刀屋、飯南、平田、出雲、大社、大田、江津、浜田、益田、隠岐、隠岐島前、松江東、島根中央、開星、松江西、出雲西、石見智翠館

■ 岡山

岡山朝日、岡山操山、岡山大安寺、岡山芳泉、岡山工業、岡山東商業、岡山南、倉敷青陵、倉敷天城、倉敷南、倉敷中央、津山、津山商業、津山東、玉野、玉島（県立）、笠岡、笠岡商業、西大寺、井原、総社、高梁、新見、瀬戸、和気閑谷、邑久、矢掛、勝山、落合、林野、岡山一宮、倉敷古城池、玉野光南、総社南、岡山城東、岡山後楽館、備前緑陽、倉敷鷲羽、山陽女子、就実、明誠学院、創志学園、関西、岡山理科大学附属、倉敷翠松、岡山県美作、岡山県作陽、岡山学芸館、興譲館、金光学園、おかやま山陽、岡山白陵、岡山、朝日塾

■ 広島

広島大学附属、広島大学附属福山、広島観音、広島国泰寺、広島皆実、広島商業（県立）、海田、廿日市、賀茂、西条農業、五日市、安古市、広、呉三津田、尾道東、尾道北、尾道商業、三原、御調、世羅、福山誠之館、府中、油木、大門、福山明王台、庄原格致、三次、舟入、基町、呉、福山、高陽、広島井口、安芸府中、神辺旭、祇園北、安佐北、沼田、安芸南、美鈴が丘、西、東、戸手、因島、広島、修道、広陵、山陽、広島県瀬戸内、安田女子、比治山女子、広島女学院、ノートルダム清心、広島国際学院、AICJ、広島文教女子大学附属、広島工業大学、広島学院、広島城北、広島なぎさ、武田、盈進、福山暁の星女子、近畿大学附属福山、銀河学院、如水館、近畿大学附属東広島、呉青山

■ 山口

岩国、柳井、光、下松、徳山、防府、山口、宇部、小野田、厚狭、豊浦、長府、下関西、下関南、大津、萩、新南陽、華陵、下関、青嶺、大津緑洋、高水、野田学園、宇部フロンティア大学付属香川、サビエル、早鞆

■ 徳島

城東、城南、城北、徳島商業、小松島、富岡東、富岡西、新野、那賀、鳴門、名西、川島、阿波、脇町、辻、池田、徳島市立、城ノ内、徳島北、海部、徳島科学技術、鳴門渦潮、徳島文理

■ 香川

小豆島、土庄、三本松、高松東、高松、高松工芸、高松商業、坂出、坂出商業、坂出工業、丸亀、丸亀城西、善通寺第一、高瀬、観音寺第一、観音寺中央、高松第一、高松西、高松北、香川中央、高松桜井、三木、英明、高松中央、香川県大手前高松、坂出第一、香川県大手前、尽誠学園、香川誠陵

■ 愛媛

愛媛大学附属、川之江、三島、新居浜東、新居浜西、西条、西条農業、小松、今治西、今治南、今治北、弓削、松山東、松山南、松山北、松山工業、松山商業、東温、上浮穴、小田、大洲、八幡浜、川之石、三崎、三瓶、宇和、野村、宇和島東、南宇和、新居浜商業、伊予、松山中央、今治東、松山西、宇和島南、今治明徳、新田、愛光、松山聖陵、聖カタリナ女子、済美、済美平成、帝京冨士

■ 高知

高知工業高専、室戸、中芸、安芸、山田、嶺北、高知農業、高知東工業、高知東、高知追手前、高知丸の内、高知小津、高知西、高知北、高知工業、伊野商業、春野、高岡、佐川、須崎、檮原、窪川、四万十、中村、幡多農業、宿毛、宿毛工業、清水、高知商業、岡豊、高知南、大方、高知江の口養護、土佐、土佐女子、高知、清和女子、高知学芸、明徳義塾、土佐塾

■ 福岡

育徳館、京都、小倉南、小倉、戸畑、八幡、八幡南、東筑、宗像、新宮、福岡魁誠、福岡、筑紫丘、福岡中央、城南、修猷館、筑紫、明善、久留米、山門、三池、田川、嘉穂東、北筑、春日、小倉東、中間、小郡、香住丘、輝翔館、門司大翔館、門司学園、西南女学院、敬愛、常磐、明治学園、九州国際大学付属、近畿大学附属福岡、福岡大学附属大濠、上智福岡、筑紫台、筑紫女学園、東福岡、福岡女学院、福岡工業大学附属城東、福岡雙葉、大牟田、久留米信愛女学院、久留米大学附設、八女学院、東海大学付属第五、自由ケ丘

■ 佐賀

佐賀西、佐賀北、唐津東、唐津西、伊万里、小城、武雄、鹿島、鳥栖、白石、佐賀商業、致遠館、佐賀清和、弘学館、東明館

■ 長崎

長崎東、長崎西、長崎南、長崎北、佐世保南、佐世保北、佐世保西、佐世保商業、大村、諫早、島原、口加、川棚、猶興館、五島、上五島、壱岐、対馬、佐世保中央、長崎北陽台、西陵、島原翔南、海星、長崎南山、純心女子、長崎日本大学、精道三川台

■ 熊本

済々黌、熊本、第一、第二、熊本西、熊本工業、熊本農業、玉名、鹿本、大津、翔陽、御船、八代、氷川、水俣、人吉、球磨商業、天草、熊本北、東稜、熊本信愛女学院、真和

■ 大分

高田、杵築、別府鶴見丘、大分舞鶴、大分雄城台、大分商業、大分西、大分鶴崎、臼杵、佐伯鶴城、竹田、森、日田、中津南、中津北、安心院、大分南、大分豊府、宇佐、国東、大分、大分東明、藤蔭、明豊

■ 宮崎

高千穂、延岡、延岡商業、富島、日向、高鍋、妻、宮崎大宮、宮崎南、宮崎西、宮崎商業、福島、都城泉ケ丘、都城西、小林、宮崎北、佐土原、五ケ瀬、延岡星雲、日南振徳、宮崎学園、鵬翔、宮崎第一、日南学園、日向学院、聖心ウルスラ学園

■ 鹿児島

鶴丸、甲南、鹿児島中央、錦江湾、指宿、加世田、川辺、伊集院、川内、出水、大口、加治木、国分、志布志、鹿屋、屋久島、大島、古仁屋、鹿児島玉龍、松陽、武岡台、種子島、鹿児島実業、樟南、鹿児島、鹿児島情報、ラ·サール、鳳凰、神村学園高等部、鹿児島第一、鹿屋中央、尚志館、池田学園池田、屋久島おおぞら

■ 沖縄

糸満、那覇、首里、浦添、普天間、コザ、読谷、石川、宜野座、名護、北山、宮古、八重山、浦添商業、開邦、球陽、向陽、那覇国際、沖縄尚学、興南、昭和薬科大学附属、ヒューマンキャンパス

入試Q&A

Q 高知大学の推薦入試について教えてください。

高知大学など国立大学の推薦入試（以下、AO入試も同じ）は「公募制」です。私立大学に見られる「指定校制」とは全く異なるため、出願資格（評定○以上など）を満たしていれば全国どの高校からも受験可能です。そのため、概して志望倍率は高めで、当日の試験の出来によって合否が決まると言っても過言ではありません。入試科目は面接や作文、あるいは教科試験や口頭試問が課される学部学科もありますので、事前に学生募集要項などで必ずお確かめください。

Q 高知大学の合格偏差値はどれくらいですか?

難しい質問ですね。というのも、偏差値などの入試難易度は大手予備校等が独自の方法で算出しているので、大学側に質問されても全く分からないのが正直なところです。高校の先生に聞いたり、受験情報誌で調べてみてください。

Q 高知大学と私立大学の違いを教えてください。

国立大学は学費等の条件がどこもほぼ同じなので、"高知大学と私立大学"ではなく、"国立大学と私立大学"との違い、でお答えします。国立大学は、私立大学と比べて①学費（授業料等）が安いこと、②教員一人あたりの学生数が少ないという特徴があります。

①学費（授業料など）は年間535,800円で、一般に私立大学文系学部の約半分、同理系学部の3分の1程度と言われています。国立大学の学費は、学部学科に関係なく同じ額なので医学部ではもっと違いが出ることもあります。

②大学の授業は1～2年次では大人数の教室などで一斉に受講しますが、高学年になると研究室（ゼミナール）に配属され、専門性を身につけます。国立大学の多くで、いち研究室あたりの指導学生数は5人前後と言われています。教員一人あたりの学生数が少ない＝教員と学生の距離が近く、一人ひとりの学生に対してきめ細かく指導できると言えるでしょう。

平成28年度 一般入試（前期・後期）から

ネット出願、始まります!!

便利! ネット出願のメリット

※平成28、29年度入試は、インターネットを利用しない従来通りの出願もできます。

- 紙の願書は取り寄せ不要
- 記入漏れ防止のチェック機能つき
- 24時間,出願データの送信が可能
- 検定料はクレジットカードやコンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easy）での支払いが可能
- 検定料の支払手数料が無料
- 本人写真のプリントが不要
- 願書の受付状況がインターネットで確認できる

四国の5国立大学（高知大学、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学）共通の出願サイト※です。あらかじめ住所・氏名等を登録しておけば、出願時の再入力が不要となり、5大学への出願がスムーズに行えます。

※2015年12月公開予定
高知大学ホームページでお知らせします。

受験者

出願サイト

1 利用登録
- メールアドレス登録
- パスワード設定

2 出願情報の登録
住所、氏名、写真、学部・学科、受験科目　等

3 検定料の支払い
以下のいずれかの方法で。
- クレジットカード
- コンビニエンスストア
- 銀行ATM（Pay-easy）

4 書類の郵送
- 志願票
- センター試験成績請求票
- 調査書
- 返信用封筒　等

5 受験票の受取

出願システム：登録情報／出願情報／検定料の支払情報

大学：出願受付 → 受験票の送付

Let's open the door!

平成27年度

オープンキャンパス

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。
高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参加して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">8月1日（土）</th><th rowspan="2"></th><th colspan="2">8月2日（日）</th></tr>
<tr><th>午 前</th><th>午 後</th></tr>
<tr><td rowspan="3">朝倉
キャンパス</td><td rowspan="3">10:00〜15:00
人文社会科学部（仮称）
理学部
地域協働学部
土佐さきがけプログラム</td><td>朝倉
キャンパス</td><td colspan="2">10:00〜15:00
教育学部、地域協働学部</td></tr>
<tr><td>岡豊
キャンパス</td><td>10:00〜12:30
医学部看護学科</td><td>13:00〜16:30
医学部医学科</td></tr>
<tr><td>物部
キャンパス</td><td colspan="2">9:00〜15:00
農林海洋科学部（仮称）
土佐さきがけプログラム（生命・環境）</td></tr>
</table>

プログラム

各学科/コース紹介、入試相談、模擬授業、施設見学
在学生の体験談/質問コーナーなど

※プログラムによっては事前予約が必要なものがあります。
申込み方法等については大学HPをご覧ください。

［お問い合せ先］入試課
☎088-844-8766　FAX 088-844-8147
高知大学入試情報サイト
http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html

学生募集要項の請求方法

1 高知大学ホームページから資料請求する
http://www.kochi-u.ac.jp ▶ 入試情報 ▶ 学生募集要項の公表および請求方法
または 高知大学 検索

2 テレメールで資料請求する
http://telemail.jp
パソコン・携帯電話各社とも共通アドレスです。

LINEで情報配信中！ @kochi-univ.adm

高知大学アドミッションセンターのLINE@アカウントができました。オープンキャンパス情報や、入試情報などを配信していくので、ぜひ「友だち」登録してご活用ください。

〔登録方法〕
LINEアプリから左のQRコードを読み取るか、"友だちをIDで検索"より「@kochi-univ.adm」を検索してください。

お問い合せ先

■ 入試情報サイト。入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています！
http://www.kochi-u.ac.jp/nyushi/index.html

■ 携帯電話からのアクセスはこちらから。メールマガジンも配信中！
http://daigakujc.jp/kochi-u/

キャンパスライフ に関するお問い合せ先

学務部学生支援課
TEL 088-844-8149
E-mail gs03@kochi-u.ac.jp
〒780-8520 高知市曙町2-5-1

入学者選抜 に関するお問い合せ先

学務部入試課
TEL 088-844-8153
E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp
〒780-8520 高知市曙町2-5-1

スマートフォン用アプリ「高知大学AR」ができました！

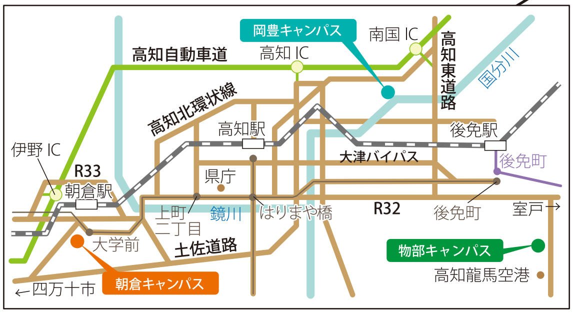
1.大学案内の中から、マーカーを探そう

スマホで読み込もう　このマークが添えられている「マーカー」を探してください。

2.ARカメラを起動して、マーカーにかざしてみよう

先輩からのメッセージや大学構内、周辺の様子が動画でご覧になれます。またこのアプリは、ARカメラ以外にもラジオや広報誌等の情報にもアクセスできます。ダウンロードは無料ですので、ぜひご利用ください!!

アプリストアで「高知大学」と検索！　App Store　Google play



[キャンパス間の所要時間]

朝倉キャンパス ⇔ 岡豊キャンパス	車で約40分	
岡豊キャンパス ⇔ 物部キャンパス	車で約20分	
朝倉キャンパス ⇔ 物部キャンパス	車で約45分	

■ 朝倉キャンパス：人文社会科学部(仮称)・教育学部・理学部・地域協働学部

高知市曙町2-5-1

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- ●高知龍馬空港から　車で約45分
  空港バスで約35分「はりまや橋」か、約40分「JR高知駅」下車後、バス、路面電車又はJR土讃線へ乗換え
- ●高知駅から　車で約20分又はバスで約25分
  路面電車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車
  JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- ●高知インターチェンジから　車で約30分
- ●伊野インターチェンジから　車で約5分

■ 岡豊キャンパス：医学部

南国市岡豊町小蓮

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- ●高知龍馬空港から　車で約30分
- ●高知駅から　車で約20分
  バスで約30分
  JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- ●南国インターチェンジから　車で約10分
- ●高知インターチェンジから　車で約15分

■ 物部キャンパス：農林海洋科学部(仮称)

南国市物部乙200

物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- ●高知龍馬空港から　徒歩約15分又は空港バスで約3分「高知大学農学部前」下車
- ●高知駅から　車で約30分
  空港行きバスで約35分、「高知大学農学部前」下車
  JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- ●南国インターチェンジから　車で約20分
- ●後免駅から　車で約15分

高知県までの交通アクセス

▶ JR　※乗換時間は含みません

出発	経路	所要時間	乗換	岡山から	到着
東京	新幹線	約3時間20分	岡山	特急南風 約2時間25分	JR高知駅
名古屋	新幹線	約1時間35分	岡山	特急南風 約2時間25分	JR高知駅
新大阪	新幹線	約45分	岡山	特急南風 約2時間25分	JR高知駅
広島	新幹線	約35分	岡山	特急南風 約2時間25分	JR高知駅
博多	新幹線	約1時間40分	岡山	特急南風 約2時間25分	JR高知駅

出発	経路	所要時間	到着
松山	特急 約1時間55分 → 多度津 → 特急 約1時間40分		JR高知駅
高松		約2時間20分	JR高知駅
徳島		約2時間30分	JR高知駅

▶ 高速バス

出発	バス	所要時間	到着
東京	ドリーム高知号	約11時間10分	JR高知駅
東京	ブルーメッツ号	約11時間25分	JR高知駅
名古屋	ドラゴンライナー	約8時間30分	JR高知駅
京都		約5時間10分	JR高知駅
大阪	よさこい号	約5時間(夜行便は約7時間20分)	JR高知駅
神戸	ハーバーライナー	約4時間	JR高知駅
京都・大阪・神戸	高知エクスプレス号	京都：約5時間30分 大阪：約5時間20分 神戸：約4時間10分	JR高知駅

出発	バス	所要時間	到着
岡山	龍馬エクスプレス	約2時間30分	JR高知駅
広島	土佐エクスプレス	約4時間	JR高知駅
福山	オーシャンライナー	約3時間10分	JR高知駅
福岡	はりまや号	約9時間30分	JR高知駅
松山	ホエールエクスプレス	約2時間30分	JR高知駅
高松	黒潮エクスプレス	約2時間	JR高知駅
徳島	高知徳島エクスプレス	約2時間40分	JR高知駅

▶ 車

出発	所要時間	到着
東京IC	約9時間	高知IC
名古屋IC	約5時間15分	高知IC
吹田IC	約4時間10分	高知IC
広島IC	約3時間10分	高知IC
岡山IC	約2時間	高知IC
福岡IC	約6時間30分	高知IC
高松中央IC	約1時間30分	高知IC
松山IC	約1時間40分	高知IC
徳島IC	約2時間	高知IC

▶ 飛行機

出発	所要時間	到着
東京(羽田)	約1時間25分	高知龍馬空港
名古屋(小牧)	約1時間5分	高知龍馬空港
大阪(伊丹)	約40分	高知龍馬空港
福岡	約45分	高知龍馬空港

NIAD-UE　UNIVERSITY ACCREDITED　March 2015

高知大学案内

発行日　2015年6月　/　発行　高知大学広報戦略室

〒780-8520　高知市曙町2-5-1　TEL 088-844-8643　E-mail kh13@kochi-u.ac.jp